

採掘せられて居るものには能登呂炭田・中央炭田・幌内炭田等がある。又本島にはあまり現時の所産額は多くは無いが砂金・石油・硫化鐵の産出もある。



昆布の乾燥

本島の水産業 本島産物の主位を占むるものは水産であつて北海道を除けば本邦第一である。その年産額も年によつて豊凶はあるが大正五年度に於ては六百萬圓餘に達して居る。水産物中多いものは鯨・鮭・昆布等であつて、就中鯨は搾粕ばかりでも多きは一ヶ年二百五十萬圓に及び、漁獲物中第一の産額がある。この魚は本島の海岸に多く、鯨は西海岸の眞岡以南に多い。昆布は殆んど東海岸には繁殖せず概ね西海岸から採れる。本島水産製造物の重なるものは鯨・鮭・鯨油・鮭油・白子・子粕・身欠・鯨・鹽・鮭・棒・鱈・鮭・鮭・筋・子・開・鱈等である。海獣は臘肭獸、海

豹・海驢・鯨等であつて、其中海豹島の臘肭獸は最も著しく、毎年六月上旬より十一月下旬頃分布し(参考資料参照)海豹は本島一圓に、海驢は海馬島、鯨は亞庭灣に多い。併しこの地の海獣は前に結ばれた國際條約によつて捕獲禁止となつて居て、僅かに訂盟政府のみが年々一定の頭数を定めて捕獲するのみである。それであるから樺太では數年に一回位若干頭の臘肭獸を捕へるばかりで、市場にあるものは土人の捕獲によるものであるが、これとて極めて少數のものである。

### 取扱上の注意

地理的用語 土人。移住。開拓。地味。低地。とや松、えぞ松、から松。バルブ。漁期。△北方にかたより。地味肥沃。おつとせい、繁殖。

挿繪の解説 (一) 樺太に於ける棒だらの製造 棒鱈の産額は大正五年に於ては五十二萬三千圓餘に及び水産製造物中鯨油に次ぐの産額である。圖中二段に横木を結びたる棒を地上に立て、竹木を横にわたして魚を乾かして居るのは本島近海より捕つた鱈を三枚に卸して乾かして居るものであつて、この棒鱈は本島主要の輸出品である。側に立つて居るのは土人であつて、子守二人と一名の若者とである。(二) 海豹島のおつとせい この繪は海豹島の海岸砂地に臘肭獸



の群集して居る有様を寫したものである。陸上に匍匐せるもの水中を泳げるもの何れもおつとせいであつて其數は何程居るか測知する事が出来ぬ。この獸は夏季本島に来て、少し寒くなりかけると一族相率ゐて遠く海流に従ひ本州金華山や犬吠崎の沖邊迄も游泳して來る。而して又翌年の六月頃になると分娩育兒のために再びこの島に集合する。この獸の身長は六尺にも及ぶものがあつて、全身は光澤のある褐黒色、黄灰色の毛で蔽はれて居る。今は濫獵を取締る法律があつて銳意之れが繁殖を計る事になつて居る。

**自働作業の指導**

(一)本島近海に魚族多き理由を推究せしむ。(二)本島の略圖を描き主要産物の分布を記入せしむ。(三)本島開拓經營案を作製せしむ。(四)本島移住上の手續及び其豫定を略述せしむ。

**教辨物の指示** 樺太地圖。樺太現住人口一覽表。主要産物一覽表。水産製造物一覽表。移住農民縣別表。棒だら製造の繪及び海豹島及臘豚獸群棲の繪畫又は寫眞。土人風俗畫。

**參考資料****海豹島の臘豚臍**

海豹島は高さ約五十尺、長さ五町ばかりの離れ小島で、餘り堅さうにも

ない岩石から出來てゐる。樹は一本も生えて居ない。風致の上からは何の取柄もないぬつべらばうの凡島である。臘豚獸の棲息地として世界に有名な此の島を海豹島と呼ぶ譯が頓と分らぬ。海豹とは蓋し「アザラシ」の事である。

露西亞人や亞米利加人は、この島の事をロツペン島と稱して居る。それは南極に居る「ペンギン」鳥の孫見たいな「ロツペン」と名づけらるゝ鳥が多數に居るからである。此の鳥は燕尾服を着て坐つたやうな恰好をして、岩石の上に一面にうよく群がつて、人間を見ても平氣で卵を孵化して居る。

西北に面せる海岸は波にうち寄せられた昆布の山があるだけで其の他には何もない。臘豚獸の大群が居るのは東南に面せる平砂の上だ。吾が輩は筑後川丸から端艇を卸して上陸して見た。

昆布の堆高く打寄せたる西北岸の中央を少し登れば監守の官舎がある。これと列んで傭人の小舎と物置が岩の間に旨く建てられて居る。

淺野巡查部長が案内をしてくれる。監守所の裏を通り抜けると細路の兩側は石を積み上げて垣にしてある。

島の頂上から又だら／＼阪を半町ばかり同じ石垣路を下れば太平洋に面せる東岸中央部の、恰も議會の演壇の如き高所に出る。此處から三方を見おろすやうになつて居るが――



居るは居るは、數千頭の臘腸獸が。東岸は西岸と異つて海ぞひに長い砂原、幅六七間、延長は三百間程ある。ちつと覗けば彼所に一團、此處に一群、三四十頭から百二三十頭の臘腸獸が約七八十箇所に集團をなして居る。ウヨくくく、不恰好千萬な例の姿を、前後左右に搖動かす有様の面白さ、或は下手に廻した獨樂が味増摺舞をするやうに、或は縁日の覽乞食が、右や左のお旦那様を連呼するやうな姿にも似てゐる。

「彼の一つく、割據した集團を、部屋と謂ひまして、中央に牛位の大きい奴が居るでせう。あれが牝で部屋主なんです」

と淺野部長が説明する。牝と牝とは身體に非常な差がある。

牝は普通犬くらゐだが、牝は六尺有餘の圖體である。誰でも初めは臘腸獸ではないと思ふといふ話であつた。成るほど形ばかりでなく、毛色も違ふ。部屋主の大なるものは茶褐色で、若いのはや牝はみな黒色に見える。

本年は既に二千の牝臘腸獸が上陸して、各々一兒を擧げたさうで、外に二千の兒臘腸獸が、是は海岸を最も離れて一大群をなして居る。之に牝の壯少幼年者五六百を加へて、總計五千頭に近い。十月までには一萬以上に達するであらうとのことであつた。

遙か波打際の磯邊を見れば、又數百の若臘腸獸が、ウヨくく頭を出したり引込まれたりして

居る。「彼奴等は未だ幼年三四歳の牝だから上陸を許されぬのです。滅多にのこく、來やうものなら主に嚙殺されてしまひます」との説明であつた。成程中に鮮血淋漓たる半死半生のが居る。(高松操)

### 三 都邑交通

#### 教授の主眼

地勢・産業の大體を復習しながら之れと關係的に交通の狀況を授け、尙ほ交通上の要路に當れる都會について教授すべきである。

#### 敷衍及附説事項

**本島の交通** (一) 陸上の交通 露領時代には本島の交通機關については何等顧みられなかつたが、我が國の領地となつてから不完全な露西亞時代の道路を改修し又南部には鐵道をさへ設けて南北交通の利便に供する様になつた。道路はこの鐵路に沿ふものが最も完全なものとなつて居るが、更に東西の交通を圖るために豊原から山脈を横斷して十九里の距離を眞岡迄新道の開鑿をさへ見るに至つた。其他主要部落をつなぐ道路の開通次第に多きを加へて居る。尙ほ冬季には南部北部共犬橈を使用し、又北部には馴鹿の橈が重要な交通機關と



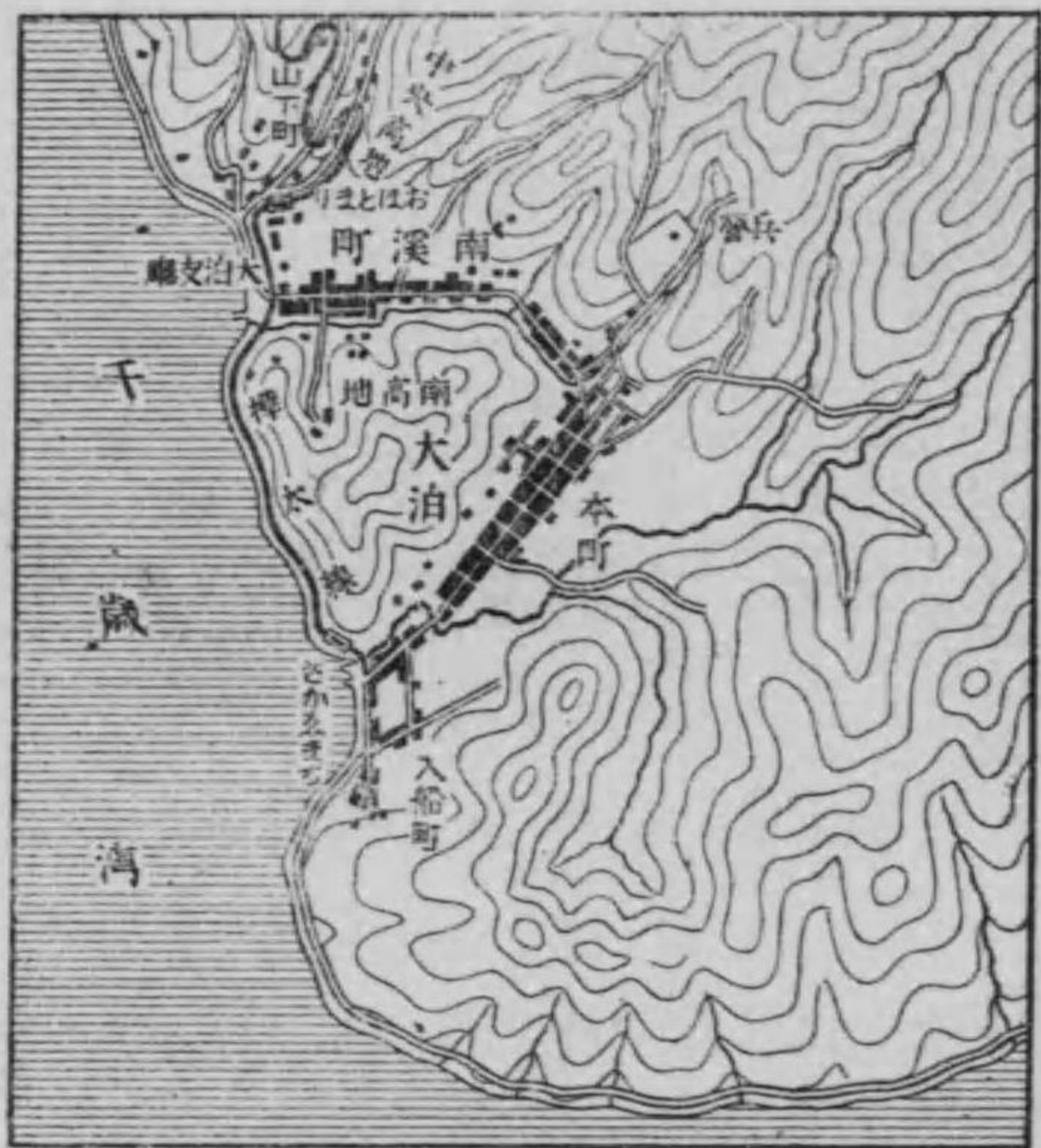
なるのである。明治三十九年大泊から豊原までを軍用の目的で敷設された輕便鐵道は同四十三年に改造せられ、翌年の冬にはオホーツク海の海岸榮濱まで



樺太人太と大種

延長されて茲に南部平野を南北に貫く鐵道の開通を見るに至つたのである。尙ほこの線の途中には炭坑地川上へ通ずる運炭用の支線も出來て居る。(二)海上の交通 夏季は漁業が盛んである上に海上も大概穩かであるから、此季になると内地と本島との交通は頻繁となり、又沿岸航路も活氣を帯びて來る。併し一朝冬季に際會するや海面は凍結し、又流水の浮動に妨げられて航海殆んど杜絶の状態になる。僅かに不凍港である西岸真岡港を除くと他の港はよし碎氷船の設備があるとしても船舶の出入は極めて稀であるといつてよい。本島の航路は大體樺太内地線と沿岸線との二つに分ける事が出來、又之れに逓信省、樺太廳の補助を受けるものと、全く

補助なき自由航路に分つ事が出來る。現時の命令航路受命者は北日本汽船株式會社、亞庭汽船株式會社、日本郵船株式會社であつて之れ等は、多く沿岸航路に



屬し、北日本汽船會社は西海岸及東海岸を、亞庭汽船會社は亞庭灣岸を、日本郵船會社は稚内大泊間を夫々分擔して居る。本島内の都邑 (一)大泊 大泊は樺太島の玄關口に衝り内地との交通上頗る大切の所であつて、人口約一萬、本島第一の都會である。樺太鐵道は此地に起つて榮濱に通ずるを以て、大泊町は實に海陸交通の要地といふべく、本島の主産物である海産物も多くこの町に集散し、將來益々有望の町である大泊支廳、中學校、病院、測候所等がこの地にある。(二)豊原 この地は大泊を距る鐵路二十四哩の北にあつて鈴谷川平野の中心をなして居る。樺太廳の所在地であつて人口五千、本島第二の都會である。新開地都會の



特色として此處も街衢整然、約十間幅の大道を通じて居る。この町には樺太廳を始め豊原支廳裁判所、病院、學校等があり、本島の守護神として齋祀せる官幣大

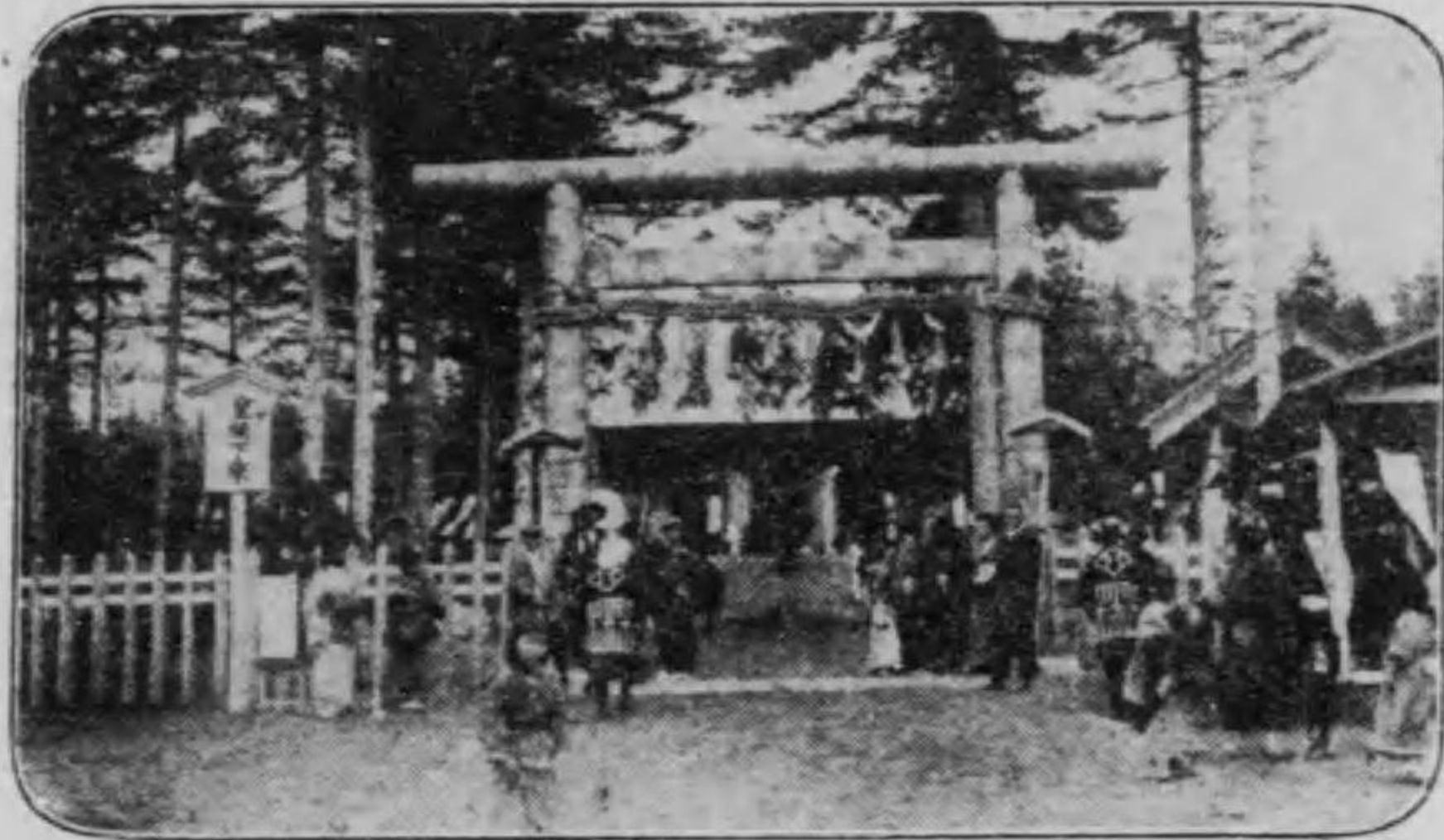
社樺太神社は市外高燥の地にある。(三)眞岡西海岸の眞岡灣に臨み本島唯一の不凍港であつて冬季に於ける内地本島間の重要連絡港である。又人口は四千三百に達し本島第三の都邑である。附近漁業の中心地であるために此處も亦海産物の集散が極めて多い。

### 取扱上の注意

地理的用語 門戸。港市。航路。起點。中心都會。集散

挿繪の解説 (一)豊原の市街 圖は豊原市街の

大通を南から北に向つてのぞんだものであつて、この街路は幅十六間にも及び、流石に新開地の街路としてふさはしい。圖に表はれて居る家屋は何れも日本式の建築法で



官幣大社樺太神社

あつて一見内地の市街を見る様な感がある。殊に街路の片方には電線が空中に架せられて居るし、遠き彼方に大煙突が二本、黒煙を天に冲して居るなど豊原

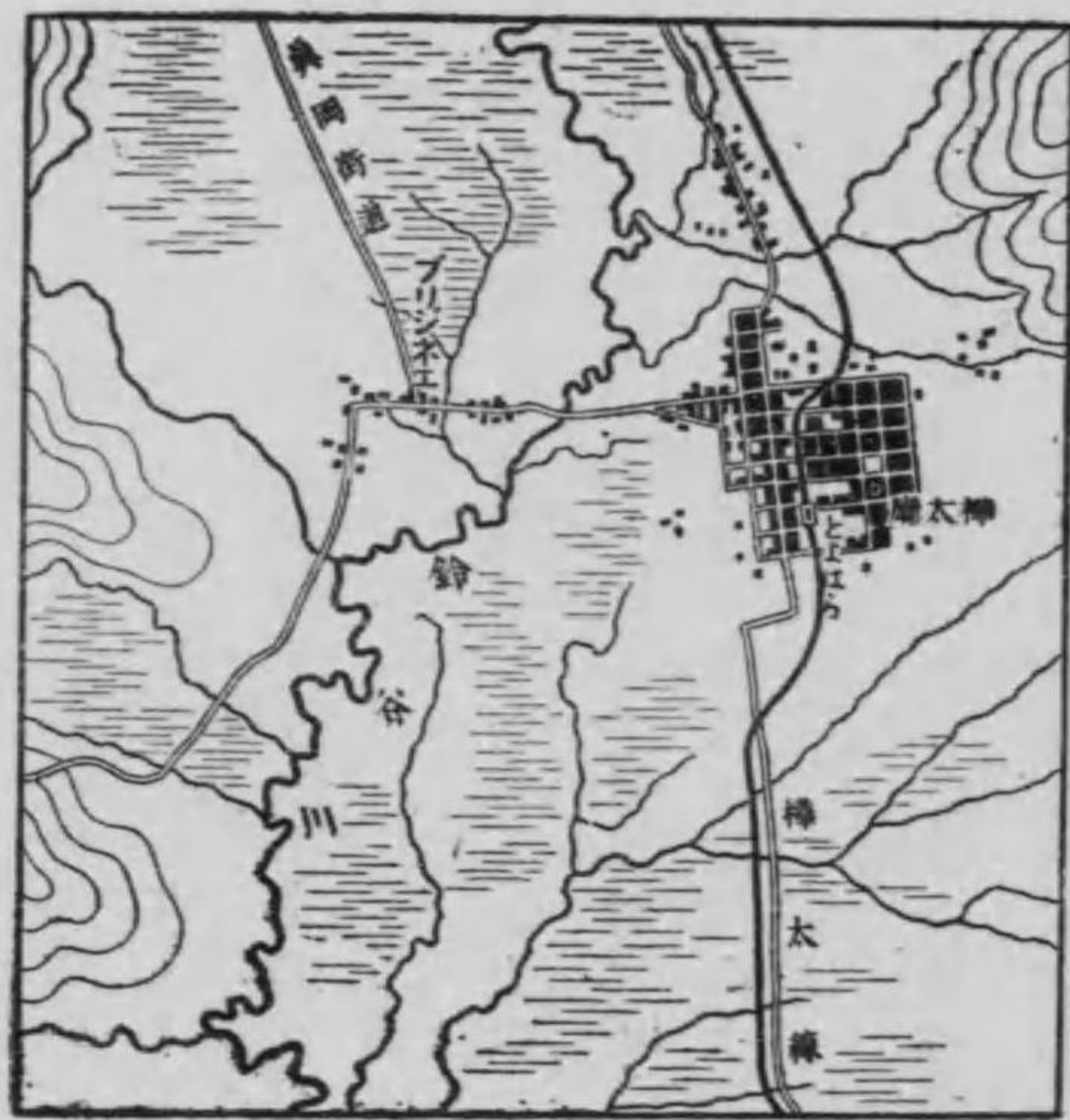
市街の日に殷賑に向つて居る状が想見せられ心強い感がある。

### 自働作業の指導

(一)内地本島間の航程を概算せしむ。(二)本島主要都市の各特徴を列挙せしむ。(三)本島の略圖を描き主要交通路及都邑を記入せしむ。

### 教辨物の指示

樺太地圖。大泊、豊原の擴大圖。眞岡港、樺太神社の寫眞又は繪葉書



### 參考資料

樺太植民案内 樺太廳の移住民に與ふる保護及び特典は大略左の各項である。

(一)未開地は一戸に付き五町歩乃至七町歩を無償で貸附け、五ヶ年以内に牛馬一頭乃至二頭



を所有して其の土地に居住し、貸附地の十分の七乃至十分の八以上を成墾すれば其の全部を無償にて附與する。

(二)牛馬等の家畜を貸附し、牛馬は五ヶ年以内に其の仔畜一頭を納附すれば、母畜は借受人の所有に歸する。而して是等の家畜には樺太廳所管の種畜を無料で種付す。

(三)移住の初年に限り麥類馬鈴薯等の種子を約一町に播種すべき數量を給與す。

(四)島外より家畜を移入したるとき又は島内に於て種畜の資質ある牛馬を購入したるときは種畜は馬三百圓以内、牛二百圓以内、豚十圓以内、其の他のものは三十圓以内の補助金を下附す。

(五)洋犁、耙、耨、除草器を購入したるときは、元價の約半額、農事獎勵上必要と認めたる施設に對しては其の經費の幾分を補助する。

(六)移住後一ヶ年以内に住宅を建設したるときは三十五圓以内の補助金を下附す。又在來家屋の存する所は貸付す。但し其の數は極めて少い。

(七)共同放牧場を豫定しある所は其の部落移住者に無料で共同に使用せしむ。本島移住民者として前記の恩典に與らうとするには左の資格を要する。

(一)樺太永住の決心を爲し、家族を携帶して移住し、家族中二人以上農事の勞働に適する者あること。

(二)旅費を自辨し、移住後少くとも一ヶ年の糧食及び開墾に必要な費用を支辨するの準備あること。

農民として移住し、官憲の恩典に預らうとする者は、樺太廳に請求して移民案内を取り寄せ、熟讀したる上にて渡航し、所轄の樺太支廳及び各出張所に出頭して其の指示を受け、目的地に移住するのである。又移住者は土地出願、其の他の場合に於て必要なるが故に、非戸主は移住に關する戸主の同意書及び戸籍謄本二通を所持する必要がある。

移住後一ヶ年間に要する經費は一戸四人とし、衣類、夜具等を携帶するものとすれば、雜費二十圓あれば足るべきも、春季移住して十月收穫するものを食料に供するとすれば、食料費は約半額で間に合ふのである。尙前述の如く相當小屋掛を爲すものは三十五圓以内、及び農具買入れには十圓以外の補助金を受くることを得るが故に、其の分は前記金額から控除することが出来る。(海外植民地案内)

大正五年移住農民府縣別

府	縣	戸	數	人	口	府	縣	戸	數	人	口
北	道		一一三		四五	福	島		一四		三四
東	京		一		五	巖	手		一〇		二八
大	阪		一		一	青	森		二八		八七

第四 樺太地方

一九三



宮	長	山	靜	愛	三	奈	枳	茨	千	埼	新	兵
城	野	梨	岡	知	重	良	木	城	葉	玉	湯	庫
六	二	一	二	六	九	四	三	二	四	四	七	二
二	二	五	二	八	一	七	二	五	一	八	一	四
二	五	二	八	一	七	二	五	一	八	一	四	二
二	五	二	八	一	七	二	五	一	八	一	四	二
總	熊	滋	大	高	和	岡	鳥	富	石	福	秋	山
計	本	賀	分	知	山	山	取	山	川	井	田	形
二	九	五	一	一	一	六	一	三	四	六	一	〇
二	九	五	一	一	一	六	一	三	四	六	一	〇
二	九	五	一	一	一	六	一	三	四	六	一	〇
九	四	六	一	二	四	八	一	一	一	七	一	六
九	四	六	一	二	四	八	一	一	一	七	一	六

### 第五 朝鮮地方

#### 一 區分・地勢

#### 教授の主眼

朝鮮の沿革を語り次に其區分を明らかにし、統治の機關たる朝鮮總督府の位置及び職責の概要を知らしめ、尙ほ本地方の廣袤及び我が國に於ける位置關係を明らかにしたる後、此地の地勢を教授するがよい。地勢は特に山脈の走向を基とし、これに基いて河川の方向、平野の分布及び海岸地方の状態を推究せしむる様すべきである。

#### 敷衍及附説事項

**位置** 朝鮮は亞細亞の東南に斗出せる一大半島であつて地形南北に長く、恰も兎の將に對馬を蹴つて大陸に飛び移らんとする有様をなして居る。北は長白山脈、鴨綠江、圖們江の一部を以て支那の滿洲及び露領沿海州に接し、東は太平洋を隔て、我が本州島と相對し、對馬海峡を挟んで九州に向ひ、西は黃海に面して居る。南北最長の所は百九十里に達して居るが、最短の所でも百五十里を下らない。東西の幅は最も狭い所が四十餘里、最も廣い所は七十里を越えて居る。朝鮮の位置は我が國にとつて重要な位置にあつて、恰も我が國の胴腹に大刀を擬せる様な形をして居る。若し朝鮮半島が他國の領有に歸せんか、日本海は事



實上の日本海でなく、又九州地方は頗る危険の位置になつて來るのである。古來朝鮮半島が我が國と種々なる關係交渉を來した所以のものは全く、この半島が我が國の死活盛衰に頗る大なる關係があるからである。かの歐洲に於て巴爾幹が幾多問題の中心となる如く朝鮮は常に極東問題の中心をなして居る。日清、日露の戰爭原因がこの半島の保全に關して居た事は人のよく知る所である。かくの如く我が國防上極めて樞要のこの地が我が國に併合せられ、茲に古來經來つた難問題の解決を見るに至つたのは洵に我が國に執つて慶賀すべき事であつて、又吾等及び後代の國民はよく新附の鮮人と相提携し協力し以て我が國威の宣揚國力の充實に努むべきである。實に朝鮮は我が國の藩屏であり、又我が國が大陸發展をなす上の策源地、根據地として頗る重視すべき土地である事を忘れてはならぬ。

**朝鮮の面積** 朝鮮併合前二萬九千餘方里であつた我が國土の面積は朝鮮を合併するに至つて一躍四萬三千方里の面積に達した。實に朝鮮の廣袤は一萬四千二百二十三方里を有するのであつて、併合前の我が國の二分の一よりは稍小なるばかりである。之れを他の諸島と比較して朝鮮は四國・九州・臺灣・樺太・北海道を合せたものよりも稍大であるといふと、如何に朝鮮の面積の大なるか推察されよう。蓋し朝鮮は日本全圖の中では往々にして折返し圖とし縮尺を變へて描かれてあるために、實際の面積よりは多くの場合、小さきものゝ様に考へられるが、實際は中々大きな面積である事を知らねばならぬ。

京畿道	七六五方里	忠清南道	五七六方里
忠清北道	四九五	全羅南道	七五三
全羅北道	五一四	慶尙南道	八三三
慶尙北道	一一三三	江原道	一七二一
黃海道	一一〇二	平安南道	一一六四
平安北道	一六三六	咸鏡南道	一六七一
咸鏡北道	一七六〇	計	一四、一二三

**朝鮮の山脈** 朝鮮の土地は大體東朝鮮灣から西朝鮮灣に引く假想線を以て二つに分れ、北を北朝鮮南を南朝鮮といふ事が出来る。而して此兩部を見るに地勢著しく相違せる所がある。即ち北朝鮮は本地方の大陸部に屬し地形東西に長く従つて山脈も其方向に走るもの多く、南朝鮮は地形南北に長く山脈は地形



に従つて南北に走つて居る。又土地の高度は著しく北部が南部に勝つて居る。依て便宜上本地方の地勢を南北兩部に分つて調べる事も出来よう。

北部山脈中最も壯大なものは(一)長白山脈である。この山脈の南麓には鴨綠江、豆滿江の二川相背して北境に聳え其高さ九千尺に近く(二千七百米)實に朝鮮第一の高山である。北朝鮮の大部は上述せる如く一大高原地をなし漸次南に及んで終に日本海の海岸に迫つて居る。この一大障壁は古來朝鮮半島が北方種族の南下を喰ひ止め兎も角も獨立を全うせる所以のものであつて、恰も伊太利がアルプ山脈によつて歐洲大陸と隔離せられて居るのに相似て居る。(二)大白山脈 其駢走する所本半島の東部に偏倚し以て東部海岸の障壁を形成して居る。脈中には金剛山、五臺山、大關嶺、大白山等があるが就中金剛山は朝鮮第一の名山であつて、奇觀勝景多く、鮮人はこの山を見ざれば未だ朝鮮を知らざるなりと稱して居る(參考資料參照)。(三)小白山脈 この山脈は慶尙北道の小白山に發して南に走り數條に分岐して終に朝鮮南岸の岬灣、島嶼を形成して居るものであつて、脈中にはあまり大なる山はない。尙ほ朝鮮の西部には大白山脈の西を斜走して居る車嶺山脈、盧嶺山脈等があるが、之等は何れも丘陵性の小山脈であ



鴨綠江筏の集合

るから西部に向ふに従つて傾斜極めて緩漫に、沿岸には廣き平野も少なくない。本地方の河流 朝鮮の北部は土地幅が廣いのでこの地方には稍々長大なる河流がある。又西部及び南部の川も多く山脈と並行して流下するために長大のものが少くない。而して是等の河流は本地方文化の源泉をなす地方であつて産業發達し、戸口密に、半島の生命實にこの江畔にありといふも敢て誇張でない。(一)鴨綠江 百八十里、朝鮮半島第一の長流であるは固より、又我が國第一の長流である。水源は朝鮮第一の高峰白頭山に發し、幾多の支流を合せ西南に流れて終に黃海に注ぐものであつて、滿潮時には千噸の船舶も亦湖江して安東縣に達する事が出来るといふ。江の上流は有名なる森林地であるから、伐採せる樹木は多く此川によつて下流地方に運材せられる。しかれども處々に激流奔湍があり、又岩礁砂洲が多い爲に漕運



の便には多く利用せられぬ。寧ろ冬季結氷せる際に河道を楫によりて交通する上の利便が多い位である。(一)豆満江(九十里)水源を白頭山に發し鴨綠江とは全く相反對せる方面をとつて國境を流れ日本海に入るものであつて、河畔平野には乏しいが森林は鬱蒼として居る。(三)大同江(七十里)源を咸鏡道の境に發し西流して平壤の南を流れ下流一大江灣をなして黃海に注ぐものであつて、冬季三箇月の結氷期を除くとあとは水運の利便多き事洛東江に次ぐといはれて居る。(四)漢江(九十里)南江北江二川の水を合し朝鮮の首府京城の東南を繞つて西流し、終に京城灣に注ぐものであつて、下流仁川から京城の南である龍山迄水路凡そ三十五哩の間は汽船の上下が出来る。(五)錦江(七十里)この川の流域は朝鮮中最も肥沃だと云はれて居る所であつて、良園好圃相連り、従つて産物裕かに人煙稠密、繁盛の都會が多い。且つ河流に添うて風景のよい所が尠くない。(六)洛東江(七十里)源を大白山の南麓に發し南流して朝鮮海峡に注ぐものであつて、流域は大邱、晋州の沃野を控へ産物多く實に南朝鮮中樞要の地域をなして居る。河口から十二里の三浪津までは百噸以内の汽船は溯航する事が出来、舟楫の利便あるは又他の諸江に勝つて居る。以上述べた六つの川は古來朝鮮の六大江

と稱せられたものであつて、これ等の諸江流域は朝鮮半島の生命とも云ふべき地である。

**本地方の海岸** 本地方の海岸は日本海岸東黃海岸(西)朝鮮海峡(南)の三方面に分つ事が出来る。(一)東岸 大白山脈東西に連互するため、東海岸は斜面急であつて斷崖絶壁をなせる所多く、海岸線の屈曲に乏しく従つて良港が少い。僅かに永興灣が其最廣なるもので灣内の元山がこの方面第一の良港をなして居る。又この方面の海上には島嶼も少く、僅かに海岸を距る四十哩の東方にある鬱陵島が有名な位のものである。(二)南岸 朝鮮の南方は山脈が幾派にも分れて海



海金剛の奇勝

に没するため、岬灣の出入參差し、良灣好津が尠くない。例へば釜山港挿繪解説參照の如き、鎮海灣の如き、或は河東順天寶城灣の如き何れも良好の港灣であ



る。又島嶼の存在する事も頗る多く、就中巨濟島、南海島、巨文島、濟州島等有名である。(三)西岸 出入も多く又島嶼も尠くない。殊に西南海岸は多島海の名を有する程であつて、大小の島嶼、碁布散點し幾多の群島を形成して居る。又西海岸には木浦、群山、仁川、鎮南浦等の良港がある。特に西海岸で著しいものは潮汐干満の差が大なる事であつて、漢江の河口附近では三十三尺に上る。かくの如きは實に東洋第一といふべきであつて、之を同じ朝鮮の海岸である釜山附近の二尺、元山附近の海岸の一尺に比べて見ると著しき相違に驚かされるのである。

## 取扱上の注意

地理的用語 屬島。十三道。朝鮮總督府。海峡。主峯。高原狀。支脈。分水嶺。沿岸。國境。港灣。島嶼。△屬島とを占め。南に突出。海峡をへだて。シベリヤと境せらる。南にかたむきて。海岸にせまれり。東にかたよりて走る。平野に乏しく。地勢ゆるやか。良港まれなり。

挿繪の解説 (一)金剛山の一勝地 この繪は金剛山中外金剛の萬物相の一部分を示せるものである。萬物相は溫井里の西にあつてこの地は奇峰秀嶺左右から迫つて來て其溪谷の深さ約三里に及んで居る。この溪谷中の名勝萬物相は

この溪谷の右側にあつて溫井里からは約二里ある。この名勝の目標は路傍に牙の如き形せる奇岩の屹立せるのであつて、此門岩を左に見て累々たる轉石を踏んで進むと劔を立てた様な巨巖がある。それからは峻峯が轟々として居て、或は怪獸のうそぶくが如く、或は笥子の如く千態萬狀一步は一步と新しい景色を生む。頂上の石門を潜ると一巨巖があるが此處から覗くと幾千丈ともなき岩が削立して居て其壯快は言葉で云ひ盡す事は出來ぬ。圖中向つて右に錐の様につき立つて居るのは三仙岩の一で、左は萬相岩といふ名がついて居る。この三仙岩と萬相岩との間が通路である。巖間の樹木は五葉松又は楓樹である。圖中三仙岩の右手は玉女峰があつて其間に羊腸たる通路があつて新萬物相(約八町)奥萬物相(二十町)に達することが出来る。本圖は萬物相の一部分を示せるものである。(二)釜山港 この繪は釜山港の中央部であつて、釜山市街の繁華な部分は北西部にある。圖の左(東)には朝鮮人の住居が多い。釜山港の前面左方から突出して居る半島は赤崎半島であつて、半島の沖合に四五の小島の見えるのは五六島である。五六島はすぐ港の近くにある様であるが併し此あたりから連絡船が棧橋まで來るには四十分ばかりかかる。棧橋は長さ百六十一間餘



の突堤をなし幅は十八間からある。挿繪にはないが現時はこの第一棧橋に並んで(小蒸氣船の居る左側に)第二の棧橋がある。之れは大正二年に起工して大正七年の四月に完成したものである。釜山市中から棧橋に通ずる、大街道の向つて左に洋風の建築物が此方に向いて居るのは釜山停車場で階上は鐵道ホテルである。其規模は餘り大ではないが設備の點に於ては東洋第一の稱がある。街路の向つて右に矢張り此方へ向いて居る建物は税關本所で、棧橋の根元の所にあるのは税關監視所である。附近の建物は總て税關附屬の倉庫である。又左方一帯は停車場構内の一部である。圖に見える汽船は關釜聯絡船である。内地からの旅客は棧橋に上るとすぐ一方に着いて居る列車中の人となる事が出来、水陸の聯絡は輕便かつ愉快である。釜山港は更に大正八年から九百餘萬圓を投じて沖合の防波堤及び海底の浚渫をなす計畫である。釜山が世界的の港灣としての面目を具備するに至るもあまり遠い事ではあるまい。

**自働作業の指導** (一)朝鮮の略圖を描き十三道の行政區劃を明瞭ならしむ。(二)朝鮮略圖の上に山脈河川の方向、港灣、島嶼の名稱を記入せしむ。(三)東、西、南、三海岸を比較して其異同を列記せしむ。(四)本地方の縦、横斷面圖を描かしむ。

教辨物の指示

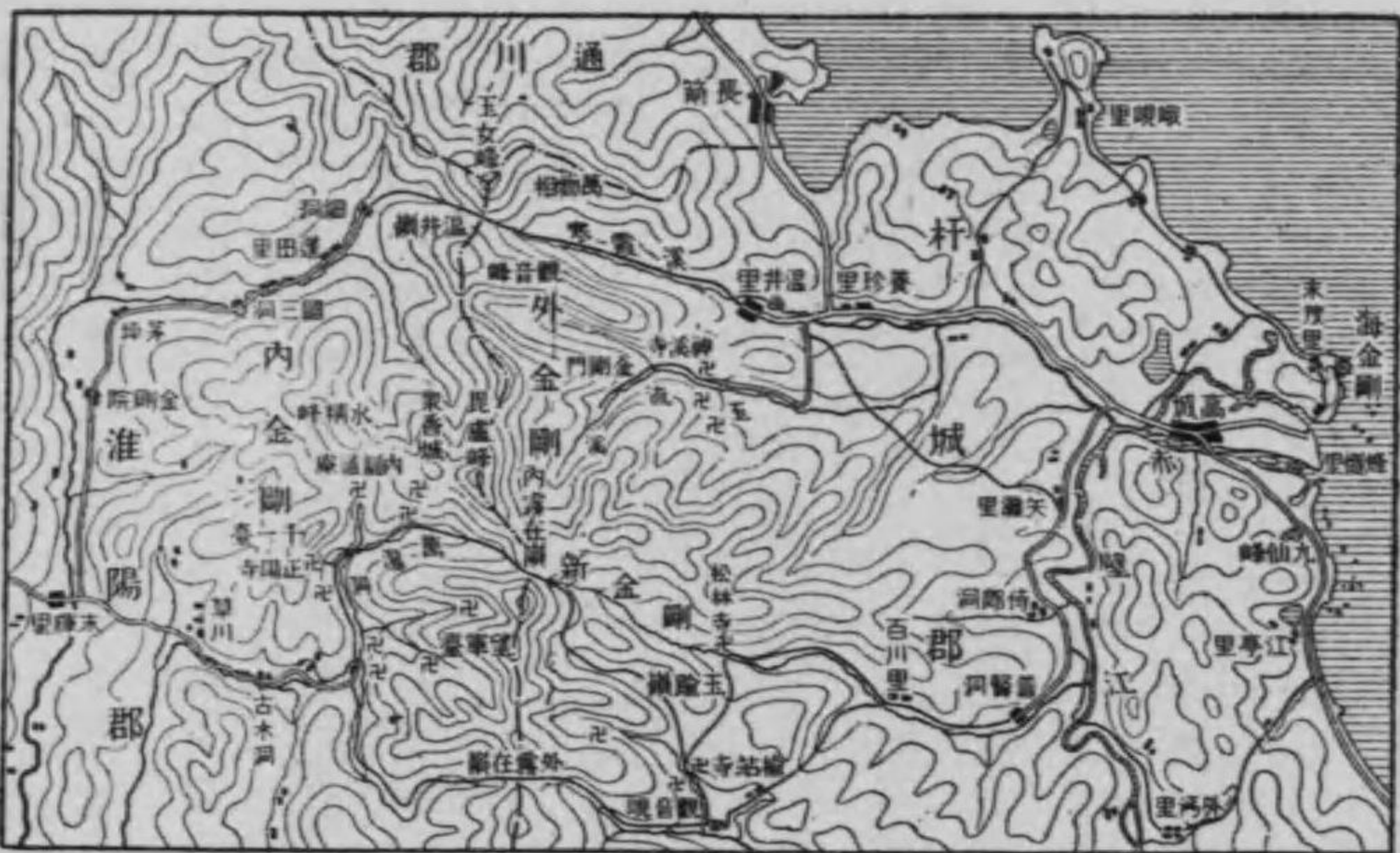
朝鮮地圖。

山系及河系圖。

鴨綠江、金剛山、白頭山、大同江、漢江等の名勝繪葉書。釜山港、仁川港、鎮海灣擴大圖。朝鮮各道別面積比較表

參考資料

**金剛山** 「金剛に遊ばざるものは、未だ朝鮮を語るに足らず。」と朝鮮人は云つて居るといふ事であるが實際金剛山は朝鮮第一の名山である。俗に群峯一萬二千と云ひ、三十六峰、十二瀑、百八伽藍と云はれて居るが、それ程この山は大規模の山である。一通り景色を探つて廻るだけでも、行程十一里を越えるといふ事である。一番高い山でも、海拔五千四百尺位しかなく、何様海岸からすぐ突立つて居るから、馬鹿に高く見える。誰れが數へたのかしらんが、一萬二千から峰があるといつて居るが、其山といふ山はみんな花崗岩質から成つて居るから、どれも裸山で、岩の割目などに朝鮮松などが、少しばかり生えて居る位のものである。そんな風だから、岩といふ岩は、皆



第五 朝鮮地方



面白い形をしたものばかりではあるが、耶馬溪や妙義山の岩の様な趣はいくらか薄い。しかし押流す土砂がないから溪流はまことに綺麗で、底の砂が一々数へられる位である。一口に金剛山といふが、内金剛と外金剛の二つに大體分れて居る。まづ内金剛では、明鏡臺といつて、楓の老樹が澤山あつて、景色の大そう勝れた所がある。しかし此處へ行くには、長安寺といふ寺から僅か一里の道のりしかないのに、一日は十分かゝるといふから、如何に險阻な所かといふ事が分らう。つぎに正陽寺は、四方を眺望するによい所である。そこに立つて見ると、頂の鋭くつがた山々が、丁度水晶の柱をたてたやうに見える。其他内金剛には、望軍臺、表訓寺、萬瀑洞など、風景の勝れた所が非常に多い。外金剛の方には、一層珍らしい風景が澤山ある。温井里には、温泉が湧き出て居て、内地風の旅館もある。神溪寺には、名高い老松と、千年以上もたつたといはれて居る、古い石の塔がある。其他飛鳳瀑、九龍淵など、池あり、淵あり、瀧もあり、夏なほ寒いやうな清い水が流れて居る。其他名高い名勝が尠くない。百八伽藍といふ位だから、寺は随分多い。中でも長安寺、表訓寺、楡站寺、神溪寺は、金剛山の四大寺といはれて居る。寺から寺へ、勝地から勝地への所々には、鐵の鎖がかゝつて居るから、これによつて峻しい所も攀ちのぼるのである。到るところ奇岩怪石多く、水は皆清らかで、其上季節によつては紅葉が之を彩り、寺が其間に見えつ隠れつして居る有様などまことに半島一の名に背かぬ。

内地から金剛へ行くには、釜山から直ぐ東廻りの汽船に乗りかへると、僅か一晚で、金剛山下の長箭浦につく事が出来る。もし釜山から陸路で行くのであれば、京城までは汽車で行き、そこで元山行に乗りかへ、平康驛で下りて其處から乗合自動車で、六時間走れば末輝里といふ所につくが、此處からは長安寺まで、僅か三里足らずの道のりである。



新金剛の石門

金剛山は内地の妙義山と耶馬溪をこき交ぜたやうな景色だといへば一番あたるであらう。春の花、夏の緑、秋の紅葉、冬の雪、何れもよいが、しかし冬は寒くて、温井里でさへ雪が六尺以上もつむといふから、探勝にはやはり四月下旬から十月中旬にかけての間がよい。前にも云つたやうに、景色の範圍が非常に広いから、一日や二日で十分見つやす事は出来ぬ。内金剛だけでも長安寺を起點として二日、外金剛だけでも温井里を起點として、矢張二日はかかる。幽邃の仙境を探るには、藤蔓や木の根を命の綱とたのみ、岩角を唯一の足場として、随分危険を冒す覺悟がなくては



はならぬが、日東男子の意氣は、これ位の危険でビク／＼するやうな事はなからう。

## 二 住民産業

### 教授の主眼

住民の教授に際しては朝鮮人の特徴を語り聞かせ、尙ほ之等新附の同胞に對しては誘掖を圖り決して輕蔑すべからざる旨を兒童に説き諭すべきである。又産業の教授に於ては地勢との關係を重視し、特に總督府の施政方針に基き將來本地方の開拓啓發上如何なる方面の産業を勃興すべきか、それ等の畫策經營についても兒童の程度に應じ考策を廻らさしむるがよい。

### 敷衍及附説事項

**在住人口** 大正五年末現在の内地人は戸數九萬三千五百五十、人口三十二萬九百三十八人で、朝鮮人は戸數三百七萬二千九十二、人口一千六百三十萬九千七百七十九人、支那人の戸數は四千四百四十八、人口一萬六千九百四十四人、其他の外國人は戸數四百七十二、人口一千八百八人を算して居る。而して其總數は大正五年に於て三百十六萬七千三百六十二、人口一千六百六十四萬八千二百二十九人に及んで居る。



朝鮮人

朝鮮は家族的に發達した國であるから家族觀念の方は割合に備はつて居るが、國家的の觀念は殆んどなく、従つて愛國

朝鮮人の濯洗の

心といふ程のものもない。つまり從來も他邦の保護干渉のお蔭で僅かに立つて居た國であるから、この國民には事大思想が瀰漫し、自立自營の精神に乏しい。即ち愛撫すれば恩に慣れ、威壓すれば直ちに背き去るといふ風な有様で、誠に御し悪い所の人民である。併し從來内地人が鮮人の性格を批評するのに巧言、誦詐、權謀、無耻、忘恩などいふ悪い文字を以て鮮人を評するの形容詞にした所から總ての鮮人を一様に悪く解する様な傾向になつて來て居る。「朝鮮風俗集」といふ本には鮮人の美質として、(一)親を大切に事(二)長上を尊敬する事(三)血族結婚をせざる事(四)未婚婦女の操行正しき事(五)よく官廳の命令を遵守する事(六)隣保協同の風がある事(七)恬淡晏如なる事(八)社交の辭令に巧みな



る事等が數へられて居る。一得一失は世の常、又鮮人にも一特長はあるべき筈である。古來鮮人階級には兩班よんぱん常民、賤民の三大階級があつて、嚴然社會的位置が區別されて居たのである。即ち兩班といふのは名門官吏となるべき資格ある家筋であつて、明治の初年頃に於ける士族と華族とを合せた様なものである。常民といふのは普通の農工商に従事して居るものであつて、別は之れ等常民中で智識門地の優秀なものを中人と稱し、兩班と常民との中間に配して居る人もある。又賤民といふのは劣等の種族及び劣等の職業に従事するものであつて、其中には種々の種族がある。かく古來鮮人の階級には三大階級があつたのであるが、近く我が國が併合するに及んで、朝鮮皇室は之れを王族と稱し、我が國の准皇族となし、別に内地の華族に當る者を貴族と稱する様になつた。近頃我が梨本宮家と李王家との御婚儀が成立するに及んで、彼我の間には美しい感情が流れ合ふ様になつたが、將來も内地人は朝鮮人に對して何等輕侮の事なく、よく提携して互の安寧を期し、朝鮮の開拓、延いては我が國の富強を期する覺悟がなくはならぬ。

氣候と植物 朝鮮は三面海に圍まれるにも拘らず、大陸続きであるために氣候

は一般に寒暑の差が甚だしい。僅かに南部の方は對馬海流の影響を蒙るが、日本海の方面は寒流が岸を洗うために位置の割合から云へば冬の寒さが烈しい。本土に比べて見ると南岸は福井地方に、中部は信濃地方に、又北朝鮮の沿海地方は、函館地方に、内陸高原は恰も北海道内と相似て居る。而して年中で最も暖なのは八月であつて、最寒は一月であるが、其寒暑の差は南部地方では二十五六度、中部は三十二度内外、北境地方は四十度を越える事が珍らしくない。夏の暑さも随分烈しく、室内で洋臘の彎曲する様な事もあるし、又寒中には麥酒瓶が氷結のために破裂する事もある。併し自然の妙はよくしたもので、冬は三寒四暖といつて三日寒ければあと四日は稍々溫和であるし、又夏は三熱四寒といつて三日暑ければあと四日は寒いといふ風であるから、いくらか凌ぎ易い。しかし冬分に來ると全く朝鮮特有の溫突によつて暖を執るの外はないから、自然朝鮮では薪なくして冬を越す事は出來ぬ。そこで溫突の燃料として鮮人は野山の樹木を濫伐し來つたのである。ために從來朝鮮の山は多く禿山で鬱葱たる森林は鴨綠江や豆滿江の上流地方へ行くの外でなくては多く見る事が出來ぬ。茲に於て總督府では銳意植林事業に努力して居る。この地の氣候はかくまで土地



の植物の上に大影響を及ぼして居る。又概して南部地方は氣候溫和であるから植物の生育よく農業も從てよく行はれる。(参考資料参照)

朝鮮の農業 概して朝鮮半島は農業に適する地質を持つて居る。中部以北は冬季随分寒冷ではあるが、併し作物の枯死する様な虞はなく、且つ四月以降は氣温が次第に上騰するから此季に及んで作物の生育著しく進み、良質の收穫物が得られる。殊に南部地方になると氣候溫暖であるから農産物の發育が最も佳良である。ただ惜むらくは朝鮮では用水が完備せぬために插秧が意の如くならぬのと、從來鮮民は遊惰であつて其業を勵まぬ上に其の耕作法が不完全であつたため十分の好果を收むる事が出来なかつたのである。依て將來灌漑の設備に一段の注意を拂ひ、又耕作法を改善して行けば十分の収益を得る事は必然である。今農産物の主なるものを擧げて見ると、(一)米 農産物中最も重要なものであつて、大正五年に於ける移輸出高は百六十萬石を超え、其價格は一千九百萬圓に餘つて居る。我が内地米の缺乏を補給するために鮮米が熾んに内地に移出され、以て米價の調節に貢献しつゝ、あるは人のよく知る所であらう。朝鮮半島中最も米産の多いのは慶尙南北道、全羅南北道であつて、最も振はぬの

は北部の咸鏡南北道である。



木浦埠頭の綿花

道栽培するが主産地は全羅南北、慶尙南北の四道である。鮮人は從來己が衣服を作るに自ら棉種を蒔き自ら紡績し自ら製織して需用に供する習慣であつた

(二)大豆 半島内到處に栽培せられ、又米と共に重要な移輸出品である。大正五年に於ける輸出

高は九千三百石を超え、其價格も六百萬圓に及んで居る。(三)麥 大麥小麥を主とし裸麥はあまり多

くない。大麥には春蒔、秋蒔があつて、京城以北は春蒔多く以南は秋蒔が多い。(四)煙草 朝鮮に於

ける特殊農産物中最も重要なものであつて、全道到處に栽培して居るが、就中産出の多いのは黄海道である。近時朝鮮總督府では主要産地に専門の技術官吏を派遣し、耕作の改良、産地の發展を奨励し大に其成績を擧げつゝある。大正五年に於ける煙草の收穫高は全道に於て三百四十八萬九千二百九十貫の多きに達して居る。(五)綿 全



が、近時内地から精練な紡績絲及び織物が移入するのために、棉花の紡績は次第に減少したが、其反對に朝鮮産棉花を内地に移出するの途が開けて漸次斯業の發達を來す様になつた。殊に在來の棉花は品質不良であつたので曩に總督府は米國種陸地棉の栽培を奨励し以て今日の如き良質の棉花を得るに至つたのである。大正五年末に於ける收穫高は四千五百萬斤に及び作付反別七萬七千町歩、栽培者四十六萬六千人の多きに達して居る。(六)人參 この作物も全道到處に多少の産出はあるが、最も世に有名なのは京畿道開城附近に産するものである。此地方は古來人參栽培盛んに行はれ明治三十五年頃には十萬斤以上の收穫に達した事もあるが、十數年前から人參に赤病と稱する一種の病毒蔓延し、其ため一時斯業の衰頽を來したが、近時また病毒の防遏に努め諸種の奨励法を講じ、今や收穫高三萬三千斤を超えその價格も二百萬圓を算するに至つた。人參は蒔種時より六七年の星霜を経ぬと收穫する事は出來ぬ。又人參には白蔘と紅蔘の二種あるが、紅蔘は生蔘を蒸し日光及火熱にて乾燥して作り、白蔘は單に日光に乾かして製作するのである。固より紅蔘は價高く、多く支那に輸出せられる。古來支那人は上下共に人參を愛用し、萬病の靈藥として尊重する風が

ある。白蔘は内地へ移出し、又米國に輸出する。

**朝鮮の牧畜** 朝鮮の牛は農業上にも、運搬上にも、又食用としても缺くべからざるものであつて汎く飼養せられて居る。性質は至つて温順、幼童といへどもよく之れを牧御する事が出来る。牛皮、生牛の輸移出は大正五年に於て四百五十萬圓に及んで居る。牛の外に馬も乗駄兩用に供せられる。又少数ではあるが鱈馬の飼養も行はれ矢張り乗駄兩用に供して居る。豚は家庭副業として多く主婦の飼養する所であるが、其品質はあまり良好でない。

**朝鮮の林業** 朝鮮の林野は全道七割三分の面積を占め、世界に稀なる山國であるに拘はらず、從來は特殊の保護がなかつた爲に、一般人民は自由に伐採し毫も植樹を企てるものが無かつたために、全道秃山曠野起伏し、滿目荒涼を極め、延て幾多の産業の上に大なる災禍を來して居る。茲に於てか總督府は銳意植林の奨励を企て、新たなる森林令を布き、國土の保安、水源の涵養、魚附風致の必要なるもの等は、悉く之れを保安林に編入し、又造林貸付の特典を設け、永年禁養林讓與の途を開くなど、造林事業促進の策を講ずる等刻下の急務について努力しつゝある。茲に於てか林相年を追うて改善され鮮人も亦愛林の美風を漸次享有す



るに至つた。殊に近時國有林野の内存置を要さない部分は民間に造林貸付を爲し、事業成功の後無償で付與し得る事とし、大に造林の奨励をなして居るため



鴨綠江の森林

民間に於ける植林事業は、輒近異數の發達を遂げ、大小の企業家簇出するの盛況である。鴨綠、豆

滿兩江の上流地方には朝鮮落葉松、朝鮮松、朝鮮もみ等の林が鬱葱と茂つて居るが、之れ等の伐採は秋冬兩期に於て行はれる。運材方法としては、江岸までの搬出を地上の積雪及結氷を利用して、牛曳、木馬、輕鐵に依り、川岸では五月頃氷の解けるのを待つて筏をつくり、之れによつて下流の方に落下するのである。流筏は通例五月から始まるが、就中六月から九月の間が最も盛大である。流筏に従事するのは上流の方の水路急で困難な所は内地人が當り、水路緩かで比較的作業の容易な所は内地人が指導監督して朝鮮人に當らしめるといふ事である。新義州では上流か

ら流下した木材を引上げ、各種建築用材、函材等を製作して居る。而して是等の産出材は主として朝鮮内地の需要に充てられ、一部は支那等に輸出せられる。併し今日の所、鴨綠江、豆滿江流域を除く其他の地方では、朝鮮内陸の發展に伴ふために建築用材、家屋用材の需要が頗る多いので、本土の材木では之れが補給を全うする事が出来ず、爲に内地及外國産木材の輸入がさかんに行はれる。

**朝鮮の鑛業** 従來朝鮮の鑛業行政は何等の方針なく、中央地方の官憲は孰れも任意に鑛業の許可を與へ、頗る統一を缺いて居たが、近時鑛業法及砂鑛採取法を制定し、舊弊を一掃し、以て鑛業の奨励を企畫して居る。茲に於てか内外資本者競つて朝鮮鑛業に着目するに至り、朝鮮鑛業界はために一新紀元を劃するに至つた。(一)金 金は朝鮮に於ける主要な産物であつて、一ヶ年約一千二百萬圓の産出がある。金坑中の最も有名なのは平安道にある雲山の鑛山であつて、この鑛山はもと米人と韓廷と共同經營になつたものであるが、今は東洋合同鑛業會社の經營に屬して居る。其鑛區の廣き平安北道、雲山郡全部を包括し、六坑に分れ、朝鮮に於ける最大規模の設備を有して居る。最近一箇年に於ける産額は三百十七萬餘圓に及んで居る。經營者東洋合同鑛業會社といふのは米人と元韓



國宮内府との共同經營になるものであつて、米人宮内府との間に採掘契約をなせるものである。契約は明治三十九年から向ふ二十五ヶ年間であるが、尙ほ滿期後も其の期限を延長する事が出来るといふ。雲山鑛山について著名なのは黃海道にある遂安鑛山であつて年額三百七十萬圓に及び、將に雲山鑛山を凌駕せんとして居る。(二)鐵 朝鮮は鐵鑛に富み、殊に褐鐵鑛の産出が多い。本道の鐵鑛山中最も有名なものは黃海道にある載寧及び殷栗の二鑛山である。この鑛山はもと韓國政府の經營になつたものであるが、併合後我が農商務省の所管に移り以て今日に及んで居る。大正五年に於ける兩鑛山の産額は合して十萬餘噸に及び、安岳鐵山の採鑛と共に多くは九州製鐵所に送られる。(二)石炭 石炭は平壤附近に多く埋藏し、近時平壤無煙炭の名漸く市場に知られる様になつた。平壤附近の炭坑は明治四十年以降官營となり、政府は此處に平壤鑛業所を設置し、大同、江東の二郡を鑛區として盛んに採掘して居る。採炭場は目下五箇所あつて、何れも鑛量多く、品質は頗る良好である。採出炭は内地に積み出し、山口縣徳山海軍煉炭製造所に供給されて居る。

## 朝鮮の水産業

朝鮮の海岸は延長八千餘哩に及び、氣候、潮流の關係上水産物頗

る豊富であつて、鱈、石首魚、明太魚、鯖、鯛をはじめ、海豚、烏賊等の魚族、鮑、貽貝、蛤の如き介類、石花菜、和布海苔等の如き海藻類に至るまで其數二百餘種に及んで居る。しかし従來朝鮮人の漁業法は頗る幼稚であつて漁獲も少く、明治四十二年度の統計によれば鮮人及び内地人の漁獲高は七百二十四萬圓であつたのが、近時漁業の改良進歩及び漁業従事者の増加とによつて年々著しく漁獲高を増加し、大正五年に於ては朝鮮人の漁獲高七百九十六萬餘圓、内地人の漁獲高七百九十九萬餘圓、合計一千五百九十五萬餘圓に達して居る。當局は漁業に對する施設を圖り、漁業の秩序を維持し生業の安固を得せしむるは固より水産に關する調査を行ひ以て本道水産業の發展を企畫して居る。まづ日本海方面の漁業狀況を見るに、この方面は水深く各種魚族が群棲し殊にリマン海流によつて寒帶性魚族が輸送され、又對馬海流は暖帶性魚族を齎らして、共に水産の分布を多からしめ捕魚の利が無盡藏と云はれて居る。鮮人の經營になる明太魚、鮭、鯨、鰵、又内地人の經營に係る捕鯨、鰹、鯖等の漁業がさかんである。南海岸は大小の島嶼基布散點し、岬灣相交り廣漠たる海域を占め、寒暖兩海流の影響を受け水産の分布豊かである。依てこの沿岸の漁業は内鮮人ともに發達し、鱈、鯖、鯛、鰵、鯨等の漁



獲が多い。黄海方面には特に春季八十八夜前後五十日間頃に石首魚、鯛、鱒等産卵のために、二十尋以内の淺所に群集し内鮮漁船の輻輳實に壯觀を極める。

### 取扱上の注意

地理的用語 冬季。流域。原野。牧畜。耕作。製材。鐵鑛。製鐵所。△河川に結氷。中部以南。人參の栽培。牛の飼養。

挿繪の解説 (一)新義州にある製材所 遠景の山々は鴨綠紅の對岸なる滿洲の山々であつて、安東縣はこの繪ではこの右手の方にあたる。製材所の右方に建竝んで居る家製材所に關係ある事務員の住宅又は事務所は鴨綠江畔に建つて居るのであつて、鴨綠江はつまりこれ等の建物と向ふの山々との間を流れて居るわけである。向つて左に煙突の建つて居るのは官營である營林廠の製材所(第一工場)であつて、其設立は明治四十年四月に屬し、別に鴨綠豆滿江の流域に二ヶ所の支廠と出張所を置き以て國有林野を管理經營して居る。製材材料は上流から筏して流下した紅松、落葉松、杉、松等であつて紅松には直徑二尺以上のももある。製材は各種建築用材、家具用材、鐵道枕木等に供給する。又製紙原料、マツチ軸木などにも使用せられる。挿繪の手前にある池は本流から分流せし

めたもので貯材所である。

自働作業の指導 (一)朝鮮地方の略圖を描き主要産物の分布を記入せしむ。(二)本道主要産業を表記せしむ。(三)朝鮮の産業が内地に及ぼす關係及影響を考察せしめ箇條書せしむ。

教辦物の指示 朝鮮地方圖。主要産物産額一覽表。新義州製材所、開城の人參栽培場、雲山鑛山等の寫眞又は繪葉書。朝鮮土人風俗畫數種、石首魚、明太魚、人參の標本。

### 參考資料

朝鮮の夏 朝鮮の夏はいかにも暑い。吾々の官舎は京城の中でも比較的高燥の位置に在つたが、毎日午後二三時頃は、室内で華氏九十三四度乃至五六度に昇つた。下町は定めし百度にも達したであらう。唯聊か助かるのは空氣の乾燥して居る爲に、同じ暑さでもカラツとして居る事と、極暑の期間が日本に比すれば稍々短いことである。此の温度で蒸暑かつたら、一層苦しい事であらう。

百度に垂んとする暑さでは實際何を爲るのも慵くなる、朝鮮人も日中は屋内に休息するものと見え、市街も頗る淋しい。時時親しき西洋人などから五時の御茶に招かれると、御親切



に對して濟まないことだが、實際ありがた迷惑に感じたことも度々あつた。かく暑さに苦しむ場合に、言ひ知れぬ爽快な感をおぼえるのは稀に來る驟雨である。朝鮮の夕立は實に壯觀である。偉觀である。孟子の所謂大旱に雲霓を望むの時油然として黒雲の起ると見るや、小石の如き大滴の雨が非常な速力を以て落下し來る。其の勢の凄しきこと、篠突く雨とか盆を覆すが如し等の形容詞では中々物足らぬ氣がする。かゝる驟雨で暑氣を一掃し去つた後の心氣は何とも筆では書けない。しかのみならず此驟雨は京城に取りては天然の大掃降である。これが爲めに大道、小路、溝渠、河川に堆積停滯せる汚物を浚ひ漢江へ流し込むのである。雨脚の如何に強いかは一夕立ある毎に統監官邸内の急勾配道路は特別なる排水の設備あるに拘はらず、路面に幾條となく小溝の如きもの現はれ、其の都度多少の修繕を加へざれば、馬車を驅るに不便を感じた事に依りても、一通り想像が出来る。

自然は誠に好く出來て居るものである。朝鮮の夏も日中は苦熱堪へ難きも夕景より濕氣の無い、えも云へぬ涼風がそよ／＼と吹いて來る。朝も定めし涼しいのであらうが、京城の如く緯度の高い場所は夏分の夜の明け方も亦早いから、自分等の如き晏起黨は朝の涼しさを十分感ぜずして終つた夜の涼しさは又格別だ。避暑にも出懸けず、海水浴も爲さざる朝鮮の同胞をして絶えず蘇生の思あらしめるものは此の夜である。偶々月明の良夜窓前に閑坐して、何處ともなく朝鮮人の吹奏する哀れつばい、胡笛の音を聽く時は自分の如き鈍物

も亦一種の感に打たれざるを得なかつた。京城では漢江の涼船といふものがあるが、平壤の大同江も定めし同一の遊びが行はれて居るであらう。漢江の納涼は朝鮮では有名なもので、俚歌にも讀込まれて居る。これは龍山まで出懸けて名にし負ふ大河の水に棹さすのであるから、寒い程涼しいことは涼しいが夕陽に面して一里の道を龍山まで行き、夜更けて又一里返るのは考へものだ。日既に暮れた後、倭城臺や泥岨の散歩の方が、結局眞の納涼になるのである。それに就けても自分は常に京城にも東京の縁日の様な夜店があれば、慰みになつて良いと思つて居たが、自分の去るまでは終に行はれなかつた。

夏の夜、朝鮮人町に行つて見ると一驚を喫せざるを得ないのは、大人も小人も街路に筵を敷きてゴロ／＼寝て居ることである。京城の日本橋ともいふべき水標橋上でも、盛んに寝て居る。貧民街の方面へでも行かうものなら、町幅狭い上に街路も殆どないから、暗夜には人力車の通行は愚か、うっかり散歩しても人の頭や足を踏む虞がある。聞く所に依れば、日本以下の住宅は部屋も少く、かつ非常に狹隘であるから、自然屋外に寝るのださうであるが、日本よりも遙かに空氣が乾燥して居る爲に夜露の下りることも少いから、吾々の想像するほど健康に害もないといふことである。幼時よりの習慣だから宜いやうなもの、如何に短い夏の夜でも、吾々が若しも此の流儀を試みたら堪つたものではあるまい。(古谷久綱)



### 三 交通

#### 教授の主眼

本道中の主要道路及び海上航路の重要なものについて其起點終點を明らかにしながら教授すべきである。尙ほ交通路の取扱は箇々断片に陥る事を避け一の纏りたる交通系としての取扱を重んじなくてはならぬ。

#### 敷衍及附説事項

**主要鐵道** (一)京釜線 釜山から京城に至る二百七十四哩餘の鐵道であつて京城から新義州に至る京義線と相接続して朝鮮の南北を縦貫し一大幹線をなして居る。この鐵道は明治三十四年八月起工し、三十八年一月一日營業を開始せしものであるが、たゞに本線は内地、京城間の接続線であるばかりでなく京義線、安奉線と相連続し以て滿洲に入るの主要路をなし、又西比利亞、北京方面との接続もある。内地釜山間の連絡としては五隻の連絡船を以て下關、釜山間の定期航海が晝夜二回往復されて居る。故に東京、大阪方面から朝鮮に渡るものは鐵路中國を西に走つて下の關に於て下車し、また長崎、鹿兒島方面の旅客は門司に

於て下車し、孰も連絡船に搭じ海上百二十二哩を十一時間半で釜山棧橋に着するのである。假に今東京驛を一日の午前に發車するとせば二日午前下の關着、



直に乗船すれば其晚には早や釜山に着する事が出来る。即夜釜山を發すると三日の朝には京城に入る事が出来る便がある。釜山は本道に入るの門戸であるから從て關釜聯絡船は専ら旅客を目的に愉快に航海し得べき設備が施されて居る。而も京釜線と連絡船との接続は數歩を費さなくて乗降が出来る様になつて居るから至極便利である。

本線の急行旅客列車は朝夕二回釜山驛を發し、南滿洲線、東清鐵道、京奉鐵道の各線と相連絡して居る。又別に鮮滿直通急行旅客列車があつて釜山、長春間を一週一回運轉發着する。前の急行旅客列車は急行券の購求を要せず、又各等車及



食堂、寢堂車の連結もあるが、日本歐洲間交通の最捷連鎖である鮮滿急行列車は優良な一二等寢臺車並に食堂車を連結して居るが、三等旅客の取扱はなさぬ。この方は普通乗車券の外に急行座席券の購求を必要とするのである。



鴨綠江の鐵橋

線、平壤炭坑線等の支線が出て居る。本線の終點新義州は鴨綠江の一水を隔て、支那の安東と相對しその間には鴨綠江架橋成り鮮滿鐵道の聯絡全きを得て、京義線は全く安奉線に連接する事になつて居る。(三)京元線 京城を發して本道の東岸元山に至る鐵道であつて哩數百三十八哩餘、實に本道を東西に横斷し表朝鮮と裏朝鮮とを連絡する主要幹線である。(四)湖南線 京釜線の要驛太田

から分岐して西に走り、江景から更に南方に展びて朝鮮の西南隅なる木浦に至る百六十一哩餘の鐵道である。本線は明治四十四年七月の開通であつて、爾來沿線地方の開発に資する事が尠くない。又途中群山に岐れる小距離の支線がある。

朝鮮に於ける現時の鐵道延長は實に一千七十六哩六分を算し、軌條の幅も本支線共に四呎八吋半の廣軌であつて、車輛はボギー式を用ひ、客車も廣く且つ壯麗である。

**海上の交通** 船舶を朝鮮に籍を置くと内地や關東州に置くよりも有利な所から、船舶業者が大型汽船を朝鮮に置くものが従來多かつたが、歐洲戦争があつて以來今日に及んでは其影響を受けてあまり著しき増加を見ない。朝鮮に於ける定期航路の重なるものは、(一)朝鮮内に限るもの、(二)内地を起點として朝鮮に往來するもの、(三)内地を起點として朝鮮を經由し外國に到るもの、(四)朝鮮を起點として内地又は外國に到るもの、(五)外國を起點として朝鮮に來るもの等の五つの區別がある。而して其内には朝鮮總督府の命令航路又は自營によるものがあり、鐵道院及び福岡縣命令、陸軍省特殊命令、關東廳命令等によるものがある。



之等の航路は幾線にも分れて居て其距離の長短は一様ではないが併し開港場は勿論主なる漁業根據地及び地方交通上の要津には大概寄港する事になつて居る。朝鮮を起點として内地又は外國に到るもの内地又は外國を起點として朝鮮に來るもの及び朝鮮を經由して外國に到るもの等の主要航路には、元山浦鹽線・仁川芝罘線・關釜聯絡線・博多釜山線・神戸清津線・大阪清津線・大阪群山線・大阪仁川線・大阪鎮南浦線・大連芝罘仁川線・神戸浦鹽線・長崎大連線・橫濱大連線・橫濱牛莊線等がある。之等主要航路の起點終點をなす貿易港としては釜山・仁川・鎮南浦・元山等がある。

### 教授上の注意

地理的用語 幹線。鐵道連絡線。外國航路。貿易。△平野をつらぬきて縦走す。安奉線に接續。春夏の候。船舶の出入しげく。

自働作業の指導 (一)朝鮮の略圖を描き主要鐵道線路を記入せしむ。(二)郷土より朝鮮を經由して滿洲に到るには如何なる順路を執るべきか其旅行豫定を作製せしむ。(三)朝鮮の各主要都市間の鐵路及び航路の行程を概算せしめ尙ほ之れに要する時間を概算せしむ。

教養物の指示 朝鮮地方圖。朝鮮近海航路圖。關釜聯絡船及び釜山の船車連絡圖。釜山港・仁川港・鎮南浦・元山等の繪畫繪葉書。

### 參考資料

朝鮮植民案内 東洋拓植株式會社に於て毎年移住民を募集する。其の移住民となるには土着永住の意志が堅く、朝鮮に渡來し専心農業を營むか、若くは本業の傍に農業に従事せんとする勤勉な、而も身體強壯なる者に限る。日傭人、出稼人、勞働人夫の如く意志の不確實なる、一時的渡來を目的とするものは募集しない。同社に於て募集する移住民の種類は第一種と第二種とに分れて居つて、其の間に多少の差異はあるが、孰れも將來に於て土地の地主たるべきものである。會社が各人に割充てる土地は將來に於ては未墾地であるが、現在に於ては皆既墾地である。

第一種移住民は、(イ)田畑を通じ一戸に付二町歩以内の割當てを受け、(ロ)其の土地の價格に年六分の利子を附し、二十五年以内年賦拂込を爲す者で、元金拂込は五年以内の据置期間を設け、利子の償還については移住初年に於ける利子の支拂を猶豫し、(ハ)讓渡を受くべき土地は全部自作するを要し、(ニ)尙移住後の成績良好なる者には、別に三町歩以内の土地を前記拂込の方法に依つて増加して貰ふことが出来る。

第二種移住民は、(イ)田畑を通じて一戸に付き十町歩以内の割當てを受け、(ロ)其の土地代金の



四分の一以上を一時に拂込み、其の残額は年七分の利子を附し二十五年以内を年賦拂込する者で、(ハ)讓渡を受くべき土地は一部を自作し、其の他は小作させてもよいのである。此の種に屬する者は主として地方農村の中流以上の子弟で、農事上相當の學歴、資産及び經驗等を有する、意志堅實なる者たるを要し、第一種移住民並に附近朝鮮人農業者を指導して、地方産業の開發に當るべきものである。

半農移民と云ふのは本業の傍農業に従事するもので、例へば半漁半農者、又は教師、醫師、僧侶、大工、左官、鍛冶工、其の他の商工業を営む者で、業務の傍農業を営む者である。會社は是等の者に對しては、移住部落構成の關係上適當の耕地を割當てがひ、第一種移住民と同様の條件に依つて土地を讓渡し、及び移住費の貸付けを爲すのである。

會社が毎年募集する移住民の戸數には自ら制限があり、又其の所有土地にも自ら制限があつて多數希望者に満足を與へることが出來ぬ。そこで特種移民及び新に土地の買入を爲す移民の規定を設けて置いて、之に依つて各種の便宜を與へることになつて居る。

尙朝鮮移住民希望者は、東洋拓植株式會社に宛て、朝鮮移住案内と云ふ小冊子を取寄せて見ることがよい。四錢切手を封入し、京城、下關、東京の(東京は芝區佐久間町所在)三箇所中何れへなりとも請求すれば直に送つて呉れる。

小資本を以て獨立で商賣するには左記のものがよからう。

古着古道具商。醬油の小賣。小間物商。そば屋兼しるこ屋。飯屋と煮しめ屋。雜貨商。菓子氷屋。今川焼。豆腐屋。卵の仲買。理髮師(妻は女)等。(海外植民地案内)

#### 四 都 邑

#### 教授の主眼

位置及び地勢産業に關聯して朝鮮に於ける都市發達の原因を推測せしめ、大體南部中部及び北部に大別して其主要都邑の狀況を知らしむべきである。尙ほ都邑教授に際しては既授の地勢及び産業交通等の事柄を出來得るだけ復習する積りにて取扱ふべきである。

#### 敷衍及附説事項

南部の都邑 (一)釜山 朝鮮の南端に位し内地とは聯絡船によつて下關に相對して居る。釜山は實に朝鮮縱貫鐵道の起點であつて又歐亞大陸に通ずる門戸である。釜山はたゞに其位置本道の關門たるばかりでなく其港は實に天然の良港であつて、西北一帯山を以て包まれ、東南海に面して赤崎半島及び絶影島に相抱かれ、海水深く風波の患も少ない。釜山が古來日鮮交通上唯一の關門たり



しは蓋しこの位置及び地勢關係に基くのである。現人口六萬千餘に及び漸次朝鮮内地の開発と相俟つて益々發展すべき傾向を有つて居る。下關との間に往復をして居る聯絡船は朝夕二回發着をするが、其汽船と京釜線との聯絡は頗る文明式に出來て居て、旅客は棧橋上に上陸するや數歩を費さなくて早や汽車に搭乘する事が出來る様になつて居る。輸移出の物資は大部分當港を經由するから輸移出貿易は朝鮮の開港場中第一であつて輸移入の最多なる仁川と相對して釜山は朝鮮に於ける大貿易港である。又内地人の經營せる市街は街衢整齊してゐて、其狀恰も内地の都市を見る様である。(二)大邱 大邱は南朝鮮屈指の大都會であつて附近は有名の農産地であるから物貨の集散多く、從て商業も販を極めて居る。加ふるに京釜鐵道沿線の大驛であつて、又道路四方に通じ、西方三里の地に至れば洛東江の水運もあるから、實にこの地は水陸交通の要衝にあつて居るといつてよい。殊に當地で有名な今市は半島の商業を左右するの權威を有し、春秋二回に三十日間に互つて開く大市には雲集するもの三十萬餘に及び、全都悉く一の大市場に化するの盛況を呈し、雜沓の狀言語に絶する者がある。(挿繪の解説参照)。(三)木浦 榮山江の河口木浦灣に臨む港市であ

つて後に山を負ひ前に半島を繞らして灣内東西に長く南北に狭く水深く波靜



朝鮮總督府

かであつて、大船巨舶の繫泊も容易である。本港は明治三十年十月の開港であるが、近時湖南線の開通によつて水陸の要衝に當り貿易年額五百萬圓に及んで居る。榮山江流域に産する棉花及び米は多くこの地に集散し、本港より輸移出する。現人口は一萬五千人に及ぶ。(四)群山 錦江の河口に位し、農産地として有名な江景、全州の二平野に臨んで居るから米穀の集散多く、又運輸交通にも便利である。群山も亦朝鮮に於ける開港場の一であつて最近の貿易年額は八百萬圓に及び、輸移出額に於ては、仁川釜山に次ぐの盛況である。現人口は一萬人を越えて居る。

中部の都邑 (一)京城 李朝五百年間の王都であつたこの地は今や我が總督府の所在地であつて、朝鮮に於ける政治經濟其他の重なる機關は概ねこの地にあ

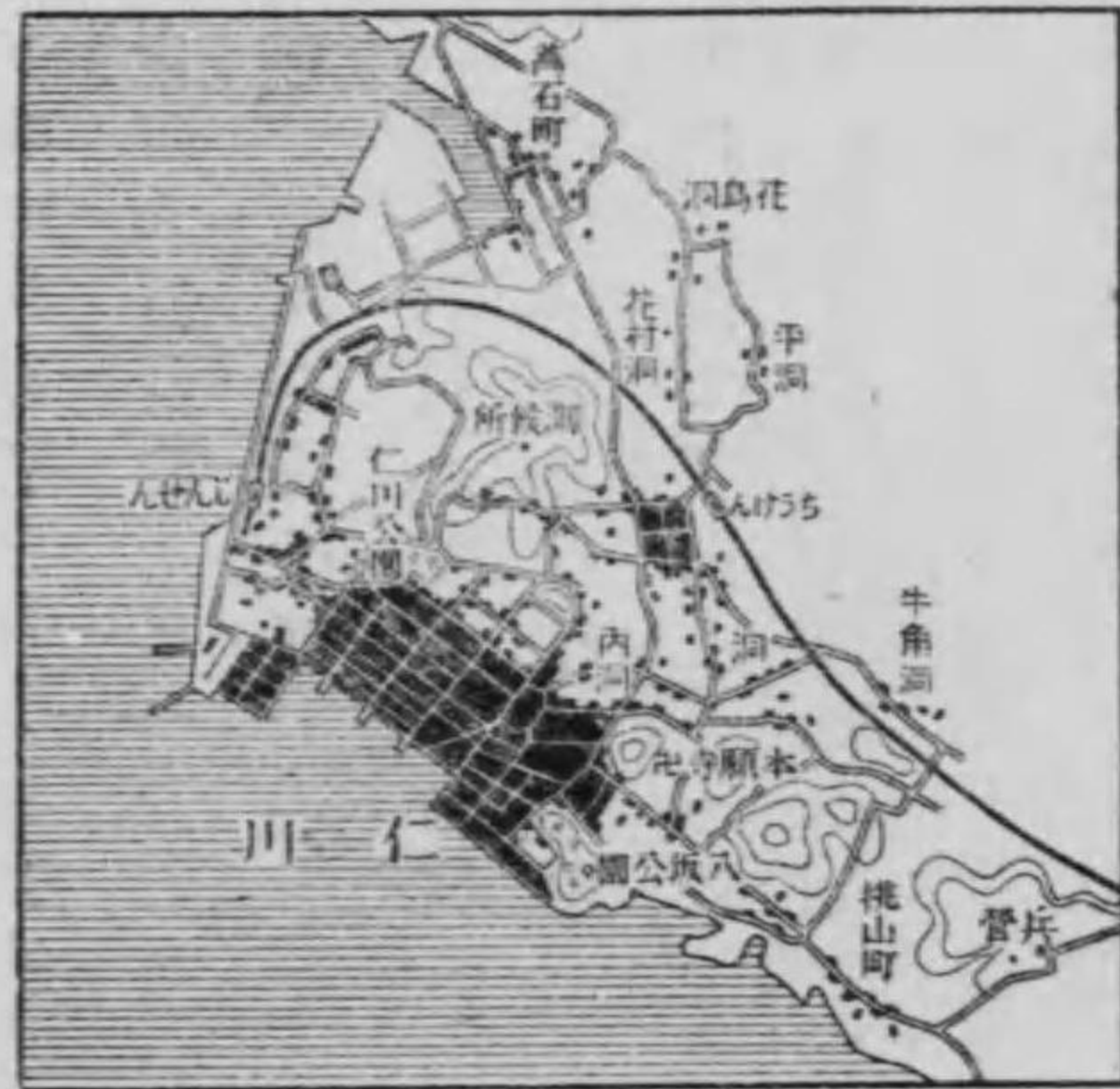


る。京城は略々其位置朝鮮半島の中央に位し、其地勢北方に巨峰を控へ南方恰も蠶兒の頭を擡げたる如き南山を隔て、洋々たる漢江の長流に接し頗る形勝の地域をなして居る。従つて古來内陸各地との交通能く開け大道四方に通じ



て其要衝をなして居る。殊に又朝鮮の東西南北を通ずる鐵道成り、南北の線は半島を縦貫して歐亞聯絡の捷徑となり、東西の線は西黃海の仁川に起つて東日本海の元山に達し更に延びて永興に及んで居る。而して京城は恰も是等鐵道が十字形に交叉せる其中軸に當つて居るから其交通上の要衝たるは多く説明を要せぬ所である。域内の主要街路には電車軌道を通じ、人道車道の區別をなし、内地人の多き本町、南大門、通黃金町等には大なる商店櫛比し内外の百貨輻輳して殷賑を極めて居る。市の北方には昌德宮、景福宮、昌慶宮、慶熙宮など云ふ元

の宮城や貴族の邸宅が多いが、南方之れと相對して文祿の役に我が守將の砦壘を設けし倭城臺には我が總督府がある。京城市街は東西三十町、南北二十餘町に及び、第十九師團の所在地たる龍山其南方に接続して居る。釜山から京釜線に搭じ京義線に接続して滿洲に入らんとするものは京城を通過せなくて其南方城外の龍山驛を過ぎる事になる。もし京城に入らんとするものは龍山驛から京義線に分れ京城の南大門又は西大門停車場に下車すべきである。又京元線により元山より京城に入らんとするものも同様一度龍山驛を通過し更に迂回し終點なる京城の驛に下りるのである。直様京義線に接続せんとする者は其接続は龍山に於て



なすのである。かく龍山は京城と密接關係がある所から今や京城府内に編入されて居る。最近の調査によれば京城の人口は二十五萬三千餘であつて、其内鮮人は十八萬三千八百餘、内地人は六萬七千餘、外人は二千百餘を占めて居る。(參



考資料参照。(二)仁川 仁川は京城の西十里にある開港場であつて内地及び海外諸國との間に交通運輸が便利である。此地は明治十六年の開港以來次第に内外人の渡來相踵ぎ殊に日清日露の戦争に會して軍事上重要な位置である。本市は其影響を蒙つて益般賑の地となり遂に朝鮮の開港場中第一に指を屈するの大貿易港となつたのである。今本港から他の主要港迄の距離を見るに、長崎へは四百五十哩、大連へは二百八十六哩、芝罘へ二百七十哩、青島へ三百四十哩、上海へ四百八十八哩を隔て、内外の航路縦横に交錯して頗る便利を極めて居る。たゞ本港の外港は陸上との距離遠く且つ潮汐干満の差が甚しいために潮流が急激で交通上の不便を感ずる事多く、又内港は區域狭く水深なく大船の碇泊に適せぬ不便があつた。然るに明治四十四年以來銳意事業の進捗を計り市街前面の干潟を開鑿して、此處に船渠を造り、大船を繫泊せしむる大規模の築港計畫は愈々大正七年十月に於て其竣功を見た。十年の歳月と五百六十萬圓の巨費とを要した仁川の築港は如何なる目的の下に企てられたものであるかといふと、この開船渠は仁川の潮位干満の差最大實に三十三尺に達し干潮時に於ては解船と雖も陸岸に近づく事が出来なくて、荷役殆んど不便であつたのを除

却せんとの目的に出たものであつて、其閘門には二重門扉を設備して潮位の干満に拘はらず、船渠内は常に二十七尺以上の水位を保たしめ四六時中間斷なく



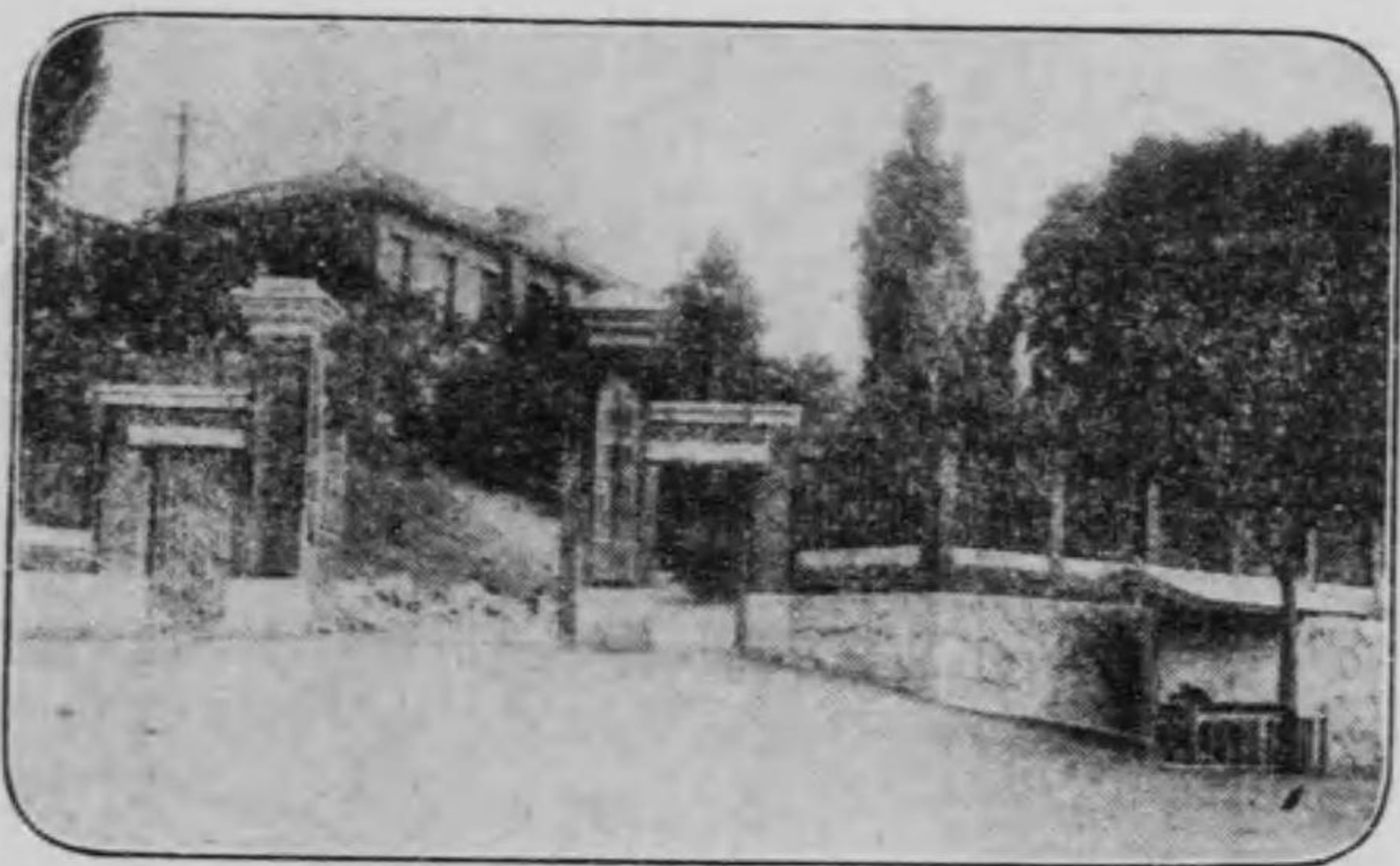
荷役をなさしめ、又船舶の出入に際しても船渠内貯水の流水を防ぐ装置になつて居る。其規模の宏大なるたしかに世界に誇るべき大設備である。築港の完成によつて本港の貿易は更に將來一層の發展を見るであらう。仁川現時の人口は約三萬二千あつて其中一萬八千人が鮮人、一萬二千人が内地人の割合になつて居る。

北部の都邑 (一)平壤 有名な大同江は市街の東南を流れ南は廣漠たる平野に接し

東北は牡丹乙密の二臺に據つて頗る形勝の地位を占めて居る。而して遠望したる平壤の市街美は古來朝鮮第一の稱を有し翠綠深き高臺を背景として高樓大廈巍然として聳え、溶々たる江流に大小の帆影去來して居る狀は正に一大



畫幅である。併しながら此勝地も屢々兵亂の巷となり爭奪の衝となつて居る。往古般の箕子が都せし以來征戰攻伐幾回なるを知らず、我が征韓の役に小西行



一 葦帶水支那山東省に對し黃海及び渤海の重要地點を占めて居る。從來冬季

朝鮮南浦府總

長の大敗せる、日清役に大島旅團の苦戰せる人のよく知れる所である。平壤は其地たゞに天險の要害であるばかりでなく、附近の地は地味肥沃に農産饒かであるから、從て農産物の集散するもの多くこれ等の取引盛に行はれる。平壤の人口は五萬六千を超え、内地人一萬一千餘人、外人六百八十人、其他は鮮人の占むる所である。(參考資料參照。(二)鎮南浦。鎮南浦は大同江を溯る十二哩にあるが水深三十尺乃至七十尺に及び河幅も亦一哩の廣さを有して居るから大船巨舶も容易に碇繋する事が出来る。鎮南浦は西北海岸唯一の良港であつて東北三十五里の平壤の門戸をなし、又

の三ヶ月は結氷の爲航海杜絶の缺點があつたが、大正四年に築港工事が竣功し今は頗る便利となつた。地味肥沃の内陸を控へて居るために穀類の集散が頗る多いが、之れと拮抗して盛んなのは鑛物であつて、近時鑛業の勃興と共に鐵石炭、亞鉛等の鑛産物輸出は朝鮮開港場の第一に位して居る。現時の人口は二萬四千人を有し、内地人は六千餘人に及んで居る。(三)元山。元山には元山津と元山港とがある。元山津といふのは從來の朝鮮人の市街で、元山港は即ち開港場市街の名稱である。元山は東朝鮮灣内の永興灣南部に位置して居る港津であつて、事實上朝鮮東海岸唯一の良港である。半島の突出によつて港口を扼し、四五の島嶼灣外に横はつて、日本海波濤の防壘をなして居る。本港の開港は明治十三年であつて釜山と共に隨分古い歴史を有つて居る。集散貨物の重なるものは麻布大豆、米、明大魚、棉花等である。元山は京元線の開通によつて大阪へは三日、京城へは半日で達する事が出来る様になつたから、此地の貿易關係は又昔日の比でなく、北鮮海陸物資の中繼所として次第に盛況を見るに至つた。現人口は二萬三千、内七千の内地人、三百餘の支那人を除くと後は鮮人である。(四)清津。清津は日本海に沿ふ一の港津で、敦賀に最も近く、會寧線によつて滿洲に入



る要衝にあるが、たゞ遺憾なのは港の良好でない事である。併し將來會寧から更に滿洲内陸と相つなぐ鐵道の開通を見る様になれば、本港は必ず發展する事であらう。(五)羅南 清津を距る西方三里にあつて其地勢は四圍に山を繞らし、恰も播鉢の底の様な土地である。此地に第二十師團の設置せられる様になつて俄かに發展し、新進の一市街となつた。

### 教授上の注意

地理的用語。内外貨物。集散。雜貨。大市。總督府。官衙。要港。△交通頻繁。下流に臨み。城壁をめぐらし。京城の門戸。潮の干満。港の設備。船舶の碇泊。

挿繪の解説 (一)大邱の市場 毎月五日の日三の日等時日を定めて附近の農民及び製作品販賣の商人等が街路に露店を出す、これを中市といひ、朝夕二回の小市と區別して居る。又春秋二回には大市が開催せられるが、其期日には慶尙全羅江原等の各道から來集して其雜閭混雜は實に名狀する事が出來ぬ程である。集散貨物は米・大豆・綿布・魚類・牛皮・生牛等であつて、毎月の取引高七八萬圓を下らぬ。最も盛んな市場は西門市場であるが別に其補助市の形で東門市場がある。

この方も毎月の取引高一萬圓を下らぬ。本圖は市場の盛況を寫したもので西門市場の一部を示したものの、圖中の建物には朝鮮式の藁屋根が多い。遠景の山は八公山である。(二)京城の市街 この繪は京城の東南にある總督府所在地附近の臺地から北面して市街を瞰下したものである。京城は四周に山を繞らし、僅かに西南の一隅が開けて此處を例の漢江が流れて居る。市街の右手向ふの遠景の山は北漢山であつて、其手前少し左に市街の向ふからすぐ起つて居る山は三角山、又挿繪左手の山は仁王山である。挿繪の中央少し左に最も大なる西洋建の建築があるのは朝鮮銀行で、其手前に相對立して居るのは郵便局である。内地人商店の多くは是れから右方に軒を並べて一條の大通りをなし、人車の往來が絶ゆる事なく商業殷盛を極めて居る。朝鮮銀行の後方森を隔て、京城日報社があり、其右方にあるは朝鮮鐵道ホテルである。日報社から右斜に眺め北岳山麓にある堂宇は景福宮である。

自働作業の指導 (一)朝鮮の都會分布圖を描かしむ。(二)朝鮮の主要都邑を最も經濟的に一巡せんとせば如何なる道順を執るべきか其豫定概案を作製せしむ。(三)各主要都市の發達原因と其主要特徴を明かにせる表記をなさしむ。



教辨物の指示 朝鮮地方圖。釜山・大邱・木浦・京城・仁川・平壤・鎮南浦・元山・清津等の繪葉書又は寫眞。

### 參考資料

京城の名所 關釜聯絡船が釜山大棧橋の一方に着くと、他の一方には奉天行の壯大な急行列車が、黒煙を吐いて待つて居るから、これに乗れば十時間ばかりで朝鮮の首都京城に着く事が出来る。

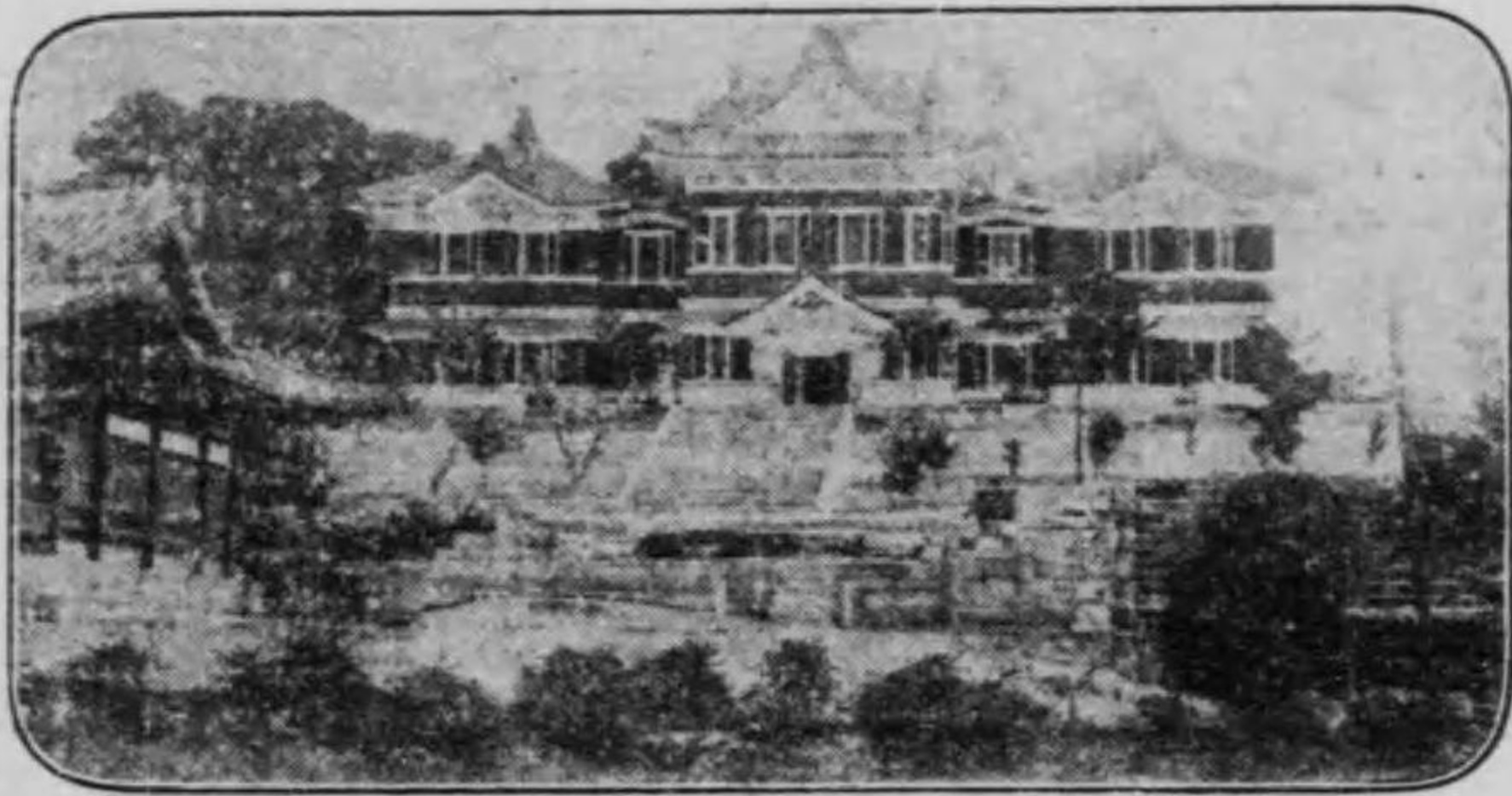
京城の玄關口は、南大門停車場で、停車場の前から續く南大門通は、京城の銀座通とも云ふべき、最も繁華な所である。一たい朝鮮の市街は、町幅が狭く、家が小さくて、町並も至つて不規則なのが有名であるが、此處は市區改正の結果、町幅も頗る廣く、内地にも珍らしい様な大商店銀行會社の大きな建物が、軒を並べてつゞいてゐる。街路には妙な形をした電車が通り、洋服和服思ひひくの男女が忙がしげに往き交ふ中を、顔が長い、氣が長い、煙管が長い。』と云はれてゐる朝鮮人が、長い煙管をくはへながら、ノソリノソリと歩いてゐるのが、如何にも朝鮮の町らしい感じを與へる。南大門を北に行き詰めた所が鐘路である。京城の市街は鐘路を略中心として四方に擴がり、東西凡三十町、南北凡二十町、人口は約二十五萬餘である。京城市街の北は、北漢山の諸峰が亂れ立ち、南に南山が、恰も蠶兒の頭を擡げた様な形をして

聳え、漢江の長流が其南を西へ向つて流れてゐる。誠に要害堅固の地で、近くは李朝、明治四十三年日韓併合まで朝鮮を治めてゐた李王家の治世、五百餘年の都の地であつたが、我が國に併合後は、南山の麓、倭城臺に總督府が置かれて、全道を治め、京釜、京義、京元、京仁の諸鐵道は悉くこの地に集り、所謂政治交通の中心地として、日々に繁榮に赴いて來たのである。

京城には、昌德宮、景福宮、昌慶宮、慶熙宮等の宮殿が多く、何れも龍宮の繪にある様な形をして、赤や青で彩つた樓門や御殿があつて、朝鮮特有の趣をそなへてゐる。李王殿下の在す昌德宮は、市街の北方にあつて、建築の美と、祕園の風景と、よく調和した朝鮮の代表的の宮殿である。善美を盡した古風の建物が、綠深い樹木の間には、ほの見えて、あたりは眞に靜かである。清い池、麗しい丘、玉のやうな泉を處々にあしらひ、面白い枝ぶりの樹の間を、群鳥が飛び交ひ、老松の上に、鷺や鶴が來つて、集くふ、祕園の此處、彼處に、朝鮮服に冠をつけた官人が立つて居る有様は、昔の人の云つた仙郷の趣がある。

祕園の東南部は、東苑と言つて、そこには博物館、動物園、植物園がある。京城の人は言ふまでもなく、一度京城の土を踏んだものは、必ず博物館で古來の土器、金屬、玉石、繪畫、其他の美術工藝品や參考品を觀覽し、動物園で朝鮮特有の鳥獸を始め、各國の珍らしい動物を觀、東洋一と云はるゝ温室を有する植物園で、咲き匂ふ花卉を賞觀するのが例である。殊に京城の子供等のためには、この動物園が最も楽しい場所の一つである。





昌慶宮御苑博物本館

ばならぬものであらう。

平壤の遺跡

京義線によつて、京城から北に六時間あまりを走ると、平壤に着く。平壤市

倭城臺は、南山の正面にあつて、今の總督府のある處(秀吉第一回の朝鮮征伐)に増田長盛滯陣の跡である。こゝに登ると、京城の市街は目の下に展げ、遙かに北漢山の峰々を望んで眺めがよい。緑深い林の中に設けられた路を散步する大人も子供も、何れものんびりとした氣持で、日の暮るゝを忘れる所である。南山の頂には、烽火臺の跡がある。この烽火臺は、昔の交通機關で、今の電報のかはりをしたものであつて、以前は朝鮮全道の要所々々の山上には、必ず之れが設けられてあつた。それで何か事變でもあると、それからそれへと烽火を擧げて通信し、最後に南山の烽火臺に達すると、鐘路の大鐘で、一般人に知らせたものである。

京城につゞく龍山は、鐵道と師團とのために、新たに興つた町で、其處にある總督官邸は、京城に於ける壯大な建物の一つである。又漢江の冬の氷滑りも、京城名物の一つに數へなければならぬ。

街の東南は、大同江が洋々として流れ、南は平野が遠く霞の向ふまでも續き、牡丹乙密の二臺が、東北を擁して、町の半分過は、山腹に據つて居る。遠方から眺めた平壤は、其美しい事朝鮮



朝鮮平壤大同門

第一の景といつてよい。翠綠の高臺を背にして、一方には高い樓閣が聳え、大同の水は其影を浮べながら、柳の煙る遙かの彼方に流れて行く。其間に大小の帆影が往來して居る狀は、恰も一幅の繪卷物を繰りひろげたやうである。従つて平壤の名所は、多く大同江の畔にあるといつてよい。

抑々この美しい土地は、昔高麗の都したところであつて、古來この天地を舞臺として、幾度か戦争が行はれた。かの文祿の役には、小西行長が此地で敵の使に愾られ、全軍を京城に引揚ねばならぬ事になつた。日清の役には、大に敵の大軍を打破つて、終に半島から敵兵を驅逐してしまつた。附近は一たいに土地が肥えて居るから、従つて農産物にも富み、それ等の集散が多い。また鐵道道路ともによく開け、四通八達の要地と云はねばならぬ。古い歴史を有するこの地は、今や人口五



萬を有する京城以北第一の都會となつた。

平壤驛を三十町ばかり離れた大同江の畔に大同門がある。樓閣高く街頭に建ち、其下を緩かな江が流れてゐるのを望めば、恰も平壤市街全景の中心たるの觀がある。樓上の眺めは亦格別で、南方一帶の平野が一目に集り、附近の古戰場は、向ふ岸の此處彼處に見える。大同門と並んで、崖の上に建つて居る練光亭は、浮碧樓、牡丹臺を斜に望むことが出来る。此亭は、小西行長が明使と會見した所だといふ。又歴代支那の使を迎へ、或は地方の大官を集めて、宴會を開いた場所であるが、江に望んだ高樓の上で、多くの官人が歌ひ舞ひながら、遊樂に耽つた當時の有様が、目に見える様な氣がする。



朝鮮平壤牡丹臺

其後二十餘年を経た今日に於ても、當時に植ゑた柳は影深く、其處を弔ふ人も少くない。かの有名な牡丹臺は、市街の東北にあつて、町の内外を瞰下す處にある。日清の役に、頑強に抵

抗した敵の砲臺の跡は、今に残つて居る。西方の高地は乙密臺で、兩臺の間の馬の鞍の様な處が有名な玄武門である。この玄武門の城壁は、今は半ば壊れて、貝石の小さな門が遺つて居る。こゝは日清の役に、我が朝鮮支隊が牡丹臺の敵を撃つて、之を沈黙せしめ、進んで此門に到つたとき、門の扉が堅く鎖されて入る事が出来ない。しかるに乙密臺の敵は、頻りに頭の上から射撃して来るので、我が軍は非常な苦戦に陥つた時、一等卒の原田重吉が、身を躍らして壁内に入り、扉を開いたので、此時の戦争に、我が軍が勝つ事が出来た。それで原田重吉の玄武門破りといへば、當時名高い手柄ばなしであつた。今日の戦術から見れば、實に馬鹿らしいやうであるが、當時としては、大手柄に相違ない。浮壁樓と樓前の永明寺は、建物の古く趣あること、塔其他の彫刻のよく出来て居る事に於て、平壤第一の名所とよばれ、古來幾多の詩や畫に上つて居る。

## 第六 關東州

### 教授の主眼

關東州租借の由來を明かにし、特に日露戦役に際し同胞の慘憺たる苦衷に依つて獲得せるものなるを語りて、今後この地に對する責務の大なるを自覺せしめ、



又産業及び都邑の現状を知らすと共に滿洲經營の策源地として將來この地を開拓するの必要あるを會得せしむべきである。

### 敷衍及附説事項

**關東州の面積と人口** 關東州は北は南滿洲に接続し東は黃海、南は直隸海峽を隔て、支那の山東省に相對して居る。其位置恰も渤海灣の口を扼すやうな有様になつて居て實に樞要の位置である。其面積は總體で二百八十八方里餘あるから内地で云へば奈良鳥取縣よりも小に、佐賀神奈川縣よりも大なる面積である。二百八十八方里といふのは關東州本州の外に長山列島や五島の島々を合せといふのであつて、屬島の數は總體で四十からある。人口は大正五年末の統計しよると五十五萬五千五百人で之を總面積に割當て見ると一方里の人口密度約二千九百人になる。さうして見ると我が内地の人口密度は一方里について二千百三十四人の割合になるから關東州は我が内地よりも人口密度は大なる譯である。但しこれは日本人も支那人も合算しての計算であつて日本人が固よりこれ程住んで居るのではない。日本人の最も多く住居して居るのは云ふ迄もなく大連であつて、此處には大約四萬二千人から居る。次いで旅順の九

千五百人、金州の六百人、普蘭店の五百人餘、貔子窩の四百三十人餘等であつて、關東州だけに内地人は約五萬三千人程居る。序でだから關東州以外の南滿洲に



大連日本橋

はどれ程日本人が居住して居るかといふと、大正五年末の調査によるとこれも殆んど關東州内の内地人と同數で約五萬三千程居る。總體で南滿洲の日本人は十萬六千八百餘といふ事になつて居るが、最近の數は多少の異同ある事であらう。

**關東州租借の由來** 日清戰爭に際し我が軍が苦戦力闘して占領した遼東半島の地を露佛獨の三國が干涉して之を清國の手に還さしめた事は人のよく知る所であるが、之と間もなき一千八百九十八年三月廿七日の露清兩國間に締結せられた「ハバロフ」條約によると露國は旅順、大連灣の二箇所及び其附近一帶の海面の租借を二十五箇年



事になつて居る。曩に我をして遼東半島の地を清國に返還さしめた眞意は、清國に對する好意、東洋平和の保障の爲ではなくて、自國の野心を満足せしめんとする恐ろしい策略に外ならなかつたのである。所が明治三十七八年に於ける露國と我との戦争の結果、三十八年九月五日の日露講和條約第五條及び同年十二月二十二日の日清滿洲善後協約第一條に依りて遼東租借地に關する一切の權利は我が日本帝國の手に移り以て今日に至れるものであつて、其行政は關東都督が管掌して居る。而して前に露國が清國と結べる條約では租借年限は大正十二年までであつたが、更に大正四年五月二十五日に調印せられた日支協約によつて租借期限を九十九年に延長し、一千九百九十七年を以て滿期と定めた。併し租借本來の性質は別に租税を提出して借地せるものでなく、租借は殆んど準領土と見てよいのであるから、その期に至れば更に其期を九十九年間延長するまでのものである。

**關東州の産業** (一) 漁業 大正五年末の統計によると日本人であつて漁業従事者は二百七十餘人であるのに對し、支那人は一萬五千八百七十餘人を算して居るからこの地の漁業は大部分支那人の經營従業によつて居るといふ事が分

る。其漁獲高は大正五年末の調査では九十三萬圓を超えて居るが、其中十萬圓以上の漁獲あるものは鯛、鱈、大刀魚、鯨等であつて、さばら、ひらめ、かき、なまこ、えいごち等も之れに次ぎ、又我が國のぐちによく似て居る黄花魚と稱する魚が遼河口や熊岳城沖の方でよく捕れる。(二) 製鹽 この地の製鹽は臺灣の西部海岸に行はれる者と同じく天日製鹽法であつて、我が内地で行ふ様に釜に入れて海水を煮沸し其結晶を得るのとは全く違つて終始天日によつて海水を蒸發せしめ其結晶を得る方法である(挿繪の解説參照)。而して大正五年に於ける關東州の製鹽製造高は二十九萬五千五百九十八石であつて價格八十萬六千四百四十五圓に相當して居る。(三) 工業 大正五年末現在によれば關東州には二百四の工場があつて其製造品價格は四千三百四十四萬圓に及んで居る。其内最も大なる工業は滿洲産の大豆を原料として之れより食料品としての豆油、肥料品としての豆粕製造工業であつて、大連にはこの工場が多い。近時關東州の内外に於て資本を投じ工業を營む内地人が次第に多くなつたから、この地の工業は將來益々有望である。(四) 農業 土地が一般に丘陵である上に地積もあまり廣くないからこの地の農業はあまり振はない。農産物としては玉蜀黍、高粱及び各種の豆類



等がある位である。

關東州の都邑(一)旅順

其位置關東半島の南に位し直隸海峽を扼する要害の地



旅順巖島町海岸より關東廳を望む

を占めて居る。關東州の内外を統管する關東廳はこの地にありて、關東廳民政

部陸軍部等の大建築物工科學堂其他文武官々舍等の多くは皆露國時代の建築物を改修せるものであつて其規模甚だ宏壯である。工業の旅順は別に何等見



るべきものはない。この地もと露國の租借に歸せし當時は清國人及び歐米人の廣集するもの多く忽ちにして人口稠密の大市街を爲して居たが、我が國が之れを繼承する様になつてからは、外國人は殆んど撤退し支那人の勞働者も去つて今は往時の二分の一にも足らぬ人口になつた。旅順市街は大正四年十月から市制を布く事になつたが、商工業に於ては到底大連に儔す事は出来ぬ。して見ると此地は將來軍事上の要港として生命がある譯である。否この地は日露戰爭に際し

我が軍の奮戰惡闘せし古戰場として、屍山血河の苦戰地として、永久に記念すべき處であつて、白玉山上に屹立せる表忠塔は壯絶義烈の芳名を不朽に傳へる好



箇の記念物である。(二)大連 大連市は東西二里南北二十七町を有する大市であつて、其の灣内は水深く南は南山の丘陵を負うて外海の風濤を避け波靜かに大船巨舶も直に岸壁に繋留する事が出来る。最近の戸數二萬四千餘人口は實に十萬二千に餘つて居る。露國經營時代に僅々一萬八千に過ぎなかつた小都市がかくの如き大膨脹を遂げたのは眞に異數だといふべきである。市街は主にも露治時代の設計を襲用して居る。其設計は圓形の大廣場を市街の中央にし之れより大街道を放線形に支出し、之を經として蜘蛛の巢の如く小街を緯織し、道路には歩道、車道を區別しコンクリート方塊板を敷き詰め、殊に歩道、車道の間には排水側溝を設け、歩道の一部に竝木として白楊、アカシヤ等を植樹し市街の美觀と衛生を圖れる點等市街としての完備稀に見る所である。殊に市街に山縣通、奥町、大山通、寺内通等の名稱あるは戰勝の餘威を示し、山城町、伊勢町、信濃町、紀伊町、淡路町等國名を冠せる市街の多きは國威宣揚の表徴とも云ふことが出来る。殊に大連の誇りとするは其埠頭の規模壯大である事である。この埠頭は東清鐵道會社が無慮一千萬留を投じて造築したものであつて、第二埠頭は露治時代に既に完成し、第一埠頭は露國の築成した半成工事を増築したもので

ある。共に全長一千九百六十尺、幅三百五十八尺、其左右の水深は約二十尺乃至三十尺であつて、裕に一萬噸以上の巨舶も之れに横付けにする事が出来る。然るに入港船舶の數近年次第に増加する所から更に第三埠頭を築港し、今や全く完成して居る。依て現在の大連港は二十七區の繋船區に互り其長さ一萬一千五百五十四尺の埠頭を有し、同時に一千噸以上一萬五千噸以下の船舶三十五隻を收容する事が出来る。埠頭港内は四十三萬坪の面積を有し、五十四棟の倉庫と百三十九區(六萬三千餘坪)の貨物野積場所とあつて同時に五十五萬噸の貨物を堆積保管する事が出来る。大正七年中大連港の輸出入貨物は三百三十九萬七千六百九十九噸であつて、船舶繋留壁一尺に對して平均三百四十八噸を算し、世界の良港を以て自任する倫敦、紐育の平均三百五十噸内外なるに比べて當港の殆んど相近きは誇りとする所である。大連に集散する大豆は大約百五十萬噸で、之を大連に於ける油房(豆油製造所)五十七ヶ所で大多數を豆油、豆粕とし、殘餘を大豆の儘輸出する。豆油は悉く米國に輸出され、豆粕は大部分我が國に輸送される。此地がかく著しき發展を遂げるのは、南滿洲鐵道の起點に位置し、南滿洲の樞要な門戸に當つて居る爲であつて、豊富な滿洲の貨物は多く本港から



輸出されるのである。

### 取扱上の注意

地理的用語 租借。關東廳。域内。丘陵。豆粕。豆油。海軍の要港。△南部を占め。丘陵起伏し。滿洲の門戸に當り。港灣の設備よく整ひ。内外の航路の要港

#### 挿繪の解説

(一)大連港に於ける大豆豆粕の積出し 圖は大連港甲埠頭の一部分

第八及び第九繫船區に於ける船舶繫留と豆粕船積の光景を表はせるものである。大連埠頭は前にも述べたやうに長さ五町餘も海上に突出して居て、その上には鐵道も通じて貨物の輸送に便し、大運輸部の貨物や貨物倉庫もあつて荷物の運搬保管に都合よく出来て居る。埠頭の岸壁は水深が二十尺から三十尺もある。大船巨舶も容易に之れに横づきになることが出来る。埠頭に山積してあるは大豆豆粕である。圓板様のものが積み重ねてあるのは豆粕で、麻製の袋に入れてあるのは大豆である。雨露を凌ぐため布の被せてあるのは何れも大豆袋である。これ等の荷物は圖に見るやうに横づきになつて居る汽船へ板子を渡して橋をつくり、仲仕が擔ぎ込むことも出来るし、また大荷物になると起重

機によつて轉載する仕掛になつて居る。繪に表れて居る労働者は支那山東及び直隸省などから出稼ぎに来て居る所謂苦力である。苦力は普通一團として苦力收容所に收容されて居る。この繪によつて隙間なく碇泊せる巨船や山の如く積み重ねてある大豆豆粕の多いのを見たゞけで大連の殷賑は大體想像される。大連からの輸出品は支那香港印度南洋等にも行くが豆油は殆んど米國に輸出され、豆粕は大多數我が國に輸出される。(二)關東州の鹽田 關東州の鹽田は内地の鹽田とは違ひ、臺灣西海岸の製鹽と同じく天日製鹽法である。獨逸には地下に厚い鹽の層が包藏されて居る所があり、支那四川省には鹽泉が湧出し、之れに伴ふ瓦斯を燃料として煮詰めて多量の鹽を得て居るが、我が國にはかゝる例はない。併し臺灣西海岸と關東州とに天日蒸發によつて海水から鹽をとる事が出来るのは眞に天與の惠澤といふべきである。圖中多くの人の見えるのは二三名の日本人が多く、支那人を使役し作業して居る所である。遠く三角形のもの四箇ばかり見えるのは鹽を堆積したものである。近時の鹽産額は約二億斤に上り、州内に於ける重要産物の一である。主産地は普蘭店及び貔子窩であつて、製鹽に従事せるものには滿韓鹽業大日本鹽業公司等がある。



自働作業の指導 (一) 關東州地方の略圖を描かしむ。(二) 大連旅順の發達原因を記述せしむ。(三) 滿洲經營の策源地として大連の將來を考究せしむ。(四) 内地より大連に至る行程及び其所要時間を概算せしむ。

教辨物の指示。南滿洲地圖。關東州擴大圖。大連旅順の擴大圖。大連市街旅順の古戰跡等の名勝寫眞及び繪葉書。

參考資料

大連と各港との海上距離

門司	614
神戶	852
大阪	859
濱館	1,194
函館	1,225
南浦	185
仁川	285
木浦	568
釜山	540
基隆	860
順天	30
芝罘	87
天津	249
青島	235
上海	530
香港	1,269
新嘉坡	2,615
桑港	5,494
浦鹽	1,050

大連他港間の定期航路

大阪—大連線	門司神戶大阪	但し二週に一回宇品寄港	每週二回
長崎—大連線		每月二回長崎出帆朝鮮各港經由大連着發	大阪商船株式會社
打狗—大連線	打狗安平基隆福州上海青島天津大連		每月四回

橫濱—北清線

往航 橫濱名古屋四日市神戶門司仁川大連太沽牛莊  
 復航 牛莊大連門司神戶橫濱

五週二回

日本郵船株式會社

大連—上海線

火金曜日大連及上海發 每週二回

南滿洲鐵道株式會社

大連—安東線

大連—天津線

每月四回

大連—龍口線

大連—貔子窩線

每月八回

大連汽船株式會社

大連—柳樹屯線

每月三回

大連—青島線

大連—芝罘青島線

每月五回或は四回

阿波共同汽船株式會社

大連—芝罘仁川線

關東州重要輸出入品 (大正五年)

種類	輸 出	價 格	種類	輸 入	價 格
大豆		六、七、二、四 <small>千兩</small>	米		一、四、三、九 <small>千兩</small>



小豆	一〇九五
黍	一七三九
製鹽	一〇五九
生絲絹絲	一五七五
鐵及鋼	一二七二
豆油	九二五八
石炭	二〇九五
豆粕	二一〇九二

砂糖	一三一〇
綿絲	一三六八
麻袋	二〇三六
建築材	二八八四
藥品	二一四
煙草	二八三七
鐵及鋼	二六七九
皮革	一三六〇
油脂	三四〇八
石油	一四七九

### 關東廳官制 (天正八年四月改正)

- 第一條 關東州に關東廳を置く。
- 第二條 關東廳に關東長官を置く、關東長官は關東州を管轄し南滿洲に於ける鐵道線路の警務上の取締の事を掌る。關東長官は南滿洲鐵道株式會社の業務を監督す。
- 第三條 關東長官は親任とす。陸軍武官關東長官に任ぜられたる時は之に關東軍司令官を兼ねしむることを得。
- 第四條 關東長官は内閣總理大臣の監督を受け諸般の政務を統理す。但し渉外事項に關しては外務大臣の監督を受く。

以下第三十九條に及ぶ(省略)

## 第七 大日本帝國總説

### 教授の主眼

我が國の地勢産業交通につき既授の知識を要約精練し、以て我が國勢の大體を理會せしめ、且つ教授に際し世界の重なる國との大勢比較をなして、我が國の世界に於ける位置を明かにするのが本課の目的である。

### 敷衍及附説事項

我が國の山系 我が國は地形狹長である上に、脊梁山脈が連互し支脈がこれから四方に派して居るから地貌は頗る複雑であつて、幾多の小區劃に分れて居る。従つて大なる平野の存在する事なく、大河も涵養される餘地がない。殊に本州の中央部は地勢最も高峻であつて一萬尺以上の諸山を控へ我が最高の連嶺をなして居る。今我が國に於ける重なる山脈を舉げて見ると、樺太には(一)樺太山系が南北に連互して居る。本山系は低山性の山脈であつて、中央低地帯を挟んで東部山脈と西部山脈とに分れて居る。(二)蝦夷山脈 北海道を南北に互



るもので樺太山系と其系統を同じくせるものである。(三)奥羽山脈 奥羽の脊



嶽ヶ嶺の絶頂

ある。(七)關東山脈 富士火山脈の東、甲斐・信濃・武藏の間を西北から東南にかけて蜿蜒せる山脈である。(八)赤石山脈 西は紀伊山脈と相對し、渥美半島に起り

梁をなす山脈であつて、一に中央分水山脈の名がある。この山脈によつて奥羽地方は東陸中陸前と西羽後羽前とに分れるのである。(四)北上山脈 中央分水山脈とは北上川の流域を隔て、其東に蜿蜒せる高峻雄大の山脈であつて、南は石巻灣に終つて居る。(五)阿武隈山脈 中央山脈の東にあたり一連の脈をなして常陸の西部に終るものであつてあまり高峻ではない。(六)出羽越後山脈 中央分水山脈の西に連互する諸山塊であつて、最上川以北はこれを出羽丘陵又は出羽山脈といひ以南は之れを越後山脈と云ふ。又越後山脈は上野と越後との境邊を別に三國山脈とも稱すのである。

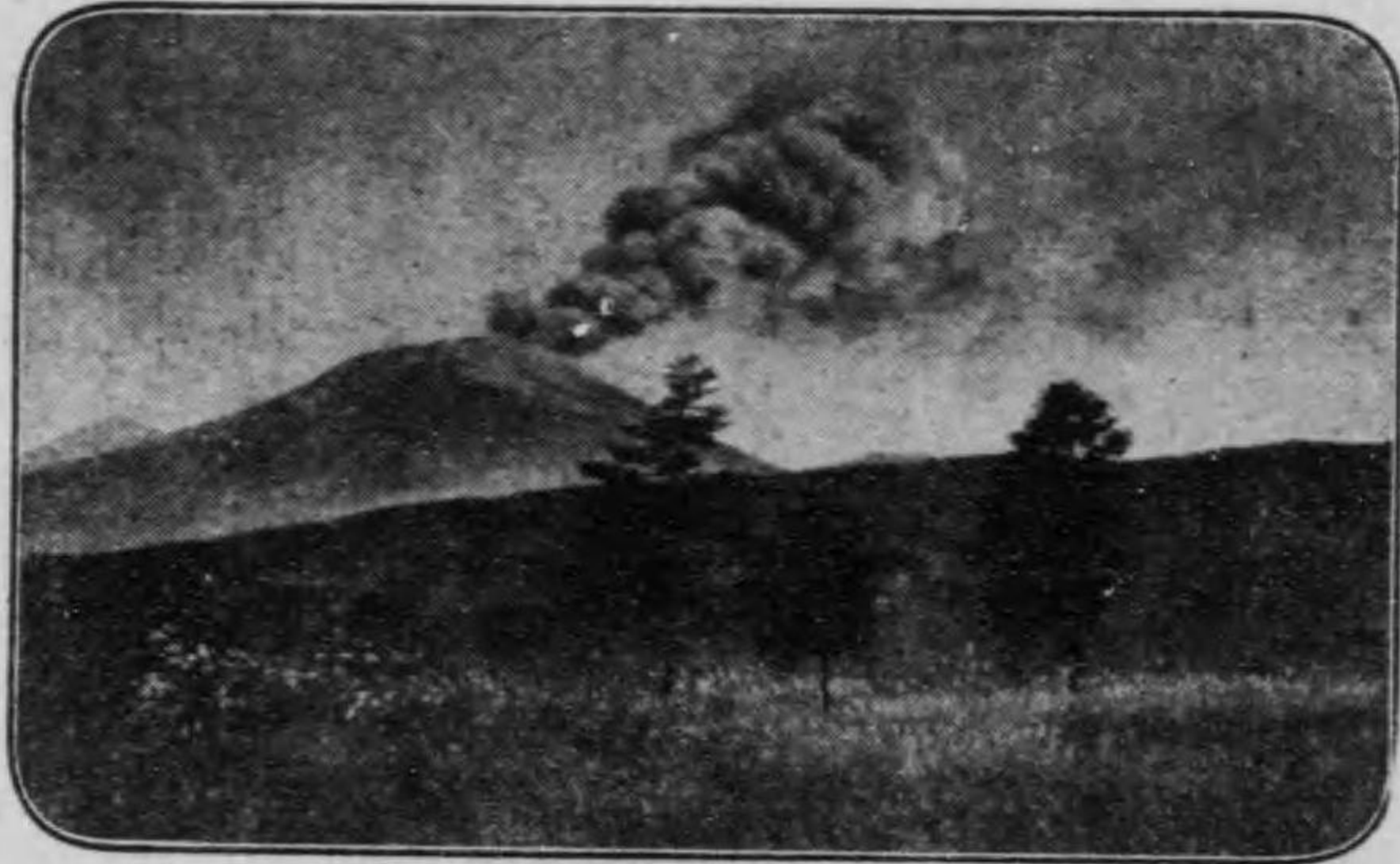
其處より東北に走つて高峻なる連嶺をなす山脈である。(九)木曾山脈 赤石山脈とは天龍川を隔て、西に起伏する山脈であつて脈中の最高峰は駒ヶ嶽である。(十)飛驒山脈 信濃と飛驒との境上に崛起し、雄大なる山峰を形成し、近時日本アルプスの稱がある山脈であつて、脈中には御岳・乗鞍岳・槍ヶ岳等の高峰がある。飛驒山脈の西方一帯は地勢高峻の臺地であるから、これを飛驒高地と呼ばれて居る。(十一)伊吹山脈 濃尾平野の西部に起れる山脈であつて、飛驒高原の西部に連つて居る。伊吹山脈は南に展びて鈴鹿山脈に續き、以て紀伊山脈に及び、西方は琵琶湖を隔て、丹波高地と相對して居る。(十二)紀伊山脈 紀伊半島を東西に連互し、一に大和アルプスの稱ある山脈であつて、脈中には山上岳・大臺原山等の高山がある。(十三)中國山脈 中國地方の脊梁をなして東西に連互する山脈であつて、山峰蜿蜒遠く連ると雖も概ね高原性であつて高峻の山は少い。この山脈によつて本地方は山陰・山陽の兩地方に分たれる。(十四)四國山脈 四國島の中軸をなす山脈であつて、本島を東西に走り、本島の西端佐田岬から東に向つて石槌・瓶ヶ森の高峰をなし、伊豫土佐の國境を連る高峻の連峰となつて、阿波に出で吉野川の横谷をつくり、次第に丘陵と化して、後徳島市の西方に至つて盡き



る山脈である。(五)九州北部山脈 九州北部の骨格をなせるものであつて、又一に筑紫山脈の名がある。(六)九州南部山脈 九州南部の骨格をなせるもので脈中には高峻の山が少くない。この山脈は薩摩の西海なる甌島に起り、薩摩の北部から東北に走り、遠く豊後水道に没する山脈である。(七)臺灣山脈 この山脈は臺灣島の中央を稍東に偏して南北に連互するものであつて、本島の分水嶺をなし、脈中には本邦第一の高峰新高山をはじめ幾多の高峰を有して居る。(八)長白山脈 朝鮮の北境には長白山脈がある。この山脈の南麓には鴨綠江、豆満江の二川流れ、以て朝鮮と支那との國境を劃つて居る。(九)大白山脈 朝鮮半島の東部を南部に連互する山脈であつて、脈中には金剛山の奇峯がある。(十)小白山脈 朝鮮の南部に於て數條に岐れ、終に朝鮮南岸の岬灣島嶼を形成して居るものであつて、脈中にはあまり高峻の山はない。

我が國主要の火山脈 (一)千島火山脈 露領のカムチャツカ半島に起つて西南に走り、千島列島を形成して終に北海道本島に入り、蝦夷山脈と丁字形に出會ふ火山脈である。(二)膽振火山脈 北海道の西部に噴起せる山脈であつて、南は本州島の那須火山脈に接続して居る。故に之れを全く那須火山帶の中に入れる

場合もある。(三)那須火山脈 下北半島の恐山に起り、八甲田、岩手、藏王等の高峰を起し、南に走つて吾妻、磐梯等となり、主峰那須山に終るものである。この火山脈は本邦火山脈中最も噴出の激烈なるものとして知られて居る。(四)鳥海火山脈 鳥海山を主峰とし、出羽、越後、兩山脈中を南北に走る火山脈である。(五)富士火山脈 この火山脈は南太平洋の海中に散點せるマリヤナ群島から、小笠原諸島、豆南



山間淺るた見りよ澤井輕

諸島、伊豆半島を噴起し、尙北して箱根火山彙より富士山となり、本州を中斷して北に及ぶ大火山脈であつて、脈中には著名の火山が尠くない。(六)白山火山脈 北陸の名山である白山を盟主とし、中國山脈の北方を互る火山脈であつて、脈中には中國第一の高峰大山がある。(七)阿蘇火山脈 肥前の多良岳に發し、島原半島の温泉岳に續き、本脈の盟主であつて、世界著名の火山である阿蘇山に及び、更に東北に鶴見岳、由布市嶽を



起し、豊後の國東半島から更に四國に入る大火山脈である。(八)霧島火山脈。九州南部山脈の更に南方にある火山脈で脈中には盟主霧島山の外に櫻島火山、開聞岳等がある。

これ等火山地方には必ず温泉場があるから、四圍の明媚な風光と共に保養地として好適である。名高い遊覽保養地が多くは火山脈の通れる火山地方にあるといふ事は決して偶然の事では無い。

我が國の河川 我が國は地形狭長の上に山脈が連互して分水嶺をなして居るから従つて長大な河川を養ふ事が出来ず、又多くの河川は概ね急流であつて交通運輸に便するものは極めて少い。我が國著名の大河鴨綠江、信濃川、石狩川の如きも之れを他の國に於ける河川に比べて見ると、殆んど其長さは比較にならぬ程の短小さである。しかしながら之等の河川も氣候濕潤であつて降雨も饒多であるから水量従つて多く流域の沃野に與ふる灌溉の利便は決して鮮少でない。尙ほ且つ水流の急湍は發電事業等の上には多大の便益を與へて居るから、我が國では河川を利用してこの種の事業次第に隆盛に向ひつゝある。

我が國の平野 我が國は所謂山岳國であつて平野の見るべきものに乏しい。

國內一般に高原性であつて低地は僅かに全土の七分の一を占むるばかりである。而して平野は山岳の間に挟まれて居る小平野であつて一望際涯なき平野は之れを我國に於て見る事が出来ぬ。この小平野こそ古來瑞穂の國と稱せられ豊葦原と呼ぶに至つた農業地であつて面積は狭小でも開墾成り灌溉整つて米穀の産出頗る多い。今我が國に於ける平野の分布を見るに、北海道に於ては石狩、天鹽平野を最大とし、尙この外に十勝、釧路根室平野等がある。本州にては奥羽地方に北上平野、仙臺平野、阿武隈平野が東部にあり、北に青森、津輕の平野西部には秋田、最上、會津等の平野がある。關東地方には我が國第一の大平野である關東平野がある。中部地方の長野縣には善光寺平、松本平、諏訪平、伊那平、佐久平等の小平野が分立して居るが、其他の地方でも河岸及海岸地方に發達せる小平野の分立を見る。木曾川の下流にあつて濃尾平野を見、信濃、阿賀の二大河灌域に越後の平野がある。近畿地方には滋賀、京都、奈良の盆地を有し、又三重平野、大阪平野等もあり、何れも人烟稠密の地區をなして居る。中國地方には播磨平野、岡山平野を最大とし、其他に王島平野、福山平野、廣島平野、山口平野、出雲平野、米子平野、倉吉平野、鳥取平野等がある。四國、島は一般に山がちであつて平野に



も面積の大なるものはない。たゞ徳島平野高知平野讃岐平野及び松山附近の平野などを其中の重なるものとする。九州島には北に筑紫平野熊本平野があり、人吉の盆地宮崎平野は南方に位し、東に大分平野がある。臺灣島は西部一帯が平野であつて、之れを臺中平野と稱し、北部には臺北の平野がある。樺太には北部に中央低地があるけれども沼澤地であつて農耕に適せない。南部地方には取り立て、云ふ程の平野を見ぬ。朝鮮には西北方に平壤の平野があり、中央には京城平野、西南には公州及び全州の平野、東南方には大邱の平野がある。

**我が國の海岸** 海岸線の長きは其國の水運と國防の上に多大の便益を與ふるものであつて、文化の發達も古來海岸線の長短に比例すとさへ云はれて居る。然るに我が國は其面積に比して海岸線の長い事が世界一に位して居る。これ即ち海國としての我が國を卜するものであつて、將に海外に雄飛すべき國民の使命を物語るものである。地方によつて異なるから一概には云へぬが平均して云ふと九州は最も海岸線が面積に比して長い地方であつて、九州島では面積一、四万里に對して海岸線の長さ一里に及んで居る。これにつぐは四國島であつて、この地方では面積一・七に對して一里の海岸線を有して居る。其他北海道は

海岸線一里について面積七、八万里、臺灣は同七、四万里、本州は同九、五万里に及んで居る。屈曲多き海岸には良灣好津多く、特にかゝる地方は人口稠密諸種の産業勃興して殷賑の地區をなして居る。

**我が國の農業** 古來我が國は農をもつて國の本とし世々この道を獎勵したから、穀産に富み農業に従事するものは國民の最多數を占むるに至つた。併しながら現時に於ては國民の數が増加して來たので、限りある耕地は之れに割當てると僅かの面積となる。農産物中主要なるは米であるが、人口の増加に伴ひ米の需要頓に加はり、其産出米は内地の需要に應ずる事すら至難の状態である。幸に朝鮮及臺灣から移入するものも年一年と其額を加へ以て内地の需要を充たす事が出来る様になつたが、最近に於ては外國より我が國に輸入する米穀は其額決して鮮少でない。大正六年に於ける外國米輸入額を見るに、支那よりは十二萬圓を、佛領印度からは二百二十三萬二千餘圓を、香港からは四萬九千圓を、英領印度からは六萬五千圓を、暹羅からは三百九十三萬八千餘圓を輸入して居る。大正六年度に於ける外國米輸入總金額は六百五十一萬三千二百七十三圓に上つて居る。年によつて豊凶はあるが我が國に於ける米收穫高は五千萬石



を越え、大正六年度に於ては五千四百五十五萬九千餘石に達して居る。麥には



臺 灣 の 甘 蔗 畑

大麥・裸麥・小麥の種類があつて就中大麥の産額が多い。大正六年度に於ては大麥九百十六萬餘石、裸麥八百十九萬餘石、小麥六百七十八萬餘石に達して居るが、之れ等は國民の常食となり、又小麥粉となし、或は醬油の原料等に使用せられる。米麥の外大豆・甘藷・甘蔗等は何れも重要な農産物であつて國民の常食となる外、大豆は味噌・醬油の原料となり、甘藷よりは澱粉を、甘蔗よりは砂糖をとるなど工業品の原料として用ひられる額も少くない。この外茶・煙草・果實の産出も多い。農産物中海外に多く輸出せられるものは茶と砂糖とである。輸出茶には緑茶と紅茶と烏龍茶とあるが

其中緑茶は北米・加奈陀を最多とし、其他に英領海峽植民地・關東州・支那等の需要があつて大正六年には其輸出額一千三百七十七萬圓に上つて居る。紅茶は英

國・北米・智利・亞爾然丁に輸出せられ其額は十六萬六千圓にしか満たぬ。烏龍茶は臺灣製の茶であつて北米に多く輸出せられ、又加奈陀・英國・智利等之れにつき其輸出額は六百八十五萬餘圓に達して居る。輸出砂糖は支那を最上の得意先とし、關東州・英領印度・露領亞細亞・佛領印度等これについて居る。大正六年の輸出總額は二千六百十五萬圓であつて、大正四年頃の輸出高の二倍以上の好況に達して居る。臺灣に於ける粗糖製造が益々盛になればなる程精糖輸出の額も年々増加進展する譯である。但し我が國の精糖は其原料品が全部内地及び臺灣移入品のみではなく、英領印度・比律賓・群島・香港・支那等から輸入される粗糖の額は、大正六年度に於ても一千六百六十九萬圓餘に達して居る。農産物としての輸入品は綿絲の原料である棉花を以て最多とする。我が國に輸入する棉花は英領印度の二億餘圓を第一とし、北米の八千四百萬圓、支那の三千萬圓、埃及の一千萬圓之れにつき、其總額は、大正六年に於て三億二千九十五萬餘圓に及んで居る。肥料としての輸入豆・粕は關東州・支那殊に關東州・大連港から輸送するものが多く、其額も五千萬圓を越えて居る。我が國は隣國支那と共に世界に於ける二大養蠶地であつて、生絲絹織物の製品



は我が國主要の輸出品である。生絲は輸出額の八割五分を亞米利加合衆國に送り、其他を埃及・加拿陀に輸出する。大正六年の總領は三億五千五百餘萬圓である。羽二重は北米合衆國・英國・佛國・濠太利加拿陀等に輸出し、其額四千七百五十萬圓に達して居る。羽二重の外に絹製織物の輸出が少くない。養蠶の盛大なのは長野縣を筆頭として愛知・福島・埼玉・群馬・岐阜等の諸縣これにつぐ。

**我が國の林業** 我が國は到る處に山岳・丘陵起伏し、濕潤なる氣候の上に雨量も饒多であるから、樹木の生育よく、従つて鬱葱たる森林が多い。殊に北海道樺太・臺灣・朝鮮等の地方には未だ斧の入らぬ大森林が多くある。内地の森林で木材としての有用材は松・杉・檜であるが、殊に吉野・杉・木曾の檜・丹波の松などの名前は讀本の文章の中にも出て居る様に有名なものである。内地に於ける森林地としては米代川の流域・木曾川の流域・吉野川の流域等殊に名高く、朝鮮では豆滿江・鴨綠江流域・臺灣では阿里山また有名である。山林保管の制は現時整頓し、大小の林区分れて國有林の管轄・保護・植林・伐採等を管掌して居る。

**我が國の牧畜** 我が國の牧畜は外國に比して發達せりといふ事は出来ぬ。寧ろ從來不振の状態にありといふ方が當る。茲に於てか近時馬政局を置き、或は



北海道月寒の牧場

軍馬育成所を設け、又種畜牧場を設置して牛馬の改良を計り、且つ外國の良種を輸入するなど頻りにその發達を計つて居る。家畜の中で最も多いのは馬の百五十七萬頭、牛の百三十四萬頭である。毛織物の原料を得る羊は全國で僅かに三千三百七十頭、大正六年を飼育して居る位の事であるから羊毛は到底内地の需要を充たすべくもあらず、年々外國より輸入して居る。其取引國としては喜望峯植民地・亞弗利加諸國・濠太利・亞爾然丁等の諸國で、其輸入額は約四千萬圓である。

**我が國の水産業** 四面海を以て圍まれて居る我が國は地形又狹長であるから北寒帶の千島樺太から南熱帶の臺灣に及び、魚族の種類に富み、漁場の面積の廣い事が世界にあまり其比を見ぬ。殊に北海道の沿海は世界三大漁場の一に數へられ、大正五年に於ける本邦の水産物の價格は一億二百

無盡の富源を藏して居る。



二十四萬圓に餘り、水産製造物は六千四百萬圓に近く、其合計は實に一億六千六百餘萬圓に上る。併しこの統計は樺太臺灣朝鮮關東州を除いての計算であるからこれ等の地方の産額を加へる時は更に莫大の額になる。水産物中五百萬圓以上の産額あるは鯨・鯛・鱒・鰻・柔魚であつて、これ等については昆布・鱈・鱈・鱈等である。水産物中輸出せられるものは昆布の二百八十餘萬圓、鰻の四十三萬圓、乾鰯の百六十四萬圓、鹽鱈の七十七萬圓、貝柱の八十四萬餘圓、乾鰯の五十五萬餘圓、海參の六十四萬圓等である。鹽は瀬戸内海の沿岸、朝鮮半島及び臺灣の西海岸に多く産し、又沿海及び河湖を利用して魚貝を養殖するの事業も漸次盛況に向つて居る。

**我が國の鑛業** 我が國は地質が錯綜して居る上に山岳の起伏が多いから従つて鑛産物の種類に富んで居る。併し其産額は之れを世界列強に比べて見ると遙かに少い。大正五年の統計に據ると我が國の鑛産物中最も産額の多いのは銅の一億九百八十餘萬圓であつて、次では石炭の八千萬圓、鐵の五千百萬圓、亞鉛の二千七百萬圓、石油の一千四百萬圓である。教科書本文に石炭の産額が鑛産物中の第一位を占めて居ると書いてあるのは大正三四年の統計に據つたから

さうなつて居るのである。輸出せられたる石炭の額は大正七年に於て三千二百萬九千餘圓に及び銅は五千八十一萬圓を輸出し外に銅板・銅線としての製品輸出も少くない。この他の輸出金屬としては亞鉛・安知母尼等である。世界に於ける銅の産出は北米合衆國が第一位であるが、續いては我が國が第二位を占めて居る。石炭の産出は矢張北米合衆國を第一位とし、英國これにつき獨逸露西亞・佛蘭西については我が國とされて居る。併し第一位の北米合衆國と比べて見ると其産額は大約三十分の一にしか當らぬ有様である。金の主要産地は茨城・鹿兒島・秋田・岩手・新潟・朝鮮の地方であるが、但しこれは製鍊所の位置が其縣にあるために産額が多量に上つて居るといふ様な關係もある。茨城の日立鑛山の如き製鍊はなせど寧ろ採鑛は伊豆半島に多く、伊豆半島で採掘した金鑛を日立や小坂に送つてその地で製鍊するといふ様な事實もある。石油の産出は大正五年に於て一千四百五十萬圓に及び、百八十萬圓に近き輸出もある。但し又北米合衆國・蘭領印度から八百五十萬圓の輸入石油がある事を忘れてはならぬ。さうして見ると内地よりの産出は我が國需要の過半を満たすのみである。鐵の産地は朝鮮の載寧、岩手の釜石等有名であるが、併し全國の鐵總産額は到底



内地の需要に應ずる事が出来ぬので、鐵鑛を支那大冶鑛山其他より輸入し、我が國八幡の製鐵所で製鐵して居る。併しこれをもつても尙ほ需給の道が立たぬので、年々我が國は英國・米國・支那その他の國々から莫大な鐵製品を輸入して居る。

**我が國の工業** 我が國民は由來手技に巧妙である所から、世に東洋の美術國の名を博し、工藝美術品を作出して居たが、併し其工業は多く手工業であつて大機械の運轉に依る大工業ではなかつた。所が近來人口の激増に伴ひ到底農業を以てしては國力を涵養する事が出来ぬといふ自覺が國民に起り、又交通機關の發達は諸種の工業原料品を容易に輸入するの利便があり、其製作品は世界の市場に容易に輸出するの便が開けた所から、我が國の工業は漸次家内工業、手工業を離れて、工場工業、機械工業に移らんとしつゝある。殊に又歐洲大戰亂の勃發以來我が國は東洋の市場に於て有利の位置を占むる所から、貿易又順調になつて諸種の工業が勃興し曾て不振の状態にあつた製作工業も振起し、從來我が工業國に於て製作不可能とされて居た物も我が工場に於て容易に製作するに至り、我が工業界は茲に未曾有の大發展を遂げる事になつた。我が國に於て最も

工業の盛大な地區は大阪を中心とせる大阪灣沿岸、東京・横濱附近、北九州の地及び名古屋附近である。之等の地區は大小の煙突相林立し、大工場の數々櫛比し、實に壯觀を極めて居る。製品の種類は頗る多く、之等の地方では殆んど製作し得ぬ物品は無い程で、月に新工場を見、日に新作品を観る有様である。工業の中最も主要なものは紡績業と染織工業である。我が國輸入品中最多額を占める棉花は實に紡績業の原料となるのであつて、其製品たる綿絲・綿織物は東洋諸國に盛んに輸出せられる。綿絲の最上華客は支那であつて輸出額の殆んど八割餘はこの國一國に輸出せられる。これについて綿絲の輸出國は香港・關東州・比律賓諸島・英領印度・露領亞細亞等の國々である。綿織物の種類は極めて多い。今輸出綿織物の主要なものを舉げて見ると、天鷲絨及ブラツシユ類・フランネル類・金巾及シーチング・搦織布・縮類・綿帆布・寒冷紗・色金巾及緋金巾・更紗・絞織布・繡織布・綾金巾及雲齋布等で、主要輸出國は大體綿織絲の輸出國に同じい。生絲の輸出は北米合衆國を第一とし、佛蘭西・露西亞之れに次ぐ。絹絲紡績の盛んなのは神奈川・京都・群馬・岡山・福島・愛知の諸縣である。絹織物は其種類に富み、輸出品としての主なるものにも絞織・羽二重・縞子・縮緬・斜子・紬・太織・平絹・紹透織・海氣等の種



別がある。大正七年に於ける生絲の輸出總額は三億七千三十餘萬圓に及び輸出品中の最多額を占めて居る。

**我が國の貿易** 大正七年に於ける輸出入總額は三十六億三千餘萬圓に上り内輸出十九億六千二百餘萬圓輸入十六億六千八百餘萬圓、差引二億九千四百萬圓の輸出超過になつて居る。之を大正六年度に比べて見ると總額に於て約九億三千餘萬圓の増加となる。

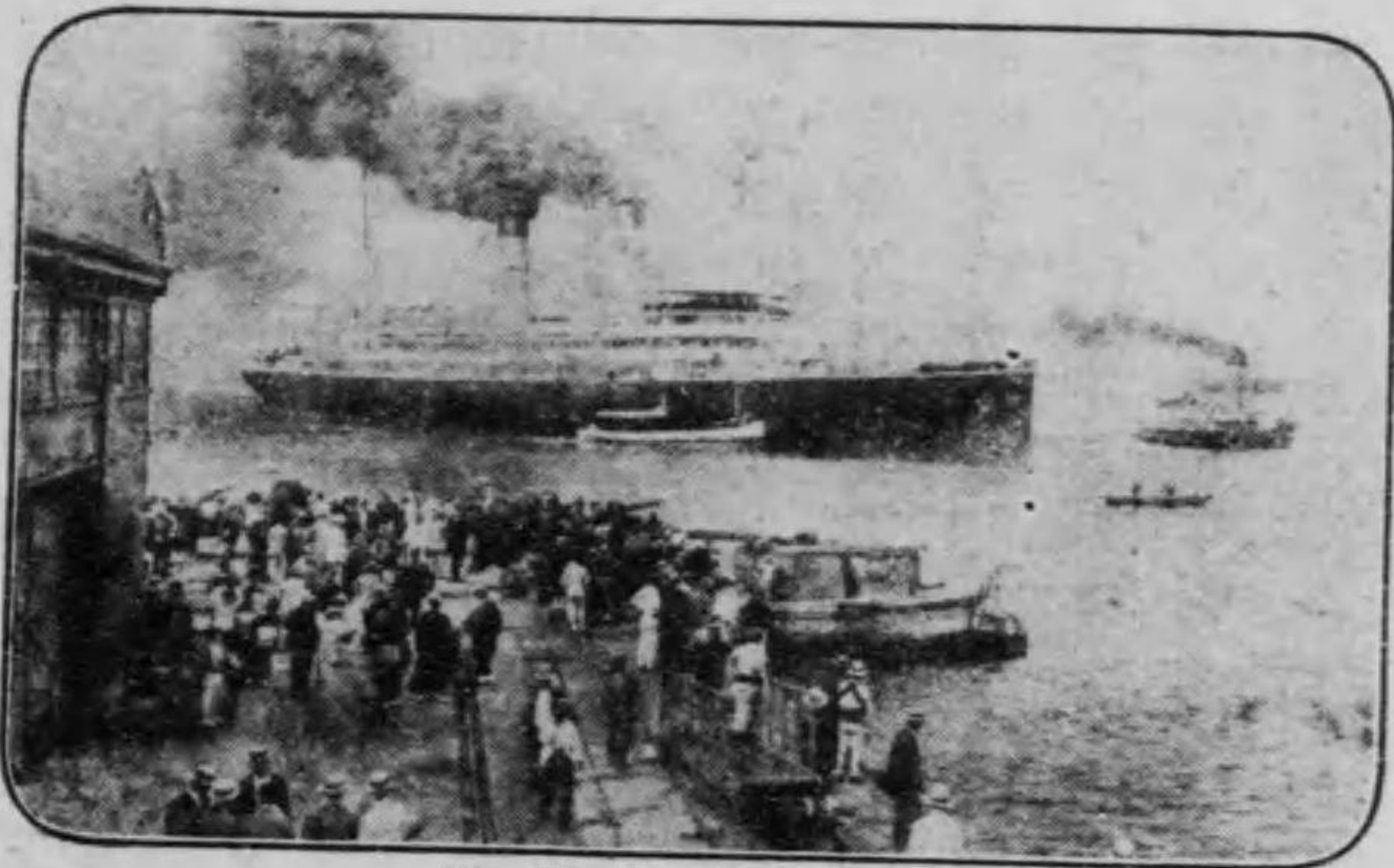
主なる貿易國は北米合衆國、英領印度支那、英吉利、濠太利、關東州等であつて、(參考資料)輸出入額相手國別参照、各國共逐年其貿易額を増加して居る。我が國の外國貿易は明治元年に於て僅かに二千六百萬圓であつたのが、爾後逐年増加し、二十七八年戰役後は約十倍の額に上り、大正六年に至つては正に明治元年に於ける貿易額の百倍に達して居る。而して其間輸出入の差を見るに、元年から十四年までは二回の輸出超過を見る外は常に輸入超過にあり、反之十五年から二十六年までは同じく二回の例外ある外は常に輸出超過である。而して二十七年以降大正二年に至る二十年間は極めて少額の輸出超過が二回あつたのみで、其他は全く輸入超過を終始して居たのである。所が果然歐洲大戰の勃發によつ

て我が貿易は變調を來し、著しき輸出超過を現出し、大正七年に於ては正に三億弱の超過額を見るの盛況を呈した。之れ固より戦争による一時の變調ではあるが、併し又この状態を斷たず我が貿易の順調を保つ事は邦家のため特に切望して止まぬ所である。

我が國の外國貿易は右示す以外に尙ほ朝鮮及臺灣の數がある。大正六年に於ける朝鮮の貿易額は四千九百餘萬圓に達し、臺灣も亦六千三百三十餘萬圓に及んで居る。而して臺灣は本土と同じく輸出超過であるが、朝鮮は之れに反し輸入超過である。大正七年に於ける本邦輸出品の主要なるものは生絲の三億七千三十餘萬圓を最多とし、綿織物の二億三千七百餘萬圓、綿織絲の一億五千八百餘萬圓、汽船の八千十二萬圓、銅の五千八十一萬圓、絹織物の一億一千七百餘萬圓、豆類の五千五百餘萬圓、穀粉及澱粉の四千餘萬圓等であつて、次いで、莫大小製品、石炭、紙類等である。輸入品の主要なるものは繰綿の五億一千五百餘萬圓、鐵の三億餘萬圓、肥料の九千四百餘萬圓、羊毛の六千餘萬圓、鐵製品の五千八百餘萬圓等であつて、續いては砂糖、豆類、鐵道建設材料等である。而して輸入品では砂糖の輸入額が減少しただけで後は皆増加して居る。鐵の輸入額が著しく増加した



のは價格の暴騰に基く所も多大であつて、數量其物が其割合に増加したのでは無い。



横濱税關棧橋

は一面に我が國海運業の隆盛を意味するものと、一つには我が造船業の殷賑を

我が國の交通 大正五年度末に於ける我が國鐵道の總延長は開業七千六百二十一哩餘、未開業千七百四十哩餘であつて、その内開業線中の國有のものが五千八百五十六哩餘を占めて居る。開業鐵道線路の延長を面積にくらべて見ると大正五年末では百方里について三十哩餘にあたる。逐年本邦の鐵道線は完成し次第に交通上の便益を得、山村水濱と雖も汽笛の聲を聞かぬ處はないの有様である。大正五年末に於ける船舶の總數は三萬八千八百二十五隻であつて、其中登簿汽船二千噸以上汽船の謂ひは二千百五十九隻である。近時著しく登簿汽船の數増加しつゝあるが、之れ

語るものである。大正五年末現在の造船所は二百十九箇所であつて、船渠數は五十九箇所である。汽船は沿海を航行して本邦内地の鐵道と相聯絡し、以て水陸交通の利便を全うして居る。外國航路には歐洲航路、米國航路、濠洲航路、孟買航路、カルカッタ航路、南米航路等があつて、世界の諸國と相交通し貿易關係を圓滑ならしめて居る。現に政府の命令航路に従事して居る我が國の汽船會社には日本郵船株式會社、大阪商船株式會社、東洋汽船株式會社、日清汽船株式會社、南洋郵船株式會社、北日本汽船株式會社の六社がある。世界の平和建設さるゝに至つた後に於ても、今日獲得せる我が貿易範圍は何等他國の侵略に遭ふ事なく、益々我が海運業の盛大に依つて世界の隅々までも我が商船の勇姿を見るに至らん事は邦家のため特に期待し切望する所である。

### 教授上の注意

地理的用語 列島。丘陵。高峰。山系。水運。灌溉。發電。港灣。戸口。食用。工業品。流域。暖流。沿海。河湖。魚貝。製煉。主產地。鐵鑛。鐵材。工業。地區。紡績。染織工業。貿易港。取引先。幹線。連絡船。△丘陵起伏。地勢高峻。列島は數箇の弓形を描がく。保養遊覽に適す。海岸屈曲に富



み。戸口稠密。地味肥沃。綿絲の原料。羊毛は之を外國に仰ぐ。魚貝の養殖。需要の過半をみたす。他の工業品を凌げり。長足の進歩。朝鮮を縦走し。

挿繪の解説 (一) 日本・の・山・系・圖 樺太にあるは樺太山系、右は東部山地帯を示し

左は西北山地帯即ち樺太山系の主系を示す。北海道にあるは蝦夷山系、奥羽地方にあるは中央が奥羽山脈、東に並びて北が北上山脈、南が阿武隈山脈で、奥羽山脈の西にあるは出羽山脈から越後山脈をかけて表はせるものである。關東地方にあるは關東山脈、中部地方は圖の向つて下方より赤石山脈、木曾山脈、飛驒山脈である。飛驒山脈の西中國山脈に續く山脈は伊吹山脈に當る。紀伊半島にあるは紀伊山脈、中國にあるは中國山脈、四國は四國山脈で、九州は北が筑紫山脈、南が九州南部山脈である。臺灣では臺灣山脈を示し、朝鮮は北境に長白山脈を描き、其南に並行せる朝鮮北部山脈の走向を示し、南北に半島を縦走するが大白山脈で、大白山脈から西南に分岐して居るのが小白山脈である。火山脈については別に説明せなくても分る事と思ふ。(二) 鴨綠江の開閉橋 此橋は朝鮮の新義州から支那の安東縣に向つて架せる鴨綠江の鐵橋を示せるものである。この鐵橋は總延長三千九十尺餘あつて我が國第一の長橋である。起工は明治四十

二年八月であつて、橋桁工事の完成したのは同四十四年の十月である。この繪は下流から上流に向つて眺めた繪であつて、向つて右は新義州、左は安東縣にあたる。該橋渠は朝鮮側から數へて第九連の渠が開閉式になつて居て船舶の航行に便して居る。上圖は即ち船舶通行に際し橋渠が開いて居る狀を擴大して示したものである。橋渠の幅は左右兩側の間半づゝの人道を合せて六間餘ある。橋は平時滿潮水面上二十五呎、干潮水面上三十八呎あるから普通の船舶は裕に橋渠の下を通過する事が出来る。

自働作業の指導 (一) 本邦の略圖を描き主要山系及水系を記入せしむ。(二) 主要山脈、河川、平野海岸の狀況は何れも茲では教授の整理要約をなせばよいのであるから、兒童をして一々列舉せしめ、又之れを説明せしむ。(三) 主要農産物比較圖に模して他の主要産物比較圖を作製せしむ。(四) 主要産物の彙類表を作製せしむ。(五) 世界略圖上に主要外國航路を記入せしめ、重要貿易品の輸出入關係を圖上に註記せしむ。(六) 本課の記事に基き大日本帝國總括彙類表を作製せしむ。

教辨物の指示 大日本帝國全圖。日本山系圖。主要礦産物分布圖。本邦對諸外國貿易地圖。本邦交通地圖。世界交通地圖。主要山岳、河川一覽表。主要農







南	秘	露	七七一・三六	一三六・三五四	喜望峰及ナタル	六・七七八・二七	一八、八九一・六〇
亞	智	利	二、三七三・四九八	九、七七一・三三	其他諸國	五、四〇六・七	一〇、〇三六・八五八
米	亞	爾	三、四九一・九二七	三、一八五・五三六	其	二七、二八九・二四	三、九四一・五〇一
利	伯	爾	四、六四一・五二八	五、〇〇五	新	四、一七九・八二	一、二二九
加	其	他	四、六二七・〇	一、四二七・五五七	西	六、四四二・七九〇	二、五八七・二五
亞	埃	及	一三、五〇六・七九	一〇、〇七二・一九四	諸	一、〇三三・四九六	六、三三六・六六七

日本の開港場

横濱。神戸。大阪。長崎。新潟。夷。函館。清水。武豊。名古屋。四日市。糸崎。下關。門司。若松。博多。唐津。住之江。口ノ津。三池。三角。嚴原。佐須奈。鹿見。那覇。濱田。境。宮津。敦賀。七尾。伏木。青森。小樽。根室。室蘭。釧路。大泊。釜山。木浦。群山。仁川。京城。鎮南浦。新義州。元山。城津。清津。基隆。淡水。舊港。後壠。梧樓。鹿港。東石港。安平。打狗。東港。媽宮。大連。營口。安東。

(往の江港は輸出に限り根室港は輸入に限り青森港は特定品の輸入をなす。)

主なる貿易港

港名	重要輸出品	重要輸入品	港名	重要輸出品	重要輸入品
横濱	生絲、絹織物、銅、茶	米、棉花、砂糖、毛織物	神戸	綿絲、銅、燐寸、花筵	棉花、米、毛織物、豆粕
絹布	綿絲、絹織物、銅、茶	石油、羊毛、絹織物	陶磁器	綿絲、銅、燐寸、花筵	棉花、米、毛織物、豆粕

大阪	綿絲、綿織物、燐寸、酒、銅	砂糖、棉花、米、大豆、鐵	四日市	綿絲、陶磁器、石炭	棉花、豆粕
門司	石炭、木材、綿絲、セメント	米、棉花、砂糖、石油、鐵	長崎	水産物、木炭、椎茸	石油、鐵、豆粕
仁川	大豆、米、牛皮	綿織物、石油、煙草、石炭	淡水	茶、石炭、樟腦	鶏片、綿織物
釜山	米、大豆、牛皮	綿絲、綿織物、石油	清水	茶	豆粕、米、大豆

第八 アジヤ洲

教授の主眼

本邦の屬する大陸であるから、特に他洲と選を異にして一課を設け、其概觀を會得せしめんとするものである。依てまづ世界に於ける六大洲の區分を明らかにし、アジヤ大陸所屬の國邦を擧げ、我が國及支那の外、國勢の盛なる獨立國無き實情を知らしめ、以て本邦國民の東亞に於ける使命の重大を自覺せしめねばならぬ。本課はこの自覺に基き特にアジヤ洲の經濟地理に重きを置き、産業交通の主要を授くべきものである。

敷衍及附說事項

アジヤ洲の面積と獨立國 地球上の陸地は之れを分つてアジヤ洲、ヨーロッパ







系の北には(三)天山山脈アルタイ山脈があつて、アルタイ山脈は北の方ヤプロノイスタノボイ兩山脈に續き、又天山山脈は崑崙山脈とタリム盆地を抱いて居る。バミル高原から西方に走る山脈に(四)ヒンヅークシ山脈がある。この山脈はアフガニスタン・ペルシヤの北方を走り、小アジア高原に及ぶものである。バミル高原から南に走る一派にスリマン山脈がある。この山脈は英領印度の北西とアフガニスタン・ペルチスタンの境域をなして居る。以上述べた五つの山脈は何れもバミル高原から發する大山脈であつて、これによつてアジア洲は大體四つの大斜面に岐れる。従つて河川はこの四斜面を流れ、それ／＼海に入る。即ち太平洋斜面に流れるものには黒龍江、黄河、揚子江があり、印度洋斜面にはメコン河、ガンジス河、インダス河等の長流がある。西南斜面には大河なく、北氷洋斜面には何れも一千里にあまるオビ・エニセイ・レナ等の長流がある。

**山地と産業との關係** 地勢と産業との關係は云ふ迄もなく密接であるが、アジア洲の地勢は上述せる如き有様であるから大體これを山地帯の産業と低地帯の産業とに分つて研究するが至便であらう。勿論山地帯と云つても頗る廣汎の地域であり、低地帯といつても區々其地域を異にして居るから一概に山地帯

の産業はどう、低地帯の産業は斯うと斷定する事は出来ぬ。勢まづ山地帯と低地帯とに大體區別し、各其地方々々についての産業状態を述ぶるが至當であらう。依てまづ山地帯中の代表的地區の産業状態から順次述べよう。(一)西藏高原地方 地味が一般に礫礫である上に土地が高峻であるから氣候は寒冷で大變あり、又雨量が少いから土地が乾燥して農耕に適せぬ。農産物としては海拔四千尺もある様な畑で收穫する大麥が僅かの産額を有する位である。鑛産は甚だ豊かで金、銀、岩鹽の埋藏があると云ふけれども住民稀少に、かつ自決心に乏しい人民であるから天與の富源を開拓する事にはまだ／＼永き年所を要する事と思ふ。此地方の産業としてはまづ牧畜業を第一に推すべきであらう。(二)蒙古地方 蒙古は其占める面積は頗る廣いものであるが、併し全土の三分の一は大沙漠であつて不毛に屬するから、産業上利用せられる地域は極めて少い。しかもこの地方の産業は農耕でなく、住民の多くは牧畜を業とし、馬、牛、羊、駱駝、犂牛、豚等を飼養し、食料は固より工業の原料も全部これによつて得て居る。内蒙古では大麥や玉蜀黍を栽培せられるが其額は極めて少い。鑛物の埋藏は頗る多いと云はれて居るが、これ又土民の採掘に遭ふ事はなく放棄せられて居



る。(三)イラン地方 この地方も不毛に属する沙漠多く、且つ寒暑の差極めて大なるために産業は振はぬ。僅かにベルシヤの山間谿谷地方であつて水量に不足なき場所には米・麥等の穀類や煙草綿等の産出があるが、其額は取立て、云ふ程でない。農耕は英領印度に近いアフガニスタン・ベルチスタンの東部地方に於て行はれ、麥類・黍・粟・米等の産物が印度に輸出せられる。併しイラン地方一帯から云へば氣候も悪く地味も不良であり、且つ住民も稀少で生業は頗る不振の状態にあるといつてよい。(四)アラビヤ高原地方 海に臨む地方の僅かを除くと大部分は高原地であつて、しかも其高原は沙漠から成つて居る。故に大部分不毛の地で農耕の業は行はれぬが中部地方には泉地が所々にあり、水草にも富んで居るから牧畜の業が行はれる。世に有名な亞刺比亞馬は實にこの地の特産である。要するに以上述べた山地帯の産業は頗る不振の状態にあるが、その原因とする所は、氣候の不良、地味の磽确、雨量の缺乏、住民の稀少並に懶惰にあるといつてよい。

#### 低地帯の産業

(一)シベリヤ低地の産業 シベリヤ平原の北部は凍土帯と稱する不毛の地であつて冬季は水面悉く凍結して水陸の區別も判然でなく、數百尺

の地下も凍結する程であるから禽獸もこの期節は南方の森林帯へ去る程で植物は到底生育せぬ。夏季は凍土の表面僅かに融けて澤地をなし苔類が生える位のものである。稍々南に及び北緯六十五度から五十五度の間地方は森林帯であつて、松・樺・樅・落葉松の類が密生して居る。この地方は寒暑の差殊に甚しく夏季は炎熱蒸すが如く猛獸と雖も堪へる事が出来ぬ程であるが、冬季嚴寒の候になれば氷點下四十度以上に及び飛雪猛烈如何なる防寒具を以てしても支へる事が出来ぬ程である。北緯五十度以南は曠野帯と稱せられ地味肥沃氣候稍溫和で、西伯利亞の穀倉と稱せられる地方もある位で、良種の小麦を産して居る。曠野帯の南方にあたり山嶽起伏の地方を山嶽帯と稱して居る。一帯の山嶽は斜面が緩傾斜であつて、森林に富み又金を産する地方もある。以上述ぶる如く曠野帯を除く外は地味磽确で農牧に適せぬから、現時の所は荒漠たるシベリヤの廣野に於て見るべき産業もないが、寧ろ太平洋の沿岸區域は世界有數の漁場であつて、海獸・昆布・魚類の産出に富み、其漁獲高は莫大である。本邦人であつて此方面に活動せるものは少くない。(二)中アジヤ低地の産業 中央亞細亞の地域には沙漠多く土地も一般には劣悪であるが、僅かにアラル海に注ぐシル・ア

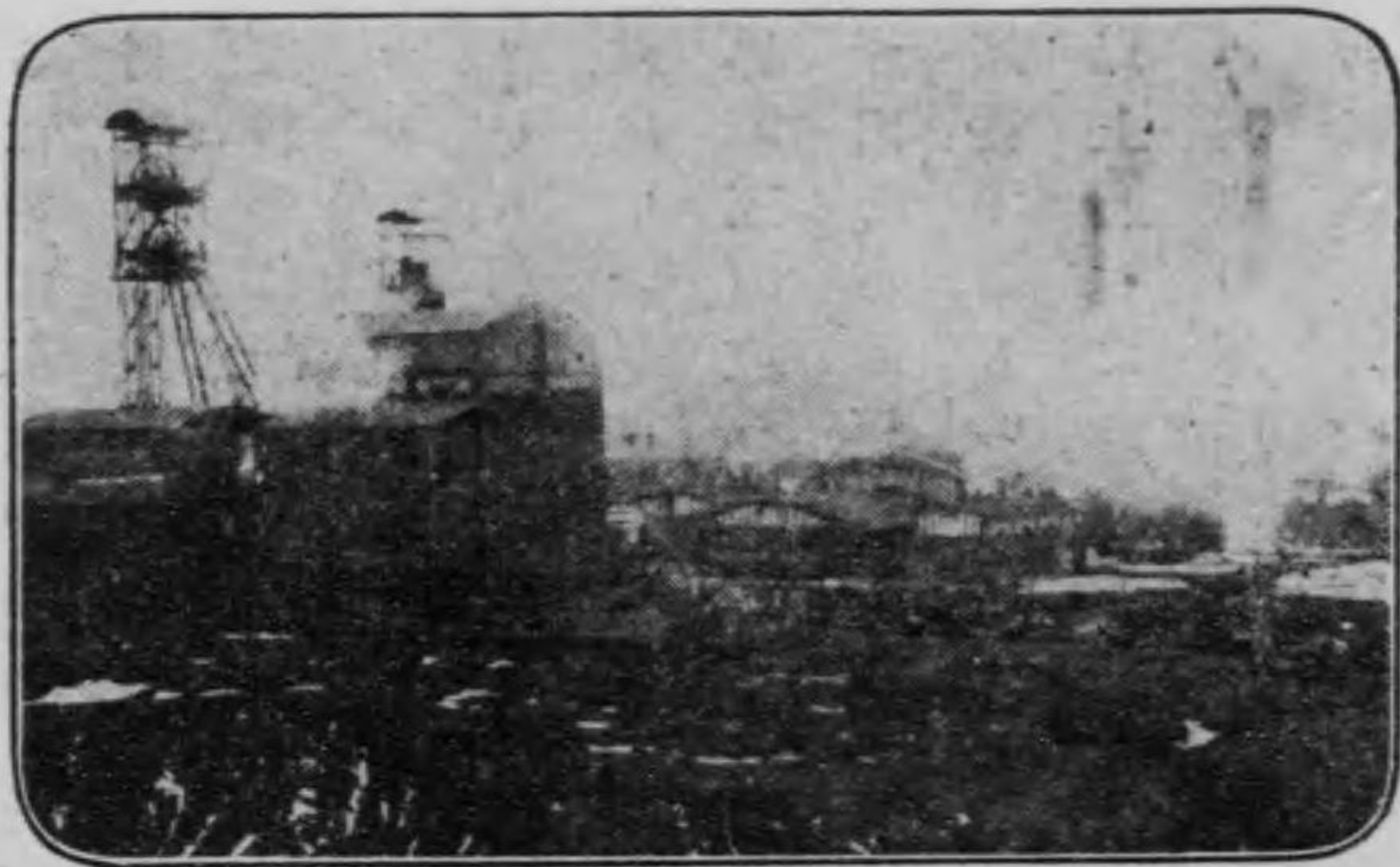


ム兩河の流域のみは土地豊沃であつて穀物實り、果實棉花の産出がある。殊に棉花はこの地方の名産で年々栽培額を増加し、今や中アジヤ輸出品の主位を占めて居る。鑛物の種類には岩鹽、石炭、鐵、金、銀、鉛、寶石、石膏、花崗石、石灰、石墨、石油、硫黄等があり、其埋藏も豊富であるが併し其採掘は未だ盛でない。草原地方には遊牧を業とする土民が居て、馬、牛、羊、駱駝等を飼育して居る。(三)支那平野の産業

黄河、揚子江流域地方は地味肥沃であつて灌漑水利の便に富み農産物の産出が多い。本來支那は歴代の帝王悉く農を以て國の大本とし大に奨励を加へたから古來農業は發達し來つたのであるが併し現時は舊慣に捉はれ古式の農法に泥んで居るから支那の農業には改良なくさしたる進歩はない。若し一朝耕田農具の改良を加へ培養施肥の方法を一進したならば蓋し支那の農業は大に見るべきものがあらう。併し現時に於ても廣汎なる地域に亙つての耕作であるから米、麥、高粱、豆類の産額多く、茶、棉花も重要産物の一になつて居る。蠶絲も茶と同じく支那の二大輸出品で其産額は頗る多く世界第一の稱がある。鑛産も頗る多く鐵、金、銀を始め石炭は年々の採掘増大し殆んど無盡藏の稱がある。支那の生命は揚子江、黄河の流域地方にあるといつてよい程で無限の富源を此處

に有して居る。(四)西印度平野の産業

ガンガイダス兩河流域の大平原は肥沃なる土壤であつて、氣候炎熱の上に雨量豊沛であるから、各種の植物蓊鬱としてよく生育するが、中にも農産物としての米は年



溜川炭礦選炭場

三回の植付を爲し其産額は支那について世界第二の位置を占めて居る。米の外に棉花、黃麻、茶、珈琲、藍等は何れも主要なる農産物であつて、殊に印度高原地方から出る棉花は合衆國、埃及と共に世界三大棉花國の名を恣にし、年額米國について世界第二位である。この棉花は綿絲紡績の原料として多額に我が國へ向つて輸出される。デカン高原及セイロン島地方から多く産する茶は其産額の多き世界第一であつて、英國を始め歐洲諸國へ盛んに輸出せられる。由來印度は農を以て産業の大本とせる國であつて、今日も住民の七割強

は農業に従事し、其産物は食料品及工業原料品として盛んに英本國を始め其他



の諸邦へ輸出せられる。併しながら印度には未だ雨量の分布其宜しきを得ざるために未開のままに放擲されて居る原野が尠くはない。之等の地は灌漑の利便さへ講ずれば優良の耕作地とする事が出来る。印度は殆んど水さへあれば耕作に適せぬ地方の無い天興の農産國であると云つてよい。五) マレー諸島、マレー諸島は殆ど和蘭領であつて、其他にはボルネオ島の北部が英國に屬し、フィリピン群島が北米合衆國に屬し、チモール諸島が葡萄牙に屬する位のものである。群島中のジャバ島は和蘭領中の最も開けたところであつて甘蔗糖の産額は世界第三の位置を占め、其粗糖は我が國へも輸出せられる。砂糖の外香料珈琲の産出もあるが、近時我が國民のこの地方に來住して護謨を栽培し或は農産物を培養するもの次第に多きを加へた。

以上述べた如くアジア洲中産業の盛んに行はれるのは支那平原印度平原を始め其他の海岸河川の流域平野地方であつて、これ等の地方は一體に農業盛んに行はれ、住民の多數はこの産業の盛んな地方に住居するので、このあたりは戸口最も密で、都邑も多く交通又開け、何れもその地方の中心地をなして居る。  
**アジア洲の交通** (一) 陸上の交通 アジヤ洲の鐵道は近時發達したとは云ふも



滿洲の馬車

の、之れをヨーロッパ、北アメリカ等に較べて見ると著しく劣つて居る。鐵道の延長に就て見るもアジア洲の鐵道總長は世界に於ける鐵道總延長の約十分の一に過ぎぬ。勿論我が國は七千六百餘哩の鐵道を有し、印度は二萬九千五百餘哩の延長を有するから、之等の國は相當に發達して居るといつてよいが、しかし其他の地方は交通機關の不備驚くばかりで、僅かに馬駱駝の背によつて荒漠たる地を行かねばならぬ有様である。大國支那の如き近時着々と其の國內に鐵道敷設を見るやうになつたが、之等は多く他國の經營に屬し、本國の計畫にかゝるものは少い。併し諸線竣工の曉には正に一大鐵道國となることであらう。近時の支那交通は縦横に脈絡せる水路によつて舟行せられて居る。河川が交通上役立つといふ例證は最も支那がよく之れを證明して居るので、世界に誇るべき大運河は云ふに及ばずかの



揚子江の如きは支那内陸と外洋とを通ずる交通路となり、大船、巨船もよく江を溯つて四百里餘の上流に達する事が出来る程である。又北部アジアにはシベリヤ鐵道があつてヨーロッパと太平洋岸との交通の幹線をなし、歐亞聯絡に利すること頗る多大である。シベリヤ線は明治三十四年に開通したものであつて従來極東の地から露國に至るには約二箇月の日子を要して居たのであるが、シベリヤ線の開通によつて僅々二週間を以てヨーロッパ内地に入るを得るに至つた。無人の曠野に敷設せられた本線も將來東西兩洋の交通路として一層利用せられるに至るであらう。(二)海上の交通 太平洋及びインド洋方面の交通は最も盛んであつて、我が國及び諸國の汽船は太平洋を横斷してアメリカと聯絡し、又沿海諸港を縫ひてインド洋に至るものはヨーロッパと相通じ以て世界航路の幹線をなして居る。其他オーストラリア、マライ諸島に至る航路も開けて大船巨船常に相往來して居る。歐洲大戰勃發以來我が海運界は空前の大繁忙を極め、東洋の航路は殆んど我が國の獨占の姿となつて居る。將來益々我が海運業の盛大を期し以て貿易上有利の地位を獲得することにとむるは我が國の急務であると思ふ。電信線路はまた大陸を横斷し或は沿岸の海底を潜つて

ヨーロッパに至り又太平洋を横ぎつてアメリカに達し、或はオーストラリアに通じ通信上大なる便益を與へて居るが、更に現時は沿海の要地に無線電信局が設けられて世界上の通信に何等の不便を感ぜぬ様になつて居る。東亞に於ける海上交通の中心要地としては我が國の横濱、神戸港、支那の上海及び支那に於ける英領香港及びマレー半島の突端であるシンガポール等である。

### 取扱上の注意

地理的用語 大洲。獨立國。領土。高原。高峯。草原。沙漠。低地。交通路  
開拓の業。

挿繪の解説 (一)ヒマラヤ山脈 世界第一の峻嶺であるヒマラヤ山脈の壯觀を示せる繪であつて、遠く連互せる山々は悉く雪線以上に及び、千古の白雪皚々たる雪山である。近景は印度の北方にある都邑、ダージリングであつて、此地はカルカッタより汽車を通じ、其位置、ネパール國及びブータン國に近く、殆んど其國境附近にある。ダージリングは西藏に入る門戸であつて、英國はこの地より鐵道を更に延長して西藏の拉薩に通じようとする計畫がある。併し何様教科書挿繪に見るやうな大障礙の山脈があるから其工事は中々の難事であるし、又由來











積と較べて見ると優に十六倍に餘り、アジャ大陸の四分の一の面積に當る割合である。かく廣大なる國土は之れを分つて國の東部を支那本部とし、東北部を滿洲、北部を蒙古、西南部の高原を西藏チベットと云つて居る。この外西部に新疆省があり、チベット、蒙古の間に青海がある。普通直省といふのは支那本部、滿洲、新疆省を指し、藩部とは蒙古、西藏、青海を云ふのである。以上の中よく開けたのは支那本部と滿洲であつて、就中支那本部は其占める面積二十五萬餘方里に及び地味肥沃、文化最も發達し、全支那中最も主要なる地區である。支那の總人口は今日の所約三億三千萬と云ふが正しからうと思ふが、之れを世界總人口と較べて見ると約五分の一の多數に上る譯である。而して其中の三億二百一十萬人が支那本部に住居して居るといふからこれを以てしても支那本部領域中の最重要地であるといふ事が分らう。

**支那本部の農業工業** 支那の帝王は農を以て國家の本とし、大にこの業を獎勵したから、古來この國の農業は發達し、農産物の額も世界有數である。これ固より人力の獎勵によるとは雖も亦一面に支那の地勢地質が最も農業に適する事情にある原因に伏在する事も否定する事は出来ぬ。寧ろ或は後者の勢力が大

であるかも知らぬ。支那本部は支那領土中殊に農業の盛んな地方であつて、支那本部の北部からは豆類、小麥を産し、中部即ち揚子江の流域地方及び南部即ち



北 京 前 門 大 街

珠江の流域地方からは米、茶、綿、麻等の産出がある。米は古來國民の常食物であるから其産額も尠くない。産地は揚子江流域が最も多く、古語に「湖廣熟すれば天下足り、江浙實れば天下飢ゑず」といふことがあるが、湖廣とは湖南、湖北を指し、江浙とは江蘇、浙江を云ふのである。麥は米よりも其産出區域廣く、山地、湖畔等に植ゑ、米と共に食料品に供せられるから古來其産出が多い。主要産地は北部の平野地方である。茶は温熱の地に適するから支那では南部地方即ち湖廣、福建、四川省地方に多く産する。茶の種類は綠茶、紅茶で、近時毎年海外に輸出する額も多く支那富源の一となつた。

棉花は中部地方即ち江蘇、浙江、湖北地方に多く産する。養蠶、繭産額の多い事



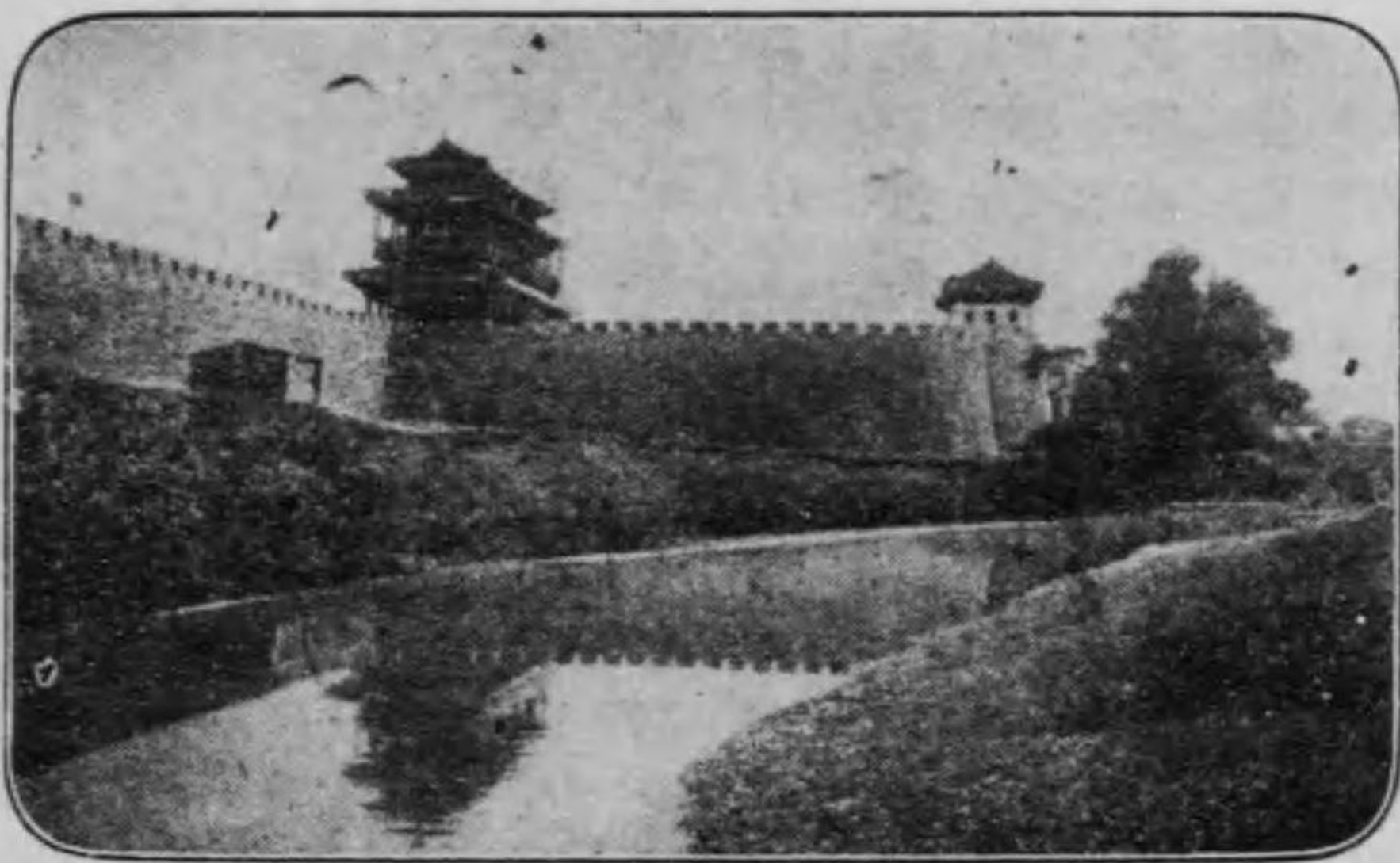
は世界第一であるが、しかしこれは人口多く地域廣大なるため、實際の飼育法は遙かに我が國の養蠶業に劣つて居る。養蠶の盛んなのは江蘇浙江地方で、四川廣東の兩省これに次いで居る。製絲業も近時次第に盛大で、上海は其中心地をなして居る。製絲・製織工業。由來支那の工業は微々たるものであるが、近時漸く其芽を生じ、或は他國人と合辦にて、或は全く他國人の經營にて次第に揚子江流域の地に工業の勃興を見るに至つた。即ち新興の工業は紡績・織布の業で、其中心地は矢張り上海である。この國は原料品としての天産豐饒であるから、若し之れに資本の供給さへ十分であれば如何なる大工業も發達し得るのである。殊に支那本部には三億餘の需要者を控へて居るから、この地の工業は將來益々有望であるといつてよい。近時各國が支那に入込み事業に多額の資を投ずる風あるは畢竟この需給關係に基くのである。我が國民も次第に南方支那に渡り着々事業に従事するの機運に向つて來たが、支那渡航者の最も必要の要素は資本であつて勞力でない。由來支那は勞力の供給餘りあつて資力の缺乏を訴へて居るのである。江蘇浙江省あたりでは普通農業に従事して居る農夫の賃銀が二十五錢から三十錢位のもので、養蠶時期の最も忙しい時でも四十錢

位の給料に過ぎぬ。上海の製絲工場は賃銀が割合に高いと云はれて居るが、併しそれでも一日三十四五錢位のものである。普通誰れにも出來る様な仕事の勞銀は又驚くばかり廉くて、女一人が一日十二三錢から十五六錢を出せば得られるといふ風である。若しそれ四川省あたりへ行くなら更に勞銀は低廉で、女一日の賃銀が三四錢といふ風である。こんな有様であるから支那渡航者には裸一貫で働くといふ様なものは一人も要せぬ譯である。多額の資本を投じ居る資力家が、この低廉な支那の勞力を利用し、無盡の富源を開拓し、無限の需要者を相手として、大事業を計畫するならば屹度面白い事業が出來るであらう。それにはまづ支那を研究し支那を理解して後決行すべきで、近時我が國の各方面の技術家が支那を調査する傾向あるは洵に我が國事業界のために慶賀すべき事であると思ふ。

**支那本部の鑛業** 支那鑛産物中有名なのは鐵と石炭である。(一)鐵は湖北・山西・福建・廣東・雲南・四川の各省から産出するが、殊に名あるは湖北省漢口の東南にある**大冶鑛山**である。大冶鑛山は明治二十三年漢陽に製鐵所を設立せんとして其原料を得るべく獨人ライオンに命じて大冶縣下の鐵鑛を調査せしめた際始



めて發見せるものである。當時ライノンは鑛山發見を秘して本國政府に通じ、



北 京 南 門

獨逸政府が突然大冶鑛山採掘權を得んと要求するに及び、支那は始めてライノンの不徳義を知り、獨逸の要求を拒絶し爾來採掘に従事したのである。明治三十二年我が國は石炭コークスと大冶の鐵鑛との交換條約を協定し、爾後鐵鑛購入の特權を獲得したのである。今日我が國の八幡製鐵所の原料として輸入する鐵鑛は多く此鐵山より仰ぐのである。又漢陽の製鐵廠も大冶の採鑛を以て原料とし萍郷の石炭を用ゐて製鍊に従事して居る（挿繪解説参照）。二石炭は殆ど産出せぬ所無き程で、古來直隸省の開平炭坑、山東省の博山縣炭坑等有名であるが、近時又著しく發達せるは大冶の南方にある萍郷炭坑である。支那の石炭は今日其採掘の方法完全でないために其産出は世界第一位を占める事は出来ぬが、併し將來其採掘の方法を改善し

其採掘區域を擴大する時は或は米國を凌いで第一位の産出を占むるに至るであらう。『現時世界の石炭消費高を試に山西一省より供給するとせば優に一年餘を支へ得べし』と獨逸のリヒトホーヘン氏は嘗て云つて居るが、若し將來支那の石炭採掘が鐵の産出と共に今日以上に盛大となつたならば製造工業の中心は或は米英獨より支那に移動するかも知らぬ。支那は農産原料に於て、又工業發達の必須要物たる鐵石炭の豊富なる點に於て製造工業の樞區たるべき運命を享有して居るといつてよい。但し如何に其天與の素質があるからといつても之を運用し支配すべき人力の微弱なる際には到底其發展を期する事は出来ぬ。果して支那人にこの力ありや否や。地位的關係に於て歐米列強に優越せる我が國民は大に支那を開拓し支那國運の發展を企圖すると同時に、我が國も亦其利得を收むる事について一段の努力を要する事と思ふ。近時漢陽の製鐵、大冶の鐵鑛萍郷の採炭事業のために我が國の之れに向つて投資する所多きは誠に慶賀すべき事である。

支那本部の交通 古來支那の交通には『南船北馬』といふ事が云はれて居る。蓋し北部は馬を交通上利用し、南部は諸大河の本支流及び運河によつて舟運の利



便を得るといふ意味の言葉である。(一)河川の交通 河川が交通上大切なものであるといふ例證はよく支那に於て窺ひ知る事が出来る。殊に揚子江の水運に至つては世界上最も著名の現象であつて、交通運輸の上にこの河が利用せられる事は實に想像以上のものがある。揚子江は河口から一千七百五十哩の上流まで支那船を通じ、汽船は四百五十哩の上流なる宜昌迄も溯航する事が出来る。實にこの水路は海岸地方から内地に向ふ交通路の幹線をなすものである。揚子江と並んで支那の交通上に利用せられる水路は浙江省の九州府に起り、揚子江及び黄河を切斷して天津に至り、白河に通ずる大運河である。この大運河は長さ三百二十五哩に及び、萬里の長城と共に支那の二大工事として世界に著名のものであつて、この工事は隋の煬帝の時開鑿せるものである。併し其後修築を怠つたために河道が填塞して大船の通行が出来ぬのと、一には又近時沿海の航通便利となり、鐵道による輸送能率が高まつたのとで漕運稍々寂莫を感ぜぬでもないが、尙南北物貨の運送上利便する所多大である。(二)海上の交通 支那の海上交通は大體其の地域を分つて三つに區別する事が出来る。即ち一は上海を中心として北方芝罘天津威海衛等から牛莊に達する北清線、其二は上

海から以南即ち福州厦門香港廣東に至る南清線、其三は上海から揚子江を湖江して漢口に至り、漢口から尙ほ宜昌及び長沙に至る長江線即ちこれである。併



海上の日本の郵船會社

つてよい。鐵道の敷設してある所や河川の沿岸地方は交通上さしたる不便は



感ぜぬが、足一歩これ等の便益のない内地に立入ると其不便さは又實に想像外である。山地の方へ行くと山岳が起伏して居て車も用を爲さぬから旅行するには橋に依て昇かれて行くの外はない。(参考資料支那内地の交通狀況参照)

**支那本部の貿易都市** 支那本部の開市場は直隸省の秦皇島多倫諾爾山東省の濟南府周村鎮濰縣龍口等を始め五十四の開市場があつて内三ヶ所は租借地十

一は支那の自由開放地である。輸入品の主なる者には生金巾生シーチング晒金巾綿織絲・燐寸砂糖石油等があり、輸出品としては山羊皮各種茶落花生油鐵類豆等がある。主要貿易港としては(一)上海 年額三億兩の貿易額を有する支那第一の開港市である。上海は外港吳淞から黃埔江を溯る事十三哩の上流にあつて、一千八百四十二年阿片戦争の際英軍に占領せられ、翌年南京條約の結果として開かれた貿易港である。居留地は各國專管し河岸に設けられて米租界英租界佛租界等に分れ大厦高樓相櫛比し、街衢清麗市況の殷賑なる眞に東洋無比の模範的居留地である。この港よりは生絲茶米棉花麻煙草等を輸出し、石油砂糖麥粉毛織物綿布等を輸入する。東洋貿易の中心地だけあつて江中には大小の帆橋林立し、内外の船舶輻輳し、長江を溯るもの、蘇州杭州へ至るもの、さては日本

歐米へ赴くもの、悉くこゝに寄港し、其迎送にいとまが無い。又陸上には南京杭州に通ずる鐵道開け、實に水陸交通の要衝に當つて居る。(二)漢口 揚子江口から二百八十哩の上流にあるが、併し増水期には優に一萬噸の大汽船も溯航する事が出来る。漢口は武昌漢陽と江を隔て、相對し、北に京漢鐵道を有し、南に廣



東に通ずる粵漢鐵道を控へ、實に水陸四通八達の要衝をなして居る。此港からの輸出品は棉花米穀麻繭豆類等で、輸入品には紡績絲金巾日本綿絲銅海產物等がある。取引高は上海に次ぎ江畔第一の貿易港で、古來「東洋のシカゴ」の名を有して居る。この地には近時各種の工業勃興し次第に市の活氣を加へて居る。これ湖南萍鄉炭の供給を仰ぎ、大冶の

如き大鐵山を控へ加ふるに四近には富裕なる原料品の産出を有し、しかも製品は自由自在に運搬し得て、廣大なる需要を四周に有する等の原因に基くものであらう。將來此地工業の勃興期して待つべく、従つて本港貿易上の地位も次第



に向上する事であらう。(三)香港 珠江口に於ける一小島であつてイギリス領に屬する港市である。香港は世界の最良港と稱せられ、東西洋往復の船舶寄航せぬものはなく、港内常に大小の船舶蟄集して壯觀を極めて居る。この地もと一小寒村に過ぎなかつたのであるが、一千八百四十二年英領に歸してから極東に於ける英國の策源地となり、軍港の設備成り、軍隊を駐屯せしめ、對岸九龍に砲臺を築き以て英國東洋艦隊の根據地としたのである。又一面に本港を自由港として歐亞交通の中繼所とし、貿易上の中心地としたので、今や貨物の取引の盛大なる事東洋第一の名を擅にして居る。貿易品の主要なるものは石炭、米、阿片、砂糖、綿絲、綿布、石油、生絲、海産物である。(四)天津 白河河口四十哩の上流に位置し、大運河此處に會流し、津浦、京奉の鐵道又こゝを通過するので、勢この地は水陸交通の要地となり、從て商況殷盛に、北清第一の貿易市場となつて居る。輸出品の主なるものは豆粕、豆油、茶で輸入品は綿絲、綿布、マツチ、海産物、銅等が主要なものである。本市は我が安政五年の天津條約に基いて開市せるもので、又明治十八年の天津條約締結地として國史上注意すべきところである。以上述べた上海、香港、漢口、天津は實に支那の四大貿易港であつて、何れも盛大なる都市である。

この外支那本部の貿易港としては青島あり、芝罘あり、南に廣東あり、福州あり、江畔また主要貿易港に乏しくないが、其一々を茲に詳述する餘裕がない。但し青島については別に一章を設けて詳細なる解説を試みよう。

### 取扱上の注意

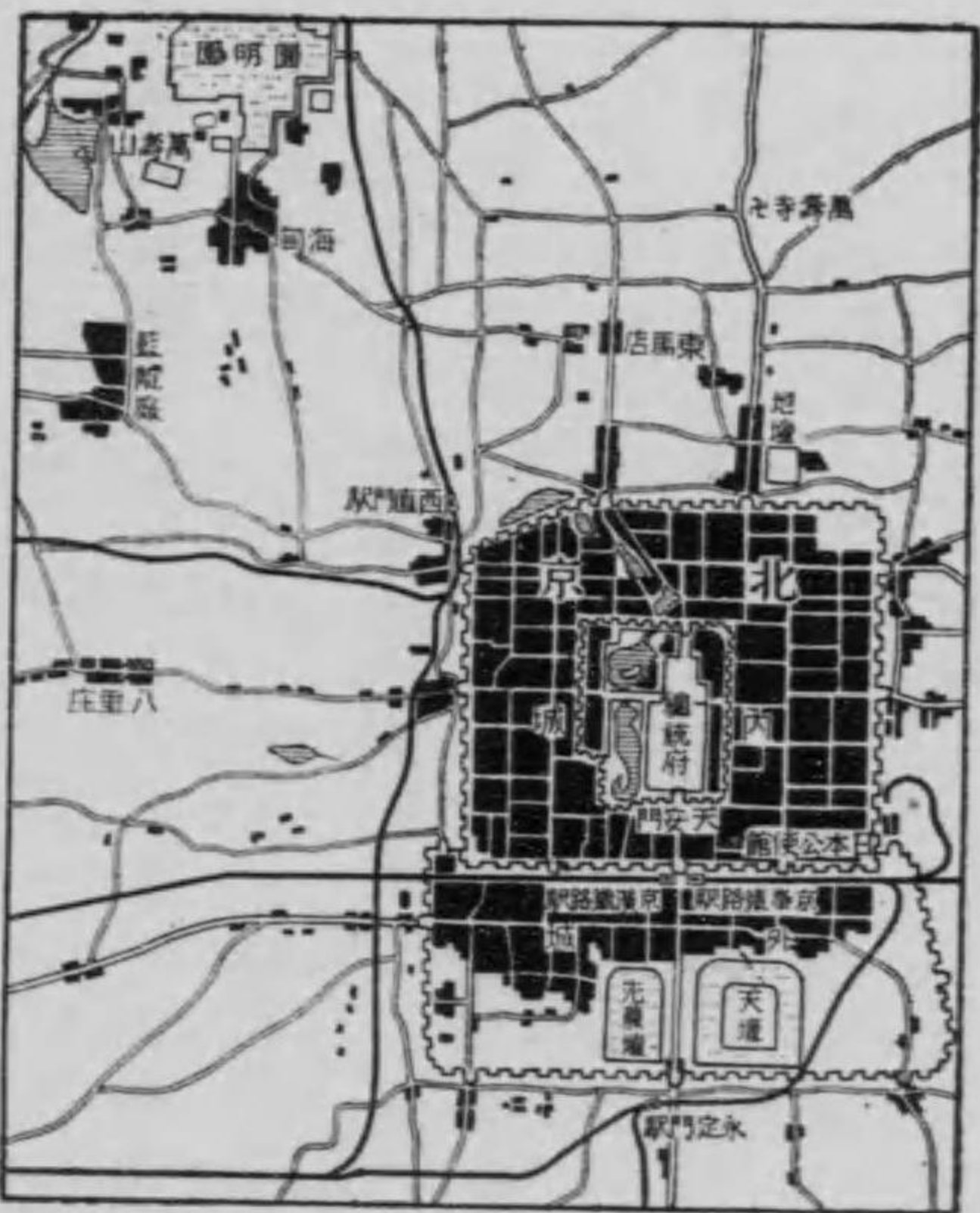
地理的用語 首府。中心都市。綿絲紡績。製鐵業。交通路。鐵道幹線。

挿繪の解説 (一)北京の市街と城門 北京は支那の首府であつて白河の流域に

ある。市街は城壁を四周にめぐらし劃然たる一廓をなして居るが、其廓内は更に城壁の遮斷によつて内城と外城に分れて居る。内城の方には元の皇城や其他の諸官衙があり、外城の方は一般市民の往居區であつて繁華な商區である。挿繪上方の圖は北京正陽門であつて下圖は北京前門大街の光景である。正陽門は外城大街一方の門であつて、外城の大街はこの正陽門から永定門に至るを正陽大街といひ、又東西に通ずるを廣寧大街と云つて居る。この大街を本として無數の小街が縦横に通じて居るのである。下圖に於て見る様に北京の大街は道幅殆んど二十間にも達する程廣濶であつて且つ車道歩道の區別を設けて居るけれども、其區別は名のみであつて雨降れば泥濘車軸を没し天晴るれば塵埃

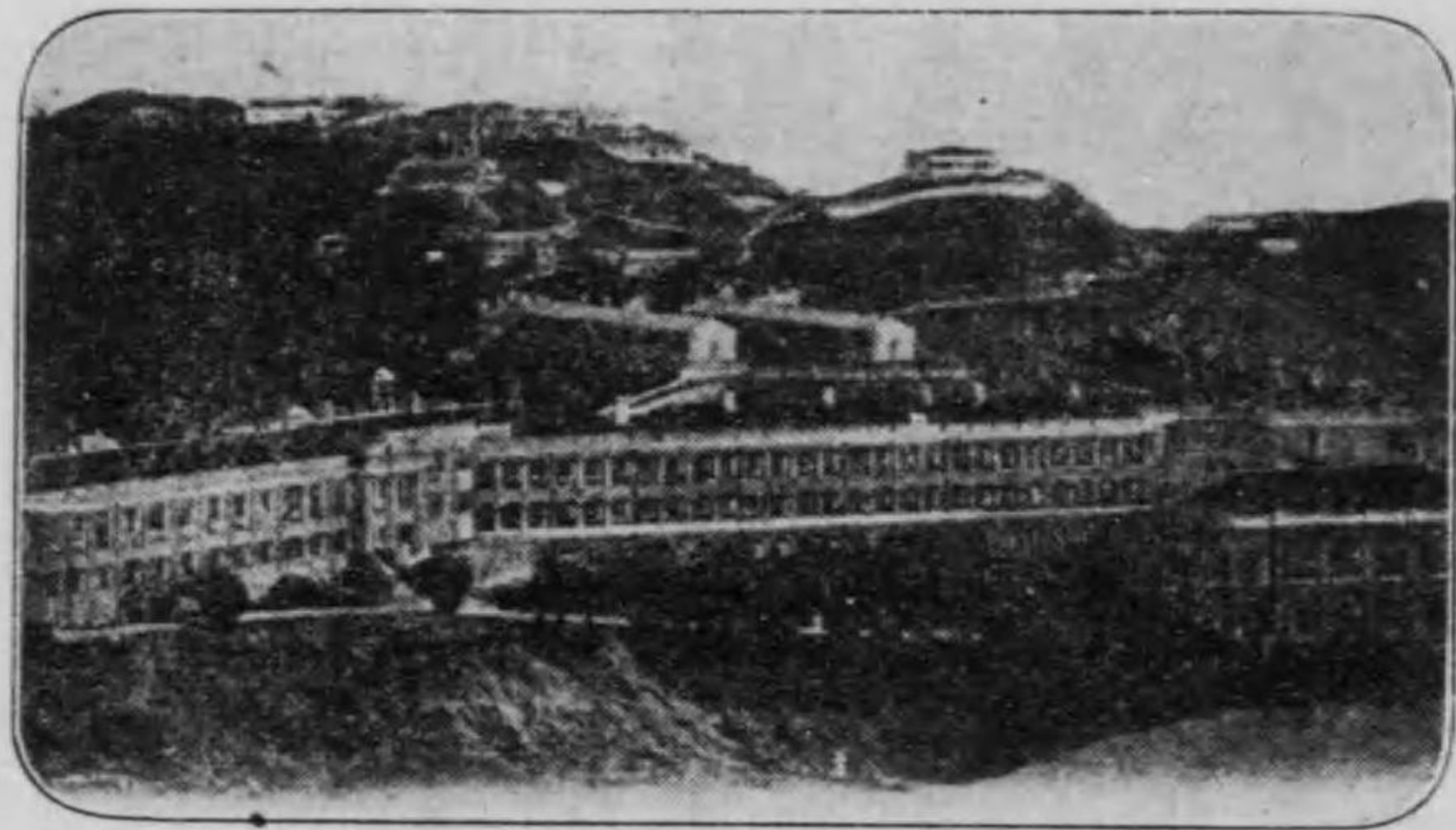


空を蔽ふといふ有様の所もある。併し近時大に改築を加へ漸次よくなつて來てゐる。家屋は新らしきものは金碧の招牌燦として居るが併し舊きものは塵埃堆積し頽敗見るに堪へざるものがある。街並の不潔にして秩序のなき露店



諸車街路に充塞して不節制なる挿繪によつて窺ふ事が出来る。(二)天津にある日本人の居留地 挿繪は天津日本專管居留地旭街を示せるものである。其位置は北部の省城地即ち支那街の南方白河を距る一哩ばかりの所にあつて、この附近を紫竹林といつて居る。此處は外人の居留地に屬し、我が專管居留地には本邦の領事館もあれば郵便局もあり三井物産會社の支店其他宏壯なる本邦人經營の商店等もある。居留地旭街の如きは石造の大厦整然と建並び行路は車道歩道に分ち實に最新式市街の形式を備へて居る。之れを前圖の北京前門大街と比較して見る

とよい對照であらう。(三)漢陽にある製鐵所と漢口 この繪は製鐵所の南方の丘陵から眞下に製鐵所を瞰下し、漢水を隔て、漢口市街の一部を望み見た所である。この繪で云へば漢陽の市街は製鐵所の手



山中にある香港の建築

前の方遙かの所にあるから表はれず、武昌の市街は漢江の揚子江に合流する所の對岸にあたるからこの繪で云へば右手の方漢江の流下する方向にある。漢口の市街は挿繪に表はれて居る部分より右手に續き、尙ほ揚子江に沿ひて更に其沿岸を下流(挿繪の右上)に發展延長して居る。漢江は陝西省に水源を有する揚子江の一支流であつて、漢陽漢江の境界をなす河である。此地の製鐵は豊富なる大冶の鐵鑛を原料となすので、漢陽には製鐵所の外に機器局(兵器製造所)もある。(四)香港商業地の全景である。香港は前にも説明した様に周圍僅かに三十哩に過ぎざる香港島上にあるので、市街は海岸に沿ひ山



麓を繞り、山腹の斜面に階段的に建てられ、最高所に別荘や住宅を設け、海岸地に事務所商店を置いて居る。香港島は全島殆んど山阜から成つて居るから市街は人工金力を以て自然を破り無理に創立したものであつて、英國政府が過去半世紀に支出した金額は實に莫大なものである。海岸一帯に展開せる大厦高樓の壯觀及び山腹山上所々點々と樹間にほの見える建築の奇觀、これが香港市街の特徴である。尙ほ丘陵上には海岸地から一直線狀にケーブルカーを敷設し昇降に便して居る。それで山上には兵營もあれば旅館、測候所もあり、又普通の住宅もあつて、恰も一の市街地をなして居る。

**自働作業の指導** (一)支那略圖を描きて其區分を明らかならしむ。(二)主要産物の分布を圖上に表示せしむ。(三)主要鐵道幹線を略圖上に記入せしむ。(四)主要都市の分布圖を描かしむ。

**教養物の指示** 亞細亞全圖。支那全圖。支那鑛産物分布圖。支那交通圖。世界大國の人口比較表。支那主要鐵道の各國管理表。我が國と支那との貿易圖表。北京の市街と城門、天津にある日本人の居留地、漢陽にある製鐵所と漢口香港の挿繪擴大繪畫。北京、天津、香港、漢口、漢陽等の名勝寫眞又は繪葉書。

## 參考資料

### 支那内地の交通狀況

既に支那の内地を御旅行になつた方もありませうが、旅行中最も交通の不便な事に苦んだのであります。江蘇浙江邊を旅行しました時は支那民船を雇ひましてそれに寢泊りして數日間旅行した次第であります。この民船の旅も屢々盜難等がある爲に多少危険であります。湖北省に參るには揚子江を溯る爲に三千噸以上の汽船が通つて居りますから少しも不便を感じませぬ。宜昌から四川省に這入る間は謂はゆる昔の蜀の三峽の嶮と云ふ嶮岨がありまして川幅も狭く、又流れも急である爲に餘ほど航行に困難であります。餘ほど以前に外國船例へは獨逸船も此航路を開始したのであります。是は無論定期といふ譯でない。今では支那の小さな汽船が五艘通つて居る丈であります。是は無定期といふ譯でない。今では爲に私ども六日ほど待合せました様な次第であります。是れとても比較的水が多い春から秋即ち三月頃から十月頃まで通ふのであります。冬の間は減水の爲に汽船は全く通じませぬ。此宜昌から重慶に參ります間は約四百哩程であります。其間の船賃の高いことは驚くべきものであります。八十弗を取ります。當時の銀賃相場から換算して見ますと我が百圓餘に當るのであります。それで尙ほ食事は別であつて一日三弗宛取られるのである。此の如く旅客運賃が高いのに比して矢張り貨物運賃も高い、四川省の貨物



を卸し、又下から貨物を積んで行くのに此汽船に依るものは貴重品以外は少い有様であり



支那の輪車

まして、其他の貨物は民船で揚卸しを致します。民船には随分大きなものがありまして、五噸若くは二百噸まで積むことの出来る大きな船があります。是も流れが急である爲に竹の繩を以て多數の人が曳いて行く、それは一艘に對して二三十人も掛つて曳上けるのであります。故に僅か四百哩ほどの所を二十五日内外を費して上る次第であります。また下るには流れの關係で十日以上掛るのであります。是は兎に角漕いで下ろして参ります。四川省の内地に這入りまして、成都平原を除いた他の所は非常に山岳が起伏して居つて車は全然用を爲さぬ、旅行するには轎と申して輿のやうなものに依つて昇がれて行かれるのであります。又無論道路は幅も狭いが全體石が敷いてあつて、現に私は重慶から九十清里の處に参つたが、此間に殆ど土を踏まないで行かれたのであります。即ち四川省には車が通らぬ、又江蘇省浙江省の如く川が多くない、又運河も無いのであります。それから山東省の

方の交通機關は多く驢馬を用ゐます、其他に真中に輪の一つある一輪車を用ゐて人も荷物も運ぶのであります。又廣東省から廣西省の旅行は殆ど船であります。併し矢張り土匪が多い爲めに船の旅行も随分危険であると云ふことを聞いたのであります。例へば香港から廣東に行きます英國の汽船の如きも機關部には鐵板が張つてあります。さうして一等船客と船員の居る場所、それと三等船客との境には鐵の柵が設けてあつて此處には寢ず番が附いと居ると云ふ様に警戒をして居ります。尙ほ西江を溯つて行きますと小さな汽船がありますが、これらは一々土匪に渡りが附けてあつて相當の納税をして居る其印した旗を買つて居ります。其旗を持つて居らぬといつ襲はれるか分らぬと云ふ様な噂を聞いたのであります。(明石弘氏——地學雜誌)

列國の有する鐵道 (表中×は租辦其他は借款鐵道なり)

(國名)	(鐵道名)	(延長哩)	(年次)	(資本又は借款額)
×	汴洛	一一五	×一九〇三	×一六四〇 <small>千圓</small>
×	海蘭	一二九二	一九一二	一〇〇〇〇
×	白耳義	九六〇	一九一三	一〇〇〇〇
計		二三六七		二一六四〇



英國					佛國				露國			
南浦	滬杭	廣九	滬寧	道清	京奉	欽州	廣州	龍州	滇越	正太	對大	東清
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
三五〇	二〇五	八二九	二〇三	九四	六一二	一四三〇	二五〇	五〇	二九三	一五一	一四一七	一〇六七
一九一四	一八九八	一九〇八	一九〇七	一九〇九	一九〇八	一九一四	一九一八	一九一六	一九一五	一九一八	一九一三	一九一三
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
三〇〇	一五〇	一五〇	二九〇	七〇〇	二三〇〇	二四〇〇	三五〇	六六二〇	一六〇〇	六六二三	六六二九	六六二九
七五	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

獨逸					山正				廣漢		寧砂		
新奉	吉會	大治	吉長	南滿	高濟	濟道	克開	正德	山東	廣澳	漢緬	寧相	砂興
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
三七	二七五	二〇	七九	六九五	六八六	二四〇	一六九	二七七	三七七二	一二三	六〇〇	七一四	七五〇
一九〇九	一九〇九	一九〇三	一九〇九	一九〇五	二七〇〇	一九一三	一九一三	一九一三	一九一三	一九一三	一九一四	一九一四	一九一四
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
三二	三〇〇	二一五	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇
三二	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇



日本	滿蒙五線	一九一〇	一九一三	千
南	南	七九	一九一二	七五〇
吉	會	二七七	一九一七	一〇〇〇
濟順高徐	計	四六〇	一九一七	一四二九七
日英佛	京漢	一九〇八	一九一〇	
英	獨津浦	一九〇八	一九一〇	
獨英	佛米粵川漢	一九〇八	一九一〇	
米	獨滬杭甬	一九〇〇	一九一〇	六〇〇〇
				三〇〇

(乙) 青島

敷衍及附説事項

青島の沿革 青島はもと膠州灣口にある一漁村に過ぎなかつたが、千八百六十九年頃獨逸の地質學者、フエルディナンド、フォン、リヒトホルフェン氏が獨逸政府の命を受けてこの地の調査をするに及び、優越せるこの地の經濟的及び軍事的價值が見された。爾後獨逸政府はこの地を以て東洋に於ける獨逸の根據地として最も適當なるものとし之れが占領の機會を待つて居た。所が偶々千八百九十七年十一月一日に山東省で獨逸教師二名殺害の事變が発生したのを好機として獨逸は強硬なる談判を開始し、其結果千八百九十八年より九十九ヶ年租借の契約をなし正式に膠州灣一帶の租借權を獲得したのである。爾來獨逸は此地に軍事的設備をなすと同時に市街を築き築港を設け或は鐵道を敷設し鑛山採掘を企て其他諸般の計畫に最善を盡し以て青島をして東亞に於ける獨逸勢力の策源地たらん事を期した。然るに拮据經營十有六年の功を奏して青島の興隆は日に加り殷盛芝罘を凌駕し支那屈指の貿易港たるに至つた。所が大正三年八月歐洲戰亂の勃發するに及んで其影響は各洲に分布せる獨逸植民地に及び、遂に東洋に於ける獨逸根據地青島も戰亂の巷と化するに至つた。初め我國は局外中立の態度を取つて居たが獨逸の艦艇は頻りに東亞の海面に出沒し英國の海





青島櫻ヶ岡の櫻

上貿易は甚しき不安の状態となり我が海外貿易も亦障礙を受くること少くなかつた。加ふるに獨逸はその租借地である膠州灣の防備を嚴にし之れを以て東亞に於ける策源地根據地となすの風があつたから、かくては東洋の平和を破り日英同盟の目的を破壊するものであるとし、我が政府は八月五日最後通牒を獨逸に發し、要求するに東洋にある獨逸軍艦の武装を解除する事、膠州灣を支那に還附すべきことの二事を以てした。回答の期たる二十三日が経過するに及び獨逸に對する宣戰は發布され、ついで埃國とも國交の斷絶を見るに至つた。

海軍中將加藤友三郎の率ゐる第一艦隊は南洋方面に遊弋せる獨艦を撃滅するの任に當り、海軍中將加藤定吉を司令官とせる第二艦隊は攻圍軍司令官第十八師團長陸軍中將神尾光臣と協同作戰して膠州灣を攻撃した。この戰役では日本軍最初の飛行戰

も行はれたが、戰機熟するに及び海陸協同して總攻撃を開始し善戰一週間で十一月七日完全に青島を陥落せしめた。主將ワルデック以下守備兵は皆出で降り、多年獨逸の苦心經營した東洋第一の根據地は一朝にして我が軍の手に歸した。占領後我が國は獨逸經營の後をうけて公私各般の施設を一新し着々として經濟上の大發展を招徠して居る。我が國は始めから支那に還附するの目的であるといふ事を十分表明して居る位であるから、この地は日支兩國人交歡の地としても亦國交上至大の關係を有して居る。

**青島の位置地勢人口** 膠州灣は山東半島の西南部に位置し、支那本部から云へば恰も其腹部にあたる重要位置を占めて居る。灣は海西岬と團島岬とに抱かれ、灣内は東西南北各六哩の直徑を有し大船の出入碇泊に便である。始め獨逸がこの地を占領するや地域を青島區獨人のみの建築を許す、大鮑島區建築規則に依據せしめて支那人に建築を許したる市街臺西鎮區(現今に至るまで殆んど支那人のみの市街地域)埠頭區(大港小港に接続せる地域)等に分つて經營したのであるが、日本人は目下大鮑島區埠頭區に互つて商工業に従事し般盛なる都市を形成して居る。青島の人口は戰後内地人が蟄集した爲に半歳ならずして一



萬餘人を算するに至つた。最初の中は徒手空拳のもの多く一攫千金を夢みる

輩であつたが、漸次秩序回復すると同時に眞摯な邦人の來住も次第に數を増し、着實なる事業に従事するに至つた。現時邦人の數は約一萬五千に及んで居る。戦前戦後の支那人は不安の念に驅島られ一去一來の有様であつたが現時は眞面目な三の生計を營む支那人多く、其總數は二萬五千位の東ものである。其他に歐米人の居住者が約五百名町居るが其多くは獨人の婦女及小兒等である。



通 青島の貿易 青島の輸入外國品は多く外國からの直輸入大部分を占めて居る。其中の主要なるものには日本及印度綿絲、日英米の綿織物、獨逸産のアニリン染料、米露及びスマトラ産の石油、香港糖及び日本燐寸等であつて、輸入支那品の主なるものは麥粉、紙及木材類である。輸出品としてはたゞ農産製造物があるのみである。元來山東省は農業及畜産

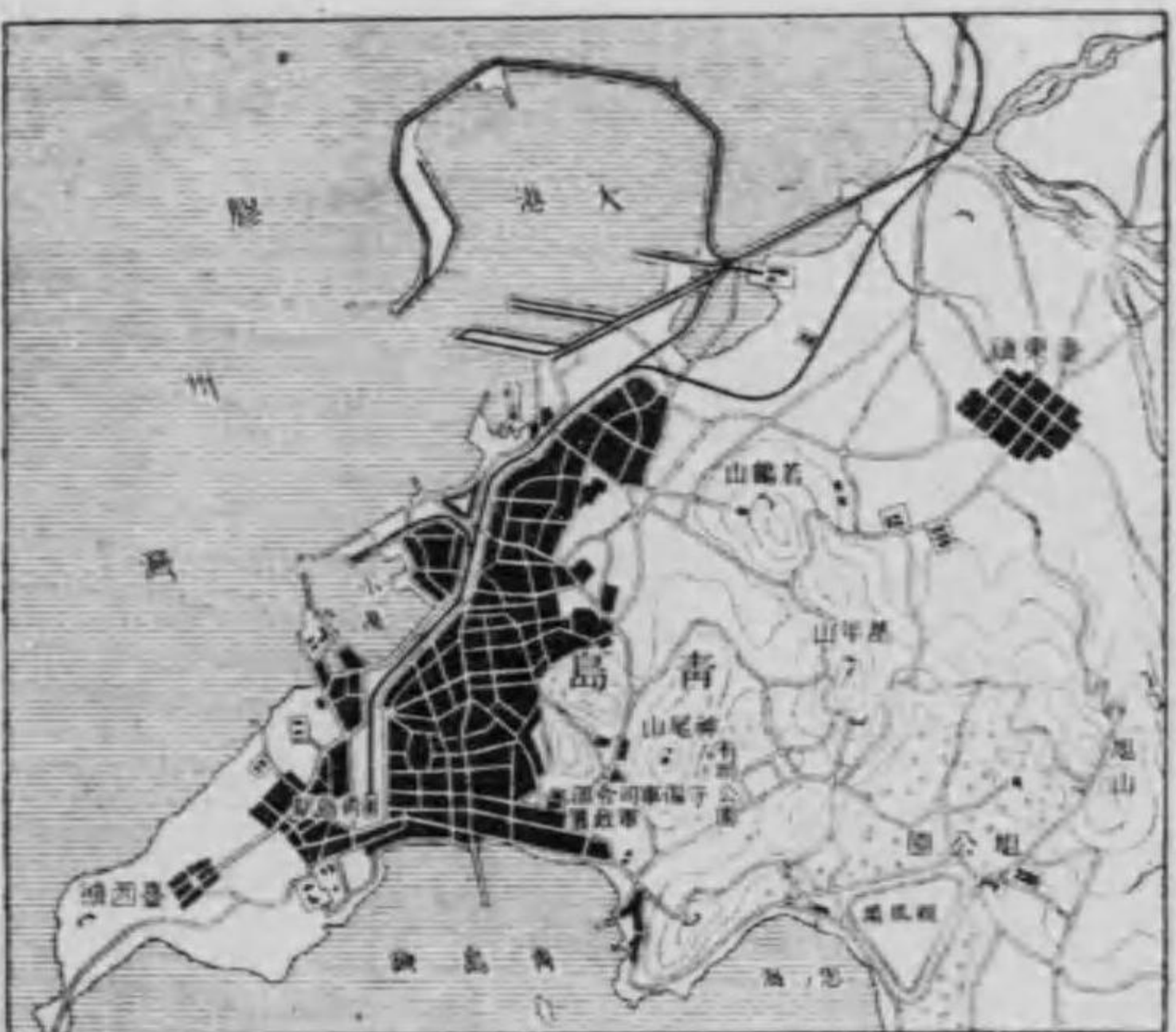
地として知られて居るのみで工業は昔から振はぬ。加工品としては僅かに麥稈、眞田豆油、豆粕、落花生油、牛油等の農産製造物があるばかりである。従て青島からの輸出品も多く原始約生産品であつて、其主なるものは麥稈、眞田落花生油類、絹布、生牛、牛皮、棉花、石炭、野菜、乾果類である。當地の貿易は日獨戦争の慘禍に遭つて一時杜絶の已むなきに立至つて居たが、戦争收まりて我が軍の占領に歸するや、再び港市を開放して自由貿易を許したから、忽ち杜絶せる貿易も復活して來て、日本各港及び大連、仁川、上海等から來る船舶の出入日を追うて繁く、其貿易は穩健なる發達を遂げ、今や一億圓に近き貿易額を見るやうになつた。

### 取扱上の注意

地理的用語 租借。港市。鐵道敷設。沿線。採掘。經營。

挿繪の解説 (一) 青島 この繪は軍司令部後方に當る八幡山(海拔八〇米)から山麓以西の青島市街及び臺西鎮までは膠州灣の入口を示せるものである。この畫面は現今日本人の手によつて發展し居る市街の僅かなる一部分を示すものであつて其全景ではない。寧ろこの畫の右方にあつて所謂大鮑島區、埠頭區と稱する本邦人の商工業活動地があるのである。畫面中央より稍々右方に薄





く時計塔の見えるのは山東鐵道の起點である青島停車場である。停車場から畫面の右邊に至る垂線上の殆んど中央に圓錐狀の黒屋根の見えるのは青島市民會であつて目下市民公衆の集會場娛樂場である。その又右方に高き錐形の屋根を有する建物の一團は青島憲兵隊であつて獨逸時代の警察署跡である。畫面の中央左右に長く通つて居る街路は大村町で、大村町の手に前に之れと並行せる街路は治徳町である。又大村町の中央から市民會前を通つて憲兵隊前に走れる街路は濱松通である。遠く市街地の向ふにあたつて丘上を走れる幾筋かの道路はこれ臺西鎮市街に至るものである。臺西鎮市街は即ちこの丘の向側にあるので、大要八幡山麓からは十五町餘ある。青島市街と海を隔て、海上一線を描けるは海西半島である。この半島の沿岸一帯も租借地であるから半島の中部薛家は

島には我が憲兵の派出所がある。海西半島と青島市街との間の海は膠州灣で灣口最も狭き所が二十七町半ある。畫面向つて左方の海は青島灣で、沿岸は舞鶴灣と稱し青島海水浴場の一である。  
**自働作業の指導** (一)膠州灣略圖を描かしむ。(二)青島に關する教授要項を彙類要約して筆記せしむ。(三)青島の將來に關し各自の所感を記述せしむ。  
**教辨物の指示** 亞細亞地圖。山東省地圖。膠州灣擴大圖。青島名勝繪葉書或は寫眞。

### 參考資料

#### 青島を起點又は寄港地とする航路

- |        |                  |
|--------|------------------|
| (航路名)  | (從事會社名)          |
| 大阪—青島線 | (日本郵船大阪商船原田商行)   |
| 仁川—青島線 | (朝鮮郵船株式會社)       |
| 大連—青島線 | (永田汽船會社大連汽船株式會社) |
| 大連—上海線 | (南滿鐵道株式會社)       |
| 大連—香港線 | (同 右)            |



打狗——天津線 (大阪商船株式会社)  
 青島——上海船 (大連汽船株式会社)  
 膠州灣内航路 (東阜行)  
 海州航路 (大連汽船株式会社)

青島だより

拜啓其後打絶えて御無沙汰申譯無之候。小生事本年四月縣より推薦されて當民政署管下の表記小學校に奉職仕り爾後已に半歳を経過仕り候事とて幾分青島に關する理解を得當今にては青島生活にも馴れ申候。地理上の事柄に關しては十分に御研究の事なれば當地の狀況に就ても既に御知悉の御事とは存じ候へども聊か小生の鈍き眼に映じたる事ども無系統に申述べ御笑覽に供すべく候。青島の第一印象は獨逸時代建設の家屋の美麗なる事に御座候。故國を離れて三日間、厭き疲れたる航行の末、船が青島港内に入りたる際にはたゞ見る海岸一面の獨逸家屋は實に美觀を感じ申候。朱瓦白壁しかも高壯なる建築を眺めたる時は誰か獨逸文化の特色を感じせざる者の候ふべき。而して四月初めに獨逸式家屋美は五月六月に入りて更に其美を加へ申候。そは家屋を包む胡藤の次第に綠を加へ候故に候。次には支那勞働者即ち苦力の不潔さに御座候。小生初めは苦力の人力車には得乗らざる程に不潔と惡臭を感じ申候。車夫の多きにも亦一驚致し候。市内二千臺以上も



青島舞鶴濱の一部分

有之申可く賃金の廉きを以て市内交通の全權を握れりといふも過言にあらず、他に交通機關としては百臺内外の自動車あるのみに候。小生等の一般日本人の歩行せるを見れば附近の車は争つて之れを取り捲き乗車を迫り申候。其競争の物凄さまるで飢ゑたる數人の一食を争ふが如く喧々騒々盛んなるものに候。されど一度乗客が或一臺を指定するや今迄の激烈なる競争は全く火を消したる如く相成候。これ支那人の民族性にて彼等はかくも物事に執着心なく、直に運命とあきらめるなるべく、これ支那人に敵討なく情死なく且つ又易簣といふ事實の今も行はれる所以と信じ候。更に又支那の社會が社會的結合なく個人的なる事實をも表現し居るものとも見るを得べく候。要するに青島の支那人は支那全部より見れば極めて小なるものなれどもこの盆水にもよく大海の波相を窺ひ得る譯にて支那民族の個人的なること人にも物にも過去にも將來にも執着のなき性情を知られ申候。

今や青島には日に月に日本内地の大會社大工場の支店出張所設立せられ日一日と殷盛に



赴き居候。日本人設立の建築物外見は如何にも堂々たるものに候へども近よりて見れば御多分に洩れず間に合はせのもの多きは擴張の今日としては設方もこれなきものに候や。銀相場高きを以て物價は高價に候。されど食料品は割合に廉く鮮米四十圓内外、上海米三十圓内外、ロース二十五錢、白砂糖十八錢、卵二錢五厘位に御座候。支那人約二萬五千内地人一萬五千、歐米人約五百、内地人小學兒童約千五百有之、第一尋常高等小學校九百、第二の方は六百に候。山東の地は石炭と落花生と唐芋小麥を以て重要な産物と致し候。青島は御承知の通り商港としては到底大連、上海の比にあらず、將來は必ず附近の豊かなる石炭を利用して諸種の工業勃興する事と存じ候。現に豊裕なる山東の鶏卵を利用して製粉會社、山東小麥よりする製粉會社、膠州灣一帶の製鹽業、山東沿線博山、玻璃陶磁器製造業等將來有望のものとなし及び候。内地の資本家は何を苦んで多くの税を拂ひながら内地にて工業をなすか、須らく速に來りて無税の地にて無限の原料を擁して國家のため事業を興さる。眞に青島は我が國民の工業地として好適の所かと存じ候。まだ、申上度事有之候へども十枚の繪葉書已に書き盡し候。依て後便にて補ひ申すべく亂筆亂文御判讀願上候。

大正七年十月七日

青島第二小學校 吉賀徳次郎

終りに

我が校にて職員合作にて青島紹介の目的を以て青島數へ歌を作り兒童にも教へ又社會

にも發表致し居候。御笑草までに記載致し置可く候。

- 一つとや 日の丸輝く青島は、 氣候のどかに土地清し
- 二つとや 史あまの上にも著き、 泰山曲阜も程近し
- 三つとや 港もよければ汽車もよし、 貿易一億餘萬圓
- 四つとや 世にも名高き旭園、 櫻の花に忠魂碑
- 五つとや 幾世變らぬ加藤島、 舞鶴濱の眺めよし
- 六つとや 昔を語る神尾山、 鷺のむくろに日本文字やまともじ
- 七つとや 夏はアカシヤ緑して、 浴あふに賑ふ忠の海
- 八つとや 山繭白菜梨卵、 鹽に石炭鐵と牛
- 九つとや 工場多きは臺東鎮、 釣舟浮ぶは臺西鎮
- 十とや 東洋平和の礎を、 築くや同胞二萬人

(丙) 滿洲

敷衍及附説事項

滿洲の區分人口 滿洲は支那人の所謂東三省の地である。東三省とは奉天・吉林・黑龍江の三省を總稱するものであるが、近時に至りては更に滿洲の地を南北



に分つて南滿洲北滿洲の稱がある。しかし其境界區分は判然として居らぬ。又滿洲の面積は正確の所は分らぬが推定面積は奉天省が一萬四千二十九方里、吉林省が一萬六千七百七十六方里、黒龍江省はすつと廣くて三萬四千六百七十七方里、合計六萬七千四百八十二方里といふ事になる。人口も確とは分らぬが大體の推斷によると奉天省千六百六十萬人、吉林省に五百六十萬人、黒龍江省二百萬人、合計千九百二十萬人に及んで居る。其内漢人種は千八百萬人に達し滿洲人は九十六萬人に過ぎぬ。これ畢竟清朝に於ける漢人移住の奨励と、一つには滿漢兩民族が人文發達上の優勝劣敗から、逐次滿洲人は漢人種に壓迫せられ次第に衰微するに至つたものとも考へられる。南滿洲では主要なる都市が大概開放せられたがために我が國人の在留するものは日に増加し今や内地人五萬餘、我が朝鮮人二十餘萬人の多きに及んで居る。南滿洲に日本人が勢力を占めて居るに對し北滿洲はロシア人の移住多く各種の事業に従事して經營大に、つとめて居る。

**滿洲の地勢と氣候** 滿洲の西部に連互せる大山脈は崑崙山系統に屬する大興安嶺山脈で、北部には小興安嶺之れと殆んど直角に相交り、滿洲の東南部には朝



奉天小西門

鮮との境上を東北から西南にかけて長白山脈が走つて居る。かく滿洲の地は東北西の三方山脈を以て圍繞せられ、其間に滿洲の大平原を抱いて居る。北方シベリヤとの境を流れ、北滿洲を北流する松花江を合する大河に黒龍江がある。又滿洲平原を南流して遼東灣に注ぐ大河に遼河がある。又朝鮮との境上には鴨綠江が走つて居る。これ等の河川中松花江遼河の流域は沃野最もよく開け、産物多く従つて戸口稠密に滿洲の主要なる地區をなして居る。滿洲は西南の沿海地方を除いては大部分大陸性の氣候であつて寒暑の差が著しい。又晝夜の温度も變化が多い。若し緯度上から滿洲の地を我が國に比較して見る時は、旅順は我が山形に、奉天は函館と略々同緯度である。併しながら旅順の冬は到底山形の比ではなく、函館の冬は奉天よりも遙かに暖い。蓋し滿洲の内地は海岸よりの距離遠く海洋の影響



を受ける事がないために、冬季に至れば一帯の土地は温度を失ひて次第に冷却し遂に地下數尺も凍結するに至るからである。寒冷と雪とは内地人の聯想する所であるが、併し滿洲の地には雨雪量は少い、所謂乾きたる寒冷である。又夏季に於ては土地は水よりも熱量を受ける事が多いために次第に熱せられて所謂焦熱する如き暑さを感じるのである。

#### 滿洲の産業と貿易

滿洲は土地廣大なるために各種の産物が産出せられる。

其内最も多額なのは農産物で、林産物、遼河、松花江の流域平野は土地肥沃であつて農耕の業に適して居るが、併し人煙稀少の爲に未だ十分に開墾利用せられて居らぬ。而して其農法も粗放農業であつて將來集約農業を實施するに至れば更に著しく産額の増加を見る事が出来る。滿洲の農業は南北の滿洲にて多少の相違がある。即ち北滿洲は小麥の産出多く従つて製粉業が盛んに行はれるが、南滿洲の方では高粱大豆の産出夥しく、従つて豆油、豆粕製造が盛大である。其他柞蠶、煙草の産出も近時次第に産額を増して居る。小麥粉を原料とする麥粉製造は北部の哈爾濱に多く行はれる。又大豆、豆粕、豆油は大連や營口から各國に輸出されるが、今日の所豆油はアメリカ輸

出が其大部分を占め豆粕は多く我が國に輸送される。大正六年度の我が國輸入豆粕は大連より二千九百一十一萬圓、支那から一千九十一萬圓餘を輸入して居る。又大豆は同年度に於て大連より百九十一萬圓、支那から三百九十三萬圓餘を我が國に輸入してゐる。(二)畜産物 北部及東部の原野地方には馬、驢、馬、山羊、綿羊、豚等の飼育が行はれる。又家畜ではないが滿洲の山地に在む虎、豹、狼、熊等の猛獸の毛皮は防寒用材料として滿洲主要の産物になつて居る。(三)林産物 滿洲は到る處に鬱蒼たる樹林があるが、殊に有名なのは鴨綠江畔と、松花江上流地方とである。伐截せるものは松花江又は鴨綠江を下して沿岸の需要地或は下流の製材所に輸送するのである。交通機關の漸次完備と共に次第に内地方の材木が伐出される様になる。鴨綠江岸の伐木は我が國人と支那人との共同經營である。(四)鑛産物 滿洲の地には金、鐵、石炭の埋藏豊富なりと云はれて居るが、今日の所最も多く採掘せられるのは石炭である。かの撫順炭坑、本溪湖の方は殊に有名なるもので、撫順炭坑は全く我が國の採掘坑に屬し、本溪湖の方は日支共同の經營である。撫順炭坑は以前東清鐵道會社の附帶事業として、露國の經營せる者であつたが、日露戰爭の結果我が國の獲得する所となり、今や南滿鐵



道會社の手によつて開掘されて居る。炭田は渾河の南方に位し坑區東西の延



撫順炭坑大山坑

長十哩、炭層の厚さ最薄七十八尺から最厚二百八十尺に及び平均百三十尺であつて炭層中の夾雜物少く、一日七千噸の出炭力を有する東洋冠絶の大炭坑である。本溪湖は一時疲弊せるを明治三十九年一月大倉組の手によつて開坑し、爾來日支合辦の事業として採炭せるものであつて出炭高一年に三十萬噸を超えて居る。炭區は本溪湖市街の東北端から鐵道線路を横斷して南西に走り面積千百五十六萬坪に達して居る。炭質は亞無煙炭若しくは半無煙炭で最も製鐵用に適し又コークス製造に宜しい。(五)水産物 我が租借地の沿岸に製鹽業の盛んな事は關東州の所で詳述した通りであるが、それ以北の海岸ではあまり盛んでない。

滿洲の産業は以上述べた如き現状であるが、惟ふに滿洲は商業地として多大の

望を屬する事は出來ぬが、豊富なる原料品を利用して工業を興さば必ず有利の事であらう。高粱酒製造の如き、豆油を原料とする石鹼製造の如き、葉煙草製造の如き、燐寸、柞蠶絲製造の如き、何れも土地に適する事業である。將來吉寧線の開通を見る様になれば滿洲の富の大部分を占めて居ると云はれて居る吉林省の貨物が一層容易に供給される事になるから、北滿洲では長春が製造工業の中心をなし、南滿洲の大連と相呼應して發達する事であらう。

滿洲の交通 南滿洲鐵道は大連を起點とし、長春で東支鐵道に聯絡して居る。途中奉天では支線の安奉線を岐ち、支那の京奉線と相合して居る。東支線は長春から北走して哈爾濱驛に至り、此處から東走するものは浦鹽に至り、西走するものは西方カイダロボでシベリヤ鐵道に合して居る。南滿洲鐵道は日露戦争の結果露國より譲り受けたものであつて、其延長は長春から大連まで四百三十七哩に及び、支線として臭水子驛から旅順に至る旅順線、大石橋から營口までの營口線、蘇家屯から撫順までの撫順線を岐つて居る。南滿洲線は奉天から安東縣まで百八十八哩に互る安奉線と共に我が滿洲經營上最も必要な鐵道である。



滿洲の都邑

(一)營口

遼河口を溯ること十三哩半にある都邑である。この地



奉天城内田平街

治的中心都市であつて滿洲の主宰たるべき中華民國督軍及び省長の駐劄地である。南滿洲の奉天驛は西一里許のところにある。此地より安東縣に通ずる

は一に牛莊とも云はれ南滿洲に於ける重要な貿易港であつて、豆類、豆粕、豆油等を輸出する。安東縣未だ開港せられず、大連港今日の如く隆盛でなかつた當時には、營口は南滿洲唯一の貿易港であつたが、今は却つて大連に其勢力を奪はれた感がある。(二)遼陽 滿洲最古の城市であつて市街は四周に城壁を繞らして居る。この地交通の要衝に當り又附近物貨の集散地として知られ、又日露戰役に於ける激戰地として世に有名である。(三)奉天 清祖發祥の地であつて滿洲第一の都邑である。市街は四周に堅固なる城壁をめぐらし中に繁盛なる商業地がある。この地は滿洲の政

鐵道もあれば又北京に通ずる鐵道もあつて、交通至便に物貨の集散にも便利である。(四)安東 鴨綠江の下流にある貿易港であつて、朝鮮の新義州とは鐵橋一つを隔て、相對して居る。安東縣は木材、大豆の中心市場であつて在留邦人も尠くない。(五)長春 我が南滿洲鐵道の北端驛であつてこの地より吉長鐵道を岐ち、東支線と相接続して居る。市街の附近は大豆、麥、煙草の産地であつて、長春は物貨の豊富なる吉林省を控へて居るから物貨の集散多く、商業盛んに諸種の製造工業興らんとしつゝある。(六)哈爾濱 この地もと北滿の一寒村に過ぎなかつたのであるが、明治三十年露國が東清鐵道を敷設するに及び哈爾濱は北滿洲に於ける策源地として市街を建設し大停車場を設け、以て旅順線と浦鹽線との分岐點としたのである。この地も附近に肥沃なる平野を控へ、其位置水陸交通の要衝に當つて居るから長春と共に將來益々有望の地である。この地に我が總領事館が置かれてある。

取扱上の注意

地理的用語

在留。採掘。炭坑。起點。幹線。滿洲の門戸。

挿繪の解説

(一)撫順炭坑 撫順炭坑古城子露天掘の光景である。露天掘は圖



に見るやうに別段坑道を設けず、次第に掘り擴げて其鑛區を作る者であつて、坑内は段階状をなし、各段ごとに礫石を鑿ち取りて之れをトロッコに滿載し坑外に運び出すものである。撫順炭坑は此處に示す露天掘のみではない。一たい撫順炭坑とは千金寨楊柏堡老虎臺の三箇村に互る總ての炭坑を總稱するものであつて、日露戦争後我が國がこの炭坑を獲得するや大山東郷の二大堅坑を開鑿し、ついで萬達屋に斜坑一箇所を開鑿し、同時に古城子に露天掘を開始せるものであつて、現今の採炭量は一日七千噸に餘つて居る。(二)遼河の下流 遼河は源を内蒙古に發し、途中幾多の支流を合せて營口に至り始めて朝するものであつて、舟楫の便があるのは本流の鄭家屯營口の千五百二十支里と、支流太子河及び渾河の各四百支里とである。遼河流域地方の産物は河によつて營口に輸出され、同時に各地の輸入貨物も亦之等の水運を利用して各内地に分散せられるのである。かく遼河は交通運輸の上に利便する所極めて大であるが、併し年々上流から土砂を流し河底を埋め各所に淺瀬を作り航行を阻害することのあるは残念である。又重要貨物の輸送期である冬季四箇月間氷結して交通が杜絶するのは大缺點である。埠頭は即ち一帯の河岸であつて、營口附近では水深三

十呎からあるが、下流に淺瀬があるので吃水十七呎内外の船舶は高潮を待つのでなくば進航する事が出来ぬ。最近の統計によると遼河下流の埠頭に寄港した汽船は六百三十隻戎克船の寄港三千七百隻を算し其貿易額は七千萬圓に達して居る。大連繁榮の今日と雖も遼河河港は尙未だ滿洲貿易の一大商港たるの地位を失はぬ。實に營口の生命はこの遼河にあるといつてよい。

自働作業の指導 (一)滿洲の略圖を描かしむ。(二)滿洲の總面積と我が國の總面積とを比較測定せしむ。(三)大連より長春に至る哩數及び所要時間數を概算せしむ。(四)將來滿洲の開拓に關し所感を記述せしむ。

教辨物の指示 滿洲地圖。滿洲炭坑分布圖。最近數年間に於ける撫順炭産額表。滿洲に於ける日本人分布表。高粱撫順炭・豆粕・豆油の標本。撫順炭坑・遼河・遼陽營口・安東縣奉天・哈爾濱等の名勝繪葉書及び寫眞。滿洲風俗寫眞。

參考資料

滿洲主要農産物 (天正四年四月調) (單位は日本の石、棉花葉煙草は貫)

種類

奉天省

吉林省

黑龍江省

高粱

二・一・三・一・九一三

一・二・八・八・七・八・六・七

四〇六六七三五

第八 アシヤ洲

三四五



地理教材の敷設と附説

地 方	戸 数		日 本 人	支 那 人	計
	日 本 人	支 那 人			
粟	一一・二二〇・三九六	一一・五八三・二九二	二二・八〇三	九五・一六六	一二四・六六六
大豆	一〇・五七四・五八七	六・八一二・五七〇	一六・三八七	九八・七八七	一二四・一六四
小豆	七・八九二・〇〇〇	六・九六四・〇〇〇	一三・八五六	八四・二二〇	九八・〇七六
小麦	三・四六・一一四	二・二〇九・七〇九	五・六七〇	八四・二二〇	九八・八九〇
大麦	三・四六・一一四	七・三四九・九六五	一一・八一三	一一〇・八六〇	一二二・六七三
玉蜀黍	六・一九〇・九四五	二・五七二・〇五三	九・七六三	一一〇・九八二	一二二・七四五
棉花	三・九四一・七二〇	—	—	—	—
葉煙葉	二・三九五・二〇〇	二・四九三・五七〇	四・八四八	一一〇・九八二	一二二・九三〇

南滿洲戸数及人口 (大正五年末現在)

地 方	戸 数		日 本 人	支 那 人	計
	日 本 人	支 那 人			
旅順	二・四二九	一・四三〇	三・八五九	九五・一六六	九九・〇二五
大連	一〇・五五〇	一・五五二	一二・一〇二	九八・七八七	一一〇・八八九
關東州	—	—	—	—	—
金州	二・一九	二・四七	四・六六	八四・二二〇	八八・八八〇
普蘭店	一・七	一・三三	三・〇三	一一〇・八六〇	一一二・八九〇
貔子窩	—	—	—	—	—

地 方	戸 数		日 本 人	支 那 人	計
	日 本 人	支 那 人			
管口	七六八	二〇	二・六五二	九九	二・七五一
瓦房店	六五六	六四一	二・一四九	三・三三三	五・四八二
大石橋	六三七	三三三	二・一四五	一・九七〇	四・一二五
遼陽	一・一五一	二九〇	三・九三三	一・九七四	五・九〇七
奉天	二・二二一	四一	八・三三六	三・五七九	一一・九一五
本溪湖	一・二二九	九〇	三・八六六	三・六	四・二五七
撫順	二・一八三	五二五	八・二〇二	一・六九三	一〇・八九五
鐵嶺	一・二一八	三三五	三・三四九	九七七	四・三二六
開原	五二七	一一三	一・六六九	一〇・二二五	一二・八九四
長春	一・四三〇	一・三二九	四・七三三	一・四九九	六・二三二
四平街	三二一	七三〇	一・〇〇九	五・四三九	六・四四八
公主嶺	六五三	八六四	二・二一九	六・〇七	八・二八六
安東	二・三〇五	二・三〇五	八・六二〇	一・七八四	一〇・四〇四
總計	二八・五〇〇	七八・二六六	一〇〇・四六〇	五五〇・四〇一	六五〇・八六一
大正四年末	二七・二二六	七五・六八三	九八・五五六	五三〇・八〇九	六四九・六八九
大正三年末	二五・〇八八	七三・〇三四	八二・一八九	五三四・六八一	六〇七・八二三

本表は關東廳の管轄区域内即ち關東州及び南滿洲鐵道附屬地に於ける戸口の總數を一覽せんが爲めに調製したるものなれども營口・遼陽奉天鐵嶺長春安東の中には帝國領事



館の管轄区域内に在住せる日本人の戸口数を合算し以て南滿洲に於ける日本人の總戸数を見るに便す。支那人の欄△印を印せるは外國人の計數なり。

(丁) 蒙古(我が國と支那との關係)

敷衍及附說事項

蒙古の地勢産業 蒙古はゴビ沙漠を境域として東南を内蒙古、北西を外蒙古と謂ふ。地勢は一般に小丘が波狀をなせる大平原であつて、東方に進めば丘陵南北に連互し所謂大興安嶺山脈をなすが併し其の最高部も海拔四千尺に過ぎぬ。其の山麓及び溪谷は即ち東蒙の沃野であつて牧畜が盛んに行はれ、又小麦玉蜀黍の産物がある。沙漠は全く不毛の地であつて開墾の見込は全くない。域内には南方に黄河の一部が流通するの外、河流の大なるものはない。氣候は純然たる大陸性の氣候であつて寒暑の差が著しい。住民はかつては英傑成吉思汗に従ひ歐亞を蹂躪した慍悍の蒙古族であるが、今は全く衰へて昔の面影はなくなつた。徒らに水草を追うて轉々漂々たる遊牧の民と化して居る。僅かに性質勇悍にして善く勞働に堪へる事がこの民族の特徴とする所である。

牧畜は蒙古人唯一の本業であつて羊牛馬は彼等終身の伴侶である。又交通運輸に駱駝を使用する事も行はれる。耕作は牧畜の副業として行はれるのであるからあまり振はぬ。しかし地味は全く不毛の地もないが、所によると十分開墾の見込のある所もある。しかし永き習慣の惰性で耕作に従事しようとするものが無い。近時漢人種の移住するもの漸次多きにつれて農作地の開墾がこれ等の人民によつてだん／＼多くなつて來て居る。鑛業は今日の所未だ盛んではないが、金・曹達鹽・銀・石炭の産出は採掘の方法さへ整へば必ずしも有望でないとは言ひ難い。現に曹達は東蒙古一帯の地に産出せぬ所は無い程で、鹽は所々の鹹湖に天然に結晶し其産額無盡藏の稱がある。

主要輸入品としては綿布・茶・火酒・砂糖・燐寸・小麦・雜穀・煙草・食器・佛像・佛具・被服・馬具等であつて、輸出品としては牛・馬・羊・獸皮・獸毛・乳油・鹽・曹達等である。

我が國と支那との關係 我が國と支那とが歴史的に如何なる關係あるかは茲に冗説するの必要を見ぬ。かの東洋の平和保全を目的とした日露戦争が端なくも支那の地に於て演出され、この戦争の結果露國が支那の地で有つて居た各種の利權を擧げて我が國の手中に收むる事になつて一層日支の關係は密接に



なつた。爾後我が國人の支那に移住するもの次第に其數を加へ、租借地は云ふに及ばず、滿洲の地に於ても將た支那本部に於ても鑛業工業に我が國人の關係せるものが少くない。貿易も年一年と其額を加へ、大正六年度に於ては輸出三億一千八百三十八萬圓餘、輸入一億三千三百二十七萬圓餘であつて、支那は我が國にとつては最もよい華客である。輸入品の主なるものは大豆、豆粕、綿羊毛であつて、大豆は大正六年度に於て三百九十三萬六千圓を輸入し、豆粕は一千九十一萬圓餘、綿は三千二十九萬圓餘、羊毛は百十九萬圓餘を輸入して居る。輸出品としては綿絲、銅、石炭、マツチ水産物等であつて、大正六年度に於ける輸出額は綿絲八千五百八十萬圓餘、銅百八十三萬圓餘、石炭九百七十三萬圓餘、マツチ四百八萬圓餘、鰯、乾鱈、鹽鱈、海參、乾蝦等の水産物を多額に輸出して居る。

### 取扱上の注意

地理的用語 沙漠。水草を追ひて、牧畜に従事。栽培。租借。自働作業の指導 (一) 古來我が國と支那と如何なる關係ありしかを事實について列記せしむ。(二) 對支貿易一覽表を作製せしむ。教辨物の指示 支那全國 日本貿易圖表。蒙古の風俗寫眞又は繪畫。

### 參考資料

#### 日支條約(大正四年五月締結)南滿洲及東部內蒙古に關する條約

- 第一條 兩締約國は旅順大連の租借期限並南滿洲鐵道及安東鐵道に關する期限を何れも九十九箇年に延長すべき事を約す。
- 第二條 日本國臣民は南滿洲に於て各種商工業上の建物を建設する爲又は農業を經營するため必要なる土地を商租することを得。
- 第三條 日本國臣民は南滿洲に於て自由に居住往來し、各種の商工業其の他の業務に従事する事を得。
- 第四條 日本國臣民が東部內蒙古に於て支那國國民と合辦に依り農業及附隨工業の經營を爲さんとするときは支那國政府之を承認すべし。
- 第五條 (省略)
- 第六條 支那國政府は成るべく速に外國人の居住貿易の爲自ら進みて東部內蒙古に於ける適當なる諸都市を開放すべき事を約す。
- 第七條 第八條 第九條 (省略)

### 三、シベリヤ



## 教授の主眼

シベリヤは我が領土に近接し、從來とても相關係する所多かつたのであるが、特に大正七年八月我が國のシベリヤ出兵等のため國際上密接の交渉を生じ、從つて經濟上にも幾多の關係を及ぼす様になつた。故にこの地の事情を明らかにし、特に産業状態について知らしめ、將來國民雄飛の場所としての會得を與へるやうにせねばならぬ。

## 敷衍及附説事項

**シベリヤの領域と人口** シベリヤは其面積八十一萬方里あるから大約我が國に十九倍する領域を有する事になる。併し人口は九百六十萬に過ぎぬから之れを我が國人口と比較すると約七分の一になる。して見るとこの地の人口密度が如何に小であるか分る。シベリヤは行政上西部シベリヤ、東部シベリヤ、アムル沿海地方の三部に區分して居る。近時ロシア本國が紛争状態にあるを以てシベリヤではオムスクに別に全露政府を設け、以てシベリヤの地を統治して居る。シベリヤの地は我が國と位置相逼り、殊に朝鮮樺太に於ては其境を接し、又シベリヤ鐵道は東支鐵道を経て我が南滿洲鐵道と相接續して居る有様で

あるから、從つて我が國との勢力圏は到る處に接觸し、ために外交上、交通上、通商上に幾多の問題を惹起し、其關係が近時特に繁多である。

**シベリアの地勢** シベリヤの地勢は南が高く、北に向つて次第に低くなつて居る。從つて河は大抵北流して居る。たゞ一の例外として黒龍江のみは山岳帯の間を縫うて東流し、オホーツク海に注いで居る。シベリヤの地勢は大體これを四部に分つことが出来る。即ち最南部の高地帯、これに續き北方の草原帯、其北に隣る森林帯、最北部の凍地帯である。産業も亦これ等地勢の相違に相伴つて居る。(一) **高地帯** 最南部の山岳又は高臺地方であつて、支那との境上にはアルタイ山脈連立し、東部にはヤプロノイ山脈連立り、日本海岸にも別に山脈が走つて居る。山脈の中には有名なバイカル湖がある。この湖は最深部は水面以下約千五百米に及び、世界最深湖の稱がある。其面積も頗る廣く我が臺灣島を蓋にするに丁度一ばいになる位である。この山地帯には鑛物の埋藏が多い。(二) **草原帯** 高地帯の北には廣大なる平原が続いて居る。殊に西部地方には最もよく草原が發達して居る。この西部平原の南の方には地味肥沃であつて農牧の業に適し、西比利亞の穀倉とさへ稱せられる地方がある。主産物は麥で豆類馬



鈴薯がこれについて居る。

(三) 森林帯 中部以南の地には鬱蒼たる森林が打續

いて居る。かのウスリー鐵道やアムール鐵道などの沿線は亭々として空に聳ゆる森林中を汽車が駛走して居る。潤葉樹もあるが主としては針葉樹の密林である。(四) 凍地帯 この地方は一年の大部分は地中の深い所まで凍結し僅かに夏季に於て表面の方が融けて、其上に小さい苔が生えるばかりである。冬季に於ては一面が積雪に掩はれ水と陸との區別がはつきりとつかぬ程である。



我が出征兵士の薪材運搬

明する事にする。しかし教授に際しては區分せなくて關係的にまとめて話せばよい。(一) 鑛業 シベリヤ將來の發展は鑛業にあるとさへ言はれて居る。今

日調査の手の届いて居るのは比較的人煙の稠密な南部の鐵道沿線や河流の沿岸地方であるが、到る處多大の鑛物が埋藏されて居るといふ報告がある。鑛産は金・銀・銅・鐵・鉛・亜鉛・白金・石炭・タングステン等であるが、中でも金は鑛産中の第一位を占めて居る。金は砂金を首とし金鑛が到る處にあるが就中豊富なのはレナ河の上中流地方で、又黒龍江沿岸にも砂金の中心地がある。黒龍江の一部では土人が砂金帯を踏み歩く場合、その靴底が濡れてゐればそれに附着した砂の中だけでも優に二百圓以上の砂金を含んで居るといふが、これは固より誇大に失した一の作話に過ぎぬ。金鑛もあるが近時は採金業者は砂金の採取が容易なので未だ鑛山に手を觸れないといふ。鐵鑛も到る處に豊富でオリガ灣頭に遠からず世界有数の製鐵所が出来るだらうと唱道する露國技師もある。石炭の埋藏も多く殊に沿海州の鑛量は他地方に秀で、居る。たゞ品質が悪いのと資本に乏しく交通不便なために發達しない。(二) 農業 地方によつて肥瘠を異にして居るが、まづ西部シベリヤは大體土地が豊穰で東部地方は稍々劣つて居る。氣候が寒いために作物の生育を阻害する事は多大であるが、又土地が新しいために肥料なくして生育する。産物は寒氣に堪へ得る作物で麥・豆類・馬鈴



薯等が主なるものである。農耕時期の短い事は我が樺太の如くで農業者の不便とする所である。牧畜の盛んなのはザバイカル地方で、蒙古に近接せる西南部を中心として盛んに行はれる。(三)漁業 東海岸地方の漁業は最も殷盛であるが、かく沿岸漁業を發展せしめたのは邦人の力が與つて多大である。現に日露漁業條約に基いて沿岸漁業に従事して居る日本人は最も優勢を占めて居る。沿海州附近の主なる魚族は鱈で、期節になると非常な大群をなして回游して來る。鮭鱒も多いが又蟹蝦も少くない。内地河湖の漁業としては黒龍江の鮭鱒で主なる需要者は日本市場である。カムチャツカ地方の漁場は魚族の豊富な事は殆んど無盡藏である。由來同半島は氣候風土の關係上農業の發達なく漁業を以て同州の一大財源として居るので、此地に州廳を設置したのも亦これが爲である。

上述せる如くシベリヤは天與の富源に富んで居る。故にこの富源を開發し更に之を利用して行けば測るべからざる利益があらう。かくシベリヤの經濟的價値に着眼し最も機敏に活動したのは獨逸である。獨逸は戰前早くも資本を入れ技師を派遣し、鑛業其他を經營し、或は原料を自國に輸入し、或は製品を賣込

みなどした。獨逸人退去後のシベリヤは一時日用品にすら困つたと云ふを見ても彼等が如何に根柢深き力を有したか分る。米國も沿海州で金鑛を經營し巨額の利益を得て居るが、革命以來多數の學者實業者を同地に派遣し研究調査に従事して居る。我が國は地理的關係に於てこれ等の國に優越して居る。よつて今後これに向つて資本と技術、學術と經驗を供給し、以て無盡の富源を開拓し巨大の寶庫を開發せねばならぬ。シベリヤに比すれば寧ろ極北に位する米國のアラスカすらも、米人の努力を以て今や莫大の富を生産しつつある。シベリヤの酷寒を想うて富源の開發に躊躇する如きは日本人として米人に恥ぢなければならぬ。此時此際我が國の資本家が蹶起してシベリヤの天地に活動せん事を切望して止まぬ。

シベリヤの都邑交通 シベリヤの都邑は他國の都邑とは大變な相違で僅か五六十の人家から成つて居てもこれを都邑といふ場合がある。これ等は重に行政の中心であつたり宿驛の關係からして都會の名が冠せられるのである。シベリヤ鐵道沿線附近の都邑には浦鹽の外に、シベリア政府の首府たるオムスク及びトムスク、イルクーツク等がある。何れも鐵道沿線にあり、又大體物資の裕



かな西部シベリヤにあるのは注意すべき事である。シベリヤ鐵道の通つて居るあたりはシベリヤで最も開拓された地方で都邑といふ都邑は大抵この沿線にある。シベリヤ鐵道は千八百九十一年五月(明治二十四年)浦鹽斯德で起工式



があつてから爾後十ヶ年を経過した明治三十四年に於て開通せるものであつて現時は全線複線になつて居る。この鐵道は歐羅巴ロシアから來て人文の最も開けた西部シベリヤを東西に貫き、バイカル湖を迂回して黒龍江の流域に出で浦鹽斯德に通じて居る。又支線は東支鐵道に連絡し我が南滿洲鐵道と接続して完全に歐亞を連絡して居る。シベリヤ鐵道の起點たる浦鹽斯德はシベリヤ第一の開港場であつて又軍港を兼ねて居る。灣内は冬季凍結するの憾はあるが碎氷船の設けもあれば、又其他港としての施設も整つて居るから船艦の碇泊に便である。浦鹽斯德と我が敦賀の間には大阪商船會社及びロシアの義勇艦隊船の航路があつて

二十二時間を以て達することが出来る。イルクーツクはバイカル湖の西方にある都邑で商業の中心をなし、トムスクは西部シベリヤの都邑で大學博物館の設備もある。又オムスクはシベリア政府の所在地であつて、近時著しく膨脹發展せる都市である。

### 取扱上の注意

地理的用語 海峡。地味。沿海。漁場。出漁。軍港。商港。定期航海。起點鐵道幹線。沿線。

挿繪の解説 (一)浦鹽斯德港 この繪は金角港を隔て、浦鹽の市街を遠望したる所を描いたものである。市街は後方の山に倚り階段狀に發展して漸次中腹及び山上にまで及んで居る。挿繪はよくこの状態を示し、向つて左方の山には大小の家屋が相接して山腹を埋めて居る。金角港の入り口には露人島が横はつて本土との間に東ボスボロス海峡をなして居る。金角港は港内廣濶であつて四五千噸の汽船は優に六十隻を泊し得ると云ふ。此港から我が國の敦賀へは五百哩あつて定期航海の便がある。我が國からは穀物、織物、陶磁器、石炭などを輸入する。



**自働作業の指導** (一) 敦賀浦鹽間の距離及び航行時間を測定せしむ。(二) 浦鹽を經由しシベリヤ線によつて我が東京から露都ベトログラードに到るには大約何日を要するかを概算せしむ。(三) シベリヤの略圖を描き地勢の狀況、シベリヤ鐵道及び沿線の都邑を註記せしむ。

**教辨物の指示** 世界全圖。亞細亞地圖。日獨戰爭に於けるシベリヤ戰蹟圖。シベリヤ主要産物分布圖。浦鹽斯德港擴大圖。シベリヤ土人の風俗及び風景寫眞、浦鹽斯德、イルクーツク、トムスク等の名勝繪葉書又は寫眞。

### 參考資料

#### シベリヤ戰爭の經過

大正六年三月露國の革命が起つて國內紛爭の結果レニントロツキ一派の過激派が勢力を占める様になつて獨逸と單獨講和を結んだ。當時世人は其政府が忽にして倒れるものと豫想したが、事實は案に相違し、其過激派の思想は全歐露に勢力を扶植し進んでシベリヤ一帯に風靡した。當時シベリヤには十四萬の獨逸俘虜が居たが、彼等は收容所にあつても無監視の狀態で、遂かに過激派に加擔し所謂獨逸東漸の勢を示し、日支兩國をして其地位上に一種の不安を感じしめるやうになつた。依て世論はシベリヤ出兵問題で沸騰し帝國諸

會でも屢々問題となつたが、政府は米國の態度不明のために斷行するに至らなかつた。所が大正七年の四月始め一團の強盜が浦鹽在任の日本人を襲ひ邦人三名を殺害したので同港碇泊中の我が軍艦は六百の陸戰隊を上陸せしめて邦人の保護に當て浦鹽市街の秩序保持を以て任じた。最初賛否を明言しなかつた米國政府は七月になつて急に態度を一變し帝國政府に對してチエツク、スローヅク軍援加の爲に日本より軍器及び軍需品を供給する事、同目的の爲に米國はマニラ駐屯の兵士七千名を浦鹽に派遣するから日本も同數の出兵を爲して貰ひたいといふ提議があつた。茲に於て我が國では出兵兵數について兎角の議論があつた末、遂に八月二日出兵宣言を發し早速十二師團の出勤が命ぜられ、先頭輸送團は八月十一日浦鹽に上陸した。師團司令部の出發後八月九日に浦鹽派遣軍の司令部が編成され司令官として大谷喜久藏大將、參謀長として由比光衛中將、司令部附として武内徹中將、參謀として中島正武少將、稻垣三郎少將以下が任命された。軍司令部は國民歡呼の間を意氣揚々と出發し八月十八日無事浦鹽に上陸した。我が國の出兵と前後して英國は印度兵一千を送り、佛國は安南兵千二百を、米國は比律賓駐屯の兵を派遣し、支那も亦浦鹽に出兵し、伊太利も北清駐屯兵を載せて馳せつけ、加奈陀又四千の軍隊を派遣すべう公表するといふ風で、戰爭の實力は別問題として其陣立だけは聯合出兵といふまことに大袈裟なものであつた。上陸後我が軍はウズリー方面から前進しチエ軍を援けて北進し、友軍の收容戰は



變じて我が軍の追撃戦に移り北ぐるを追うて各要地を占領し神速機敏に北進を續けた。別働隊は鐵道破壊の任務を帯びて敵の背後に迂回し泥濘胸腹を没するあたりを行進してよく其目的を達し敵の退路を斷つてよくこれを敗退せしめた。意氣阻喪せる敵は退却につぐに退却を以てし、我が軍また破竹の勢を以て長驅し、一氣に敵の根據地ハバロフスク市を占領した。十二師團の先驅が極東の咽喉地たるハバロフスク市に翻々たる日章旗を掲げたのは實に九月五日の事である。一方我が海軍は黒龍江を溯江して陸軍と共動活動をなし以て浦鹽ハ市間の水路を安全ならしめた。之よりさき滿洲駐屯軍であつた第七師團に應急出動命令が下り、八月十七日同隊は哈爾濱を通過し、邦人大歡迎と避難露國民の狂氣的感謝を受けながら二十二日滿洲里に入り、此處を本部と定めて國境附近の警備に當つた。浦鹽上陸軍は長驅ハバロフスク市を占領し、黒龍鐵道によつて西進、日本軍を支援とせるセミヨノフ隊はチェ軍と共に東清鐵道を滿洲里より西進し、イルターツクより東進せるチェ軍と相聯絡した。従つて各方面に敗退した敵軍はブラゴエシチエンスク及びアレキセーフスクに集中し、貝加爾以東の廣天地も黒龍鐵道沿線に籠居せざるを得なくなつた。正しくこれ囊中の鼠である。こゝに於て第十二師團はハ市を指して西進し、第七師團の一隊は黒龍鐵道を東進し、他の一隊を齊々哈爾より北進せしめ、三面挾撃敵に最後の止を刺さんと迫つた。激戦の後我が軍は遂に同市を陥れ尙ほアレキセーフスクをも占領した。茲に於

て黒龍鐵道は全部我が軍の占領に歸したのである。第十二第七師團の外に第三師團は八月六日宇品を出發し八日釜山上陸、途中東支鐵道従業員の同盟罷工に遇ひて輸送に大頓挫を來したが、二十五日にはチタ市に入つた。しかし敵の退却意外に早く、大庭將軍の武力を用ふるに及ばぬ内に貝加爾湖以東の地は平穩に歸した。この戦役に於て我が大谷大將は全軍の指揮權を握り劃策大につとめ外交折衝の重務を果し、又我が軍の威力よく他國兵に秀で偉勳を奏したことは特筆すべき事である。

#### 四、印度

##### 教授の主眼

世界寶庫の稱ある印度の産業を中心とし、又我が國との貿易關係について其取引品及び取引諸港を知らしむべきである。

##### 敷衍及附說事項

印度と我が國との關係　印度は英國の領土中主要なる所であるから英國皇帝は特に印度皇帝を兼ね總督を派遣して之れを治めしめて居る。我が國とは古代に於て直接の關係は無かつたが、この地に興れる佛教は支那朝鮮を経て我が



内地に傳はり、これと共に古來印度文明の傳來せるものが少くない。現時はこの國との間に郵船の航路を開き我が國主要の工業である紡績業に要する綿は大部分を此地に仰いで居る。又我が國からもこの國へ羽二重、メリヤス、マツチ、雜貨等を輸出して貿易日に密接を加へて居る。さきに英國が我が國と攻守同盟を結んだのは印度の保全に關し我が國に負ふ所頗る大なるを豫想したからであつて、現に英國は其領土中の主要國である印度の經營については大に腐心して居る。

**印度の面積と人口** かくの如く英國にとつて重要な印度はどれ程の面積があるかと云ふと、大約二十五萬方里、即ち我が國の約六倍弱ある。其國土は三角形をなして印度洋中に突出し、東にベンガル灣、西にアラビヤ海がある。北方は世界最高の山脈であるヒマラヤ山系によつて境せられ、西北はヒンヅークシス、リマン等の山脈によつて國境が劃せられて居る。海岸は極めて單調で彎曲に乏しく半島の尖端に近くセイロン島があるのみである。住民は約三億萬に達し、ヒンヅーク族大部分を占め多くは印度平原に住し印度教を奉じて居る。

**印度の産業** 印度の大部分は暑さ甚しく雨量も多いから樹木は鬱蒼と繁茂し

て居る。中にもインダス、ガンガ河の流域及びデカン高原地方は地味概ね肥沃であるから植物の生育よく、従つて各種の作物が栽培せられる。農産物としては平野地方からは米麥を産し、高原地方からは綿及び麻、セイロン島其他からは茶が産出せられる。(一)米は印度の主要農産物であつて夏秋冬の三回の植付を爲し産額も三億石に近く、世界に於ける米産額としては大國支那を凌いで第一位である。(二)麥ライ麥、燕麥、大麥の産額は少いから麥の産額全體としては固より他の麥産出國に及ばないが、小麥のみの産額について云へば北米及びロシアに次いで世界第三位である。(三)綿世界の棉花産出國としては米國が第一に位し、印度は之について第二位を占めて居る。近來世界に於ける棉花の需要が著しく加はつたために穀物栽培よりも棉花栽培が有利なものであるから、農民は穀物栽培を廢して棉花を耕作するものが漸次増加するに至つた。我が國紡績業の原料となる棉花は大部分を此國に仰ぐ有様で、大正六年度に於ける我が國へ輸送の棉花は其額二億四百三十萬圓を超えて居る。(四)茶茶はセイロン島を主産地とし内地の方では高原地方に多く栽培する。製茶は多く紅茶で輸出先は主として英本國である。其産額は世界第一位を占め製茶國として



相當に知られて居る我が國も印度に比べると僅かに其十分の一にしか當らぬ



象の島シロイセ

程である。これを以ても如何に印度の製茶額が多いか分らう。(五)麻 麻織物の原料としての黄麻は印度各地方に栽培せられるが、主産地はガ

ンジス河の下流地方及アッサム地方である。主なる輸出先は英本國であつて他の歐洲諸國にも相當の販路を以て居る。近時その輸出額は將に棉花を凌がんとして居る。以上の産物は何れも世界に於ける一二位を争ふ産額を占めて居る。尙以上の農産物の外珈琲阿片洋藍砂糖の産出も頗る多い。印度が世界の寶庫と稱せられる所以のものは全く如上の産物多きを意味するのであつて、英本國の食料庫として、又工業の原料庫として、英本國の食料庫として、又工業の原料庫として、印度は由來農業國で工業品は從來英本國の供給を仰いで居たのであるが、近時豊富なる原料品を利用し

て製造工業が發達せんとする傾向がある。就中棉花を原料とする紡績工業は最も有望であつてカルカッタを始め其他の都市で紡績工場が漸次其數を増しつつある。

### 印度の都邑

(一)德里 (二)カルカッタ (三)コロンボ

ける文化の中心地であり、又内地商業の盛大なる市場である。英國皇帝兼印度皇帝の支配を受け印度統轄の任にある大總督の駐在地であつて宏壯なる政廳が置かれてある。(二)カルカッタ 地圖ではガンジス河のすぐ河口の様に描かれて居るが其實は河口を溯る八十哩の上流にある河港である。街衢の壯麗なる事印度の倫敦と稱せられる程で、人口百二十萬、商業繁盛、外國貿易は印度全貿易の殆んど三分の一をこの港一つで占める程で、大小の船舶常にこの河港に入し港内ために般販を加へて居る。我が日本郵船會社はこの地までの航路を開き貿易上の便を與へて居る。かく通商上我が國と關係が密接な所からこの地に我が總領事館が置かれてある。本港よりの輸出品は麻茶が主なるもので輸入品には綿織物、金屬雜貨物等がある。(三)コロンボ セイロン島の西南岸にある天然の良港で印度洋航行の汽船は殆んどこの港に寄港せぬものはない位



である。これ固より其港の良いといふ事にもよるが又其位置が歐亞交通の中央に位し、世界交通の要衝に當つて居るといふ事にも原因する。セイロン島の主産物である茶はこの港から輸出される。(四)ボンベイ。この國第二の大都會で、人口九十八萬、其位置デカン地方の西岸、ボンベイ島上にある貿易港である。本港は棉花の積立甚だ多く我が國に購入する綿も大部はこの港から輸出するのであつて、そのため特に我が郵船會社はボンベイ航路を開き、定期汽船の往來をなして居る程である。横濱から本港までは大約五千三百哩、航程は約一ヶ月かゝる。

### 取扱上の注意

地理的用語 首府。雨量。紡績業。地味肥沃。印度の主要部。東西の門戸。挿繪の解説 (一)カルカッタ港。カルカッタ港はガンジス河の本流河口を溯る約八十哩の上流にある河港であつて、印度第一の都會であり且つ印度第一の貿易港である。この河の幅及水深は年によつて増減があるが、兎に角七百六十餘里の全長を有し、大小の支流に富み灌域七萬五千餘方里を占め、水運の便灌漑の利一として備はらぬ所のない河であつて、カルカッタ港までは外洋航行の大航

船がドン／＼湖行する。安全なる良港ではあるが河口から湖るのに長時間を要するので寄航地としてはボンベイ・マドラス港に及ばぬ。挿繪は外國船が前景に群がる土人の小船から荷物を積み込んで居る所である。

自動作業の指導 (一)首府がカルカッタよりデリーに移されし理由、特に英國皇帝が印度皇帝の稱を兼ねさせられる理由を考察推究せしむ。(二)印度の略圖を描き主要産物の分布を明らかにし且つ主要都邑を記入せしむ。

教辨物の指示 印度全圖。印度に於ける主要産物分布圖。世界棉花の産額比較表。我が國との貿易表。輸入棉花の標本。カルカッタ港の挿繪の擴大圖。デリー・カルカッタ・ボンベイ・コロンボ等の名勝寫眞又は繪葉書。印度土人の風俗寫眞又は繪畫。

### 參考資料

#### 世界の棉花産出高(單位四百封度入一千梱)

地 方	一九二三年	一九三四年	一九四五年	一九五六年
米 國	一四・二二九	一四・八八五	一五・六二七	二二・九三三
印 度	四・六九三	六・一四九	四・七二三	五・〇二六



埃及	六九	九〇	八三	七五
其他諸國	七二六	七七六	六六七	七五九
計	七九六	八六六	七五〇	八二四

**印度の暑さ** 三月の上旬に内地の汽車に乗りましたところが其の暑さは實に筆紙にも盡し難い有様で、同行者は三人ありましたが、孰れも平素は随分饒舌者でありますのに此時は話をする勇氣のある人はない、皆ボンヤリして仕舞ました。それも其の筈、吹いて来る風は、日本で言へば火事場から吹いて来る風の様である。阿弗利加埃及を旅行した人は經驗して居られませうが、丁度阿弗利加の沙漠から来るやうな風が吹いて居る。其理由はといへば貿易風の起る前三四ヶ月は雨が一滴も降らないからである、さうして元來が砂地であつて、耕作も棉の外には無いと云ふ様な所である。其の砂地を熱風が通つて汽車の窓にあたるのであるから苦しい譯であります、或る日の午前の事でありましたが私は自分の持つて居る懐中時計を見ようと思ふて、ポケットから出しましたが、暑くて殆んど持てない位でありました、實に想像が出来ない程のあつさであります。必竟是等の現象は雨期が遠ざかつて、早ばかり續くから起るのであります(中略)

カルカッタの極盛夏の時は、先づ百十度(平均)であるが、一番暑い時は百十六度まで上つただから旅行をするにしても、相應の覺悟をして居なければなりません。殊に婦人や子供などは時として非常な目に遇ふ場合がありますから、極暑の頃即ち五六七月時分に印度旅行をするには、其の準備は餘程の注意がいります、停車場に中がブリキで外を皮で包んだ氷の函や氷嚢を賣つて居るから、用心深い人は、夫を携帶して暑さの爲に眩暈した場合に冷さなければなりません。何分暑い所を旅行するのであるから、三十時間以上も汽車に乗り續けると、時には霍亂して、氣絶する様なこともある故に、鐵道局では其れに對する設備として、汽車中には電氣仕掛の扇風機を備へ、之によつて始終風を起すことにして居ります。然るに前申した通り火事場から吹き来る様な熱い風が汽車を襲ふのであるから、其の風が其の儘車中に這入れば尙更暑さを感じる事が甚しい。それで其の風を一度冷やして車中に入れて、設備が出来て居ります、其の設備は、即ち窓の覆でございまして、窓の外に丁度日本の蕘産のやうなものがありません。それは印度に生えて居る草を疊のやうに編んだものであります、其の蕘産様の窓掛に、汽車の進行中絶えず水を雨の様に落すことになつて居ります。詰り汽車の進行中外部の熱風を水に觸れさせて、冷してから車中に入れる設備になつて居るのであります。汽車ですら斯様の設備がなければ旅行が困難で御座います。(飯島龜太郎)

## 五、東南アジア



## 教授の主眼

近時開拓の業進歩せるマレー諸島及び農業の盛なる印度支那半島の地勢・産業貿易の状態を知らしめ、特にこれ等の地方と我が國との通商状況及び本邦人出稼に關して力説すべきである。

## 敷衍及附説事項

**印度支那半島** (一)地勢 印度支那半島は亞細亞に於ける三大半島の一つであつてこの半島中にはフランス領印度支那イギリス領印度支那の稱あるビルマ海峽植民地・マライ聯邦及び獨立國のシヤム等がある。地勢はヒマラヤ山脈が延びて印度支那半島に入り數條に分れて南北に連互し、これ等の山脈の間にはイラワヂ・メコン等の諸河が流れ、其流域に肥沃な平野がある。此平野は有名な米の産地として知られ、又山間地方はチーク、黒檀等の有用の材木を出す森林に富んで居る。この地は氣候一般に暖く雨量も頗る多く、一年は乾季・雨季に分れる。(二)米の産出 イラワヂ・メコン・トンキン河等の流域平野は有名な米産地であつて、其米は我が國へもどん／＼来る。大正六年度の米輸入状況を見るに英領印度からは六萬四千七百餘圓、佛領印度からは二百三十三萬二千餘圓、暹羅か

らは三百九十三萬八千餘圓を輸入して居る。英領印度からの米輸出港はラングーン、佛領印度の米輸出港はサイゴン、シヤムの米輸出港はバンコクである。我が國に來る外米を南京米といひ、或はラングーン米又はサイゴン米と云ふのは何れも其輸出港の名を冠したものであつて、今日の所我が國に來る外米は、支那の十二萬圓餘と香港の五萬圓内外を除くとあとは上述せる國から大約今述べた位の米が來るのである。この地方は地味が極めて肥沃であるから無肥料で作物はすん／＼生育する。雨量が多いため、大河の流域は夏季に於て度々大洪水があるが、其都度河水は汎濫して附近の沃野を浸して了ふ。しかし河水が漸次減退すると後には肥えた土を平均四五寸も残して行く。これが大變肥料になるので、この地方では大水さへ出れば百姓は大喜びである。古來瑞穂國を以て誇りとする我が國も高い肥料を施さねば米麥が出來ぬといふ現狀であるが、印度支那半島は今云つた様に全く無肥料で作物が出來る。しかも所によつては年が三回收穫される。年々七十萬人からの人口増加がある我が國民は將來どし／＼海外に出かけて行かねばならぬが、同じ行くなら自己の腕ですぐ仕事の出來る様な所へ行きたいものである。それにはこの印度支那半島の如



きは最も我が國民の發展地として好適な所であつて、若し我が農民がこれ等の



マレー半島の椰子林

地方で我が國同様の栽培法を執つたならば必ず今より以上の收穫がある事であらう。(三)ゴムの栽培 マレー半島にはゴムの栽培が盛んに行はれる。現に馬來半島の南端ジョホールには一千万圓を投じた日本人の護謨園もある。我が國の事業家が此方面に着眼するや頻りに資金を投じてゴム樹の植付に腐心した結果、今は多大の收穫を得る所の大ゴム樹林が澤山出来て居る。ゴムは半製品となつて我が國に輸入され、内地の工場で精製して諸種の用途に供せられる。(四)シンガポール 馬來半島の南端、同名の島上にある良港であつて、其位置東西南洋並びに南洋に對する交通の要衝に當つて居るので、出入の船常に絶えず港内は常に殷賑を極めて居る。我が國が横濱からは二千八百七十海里で航程片道に十八日乃至二十日かゝる。我

が歐洲航路、カルカッタ航路、ボンベイ航路等の汽船は必ずこの港に寄港する。我が國からはこの地に燐寸石炭、人力車、織物類などを送り、この地から錫、ゴム等を積み歸るのである。この地の氣候は随分炎熱ではあるが、島内であるから海洋の影響を受けて凌ぎ易く、又健康に適するので、住民年と共に其數を加へ、今や二十五萬の大都會になり、貿易額も年々十億圓以上に上つて居る。  
マレー諸島 (一)區分 マレー諸島は大部分オランダ領であるが、ボルネオ島の北部はイギリスに屬し、其の東北のフリーピン群島は米領である。オランダ領は全マレー群島の約二分の一を占め、其所屬にはジャワ島、スマトラ島、ボルネオ島の南部、セレベス、モルッカ諸島等で、これ等を總稱してオランダ領東印度と云つて居る。(二)地勢・氣候 亞細亞大陸の東南海上に基布散點する島々の總面積は大約我が國四倍の面積を占めて居る。其中ボルネオ島最も大で、スマトラ、ジャワ島これにつぐ。ボルネオは世界第三の大島で、其面積は我が國の全面積よりも大である。これ等の島は何れも山がちで、島中には火山の數が頗る多い。かのジャワ島の如きは現に三十いくつの活火山を有する程であつて、この附近は世界火山の中心地をなして居る。群島の多くは熱帶中にあるから暑い事は無理





居住の人士島群ンピッリフ

もないが、しかしマレー群島は季節風の影響を蒙り、かつ雨が非常に多いために大變氣候が和げられる。併しジャワ島などでは夏日乗り捨てた馬にしばらくして飛び乗ると馬具の熱さで臀を焼くなど云はれて居る。(三)産物温度が高く雨が多いと来て居るから植物はよく生育する。我が國の臺灣では年に二度米が穫れるといふて喜んで居るが、南洋では三度の收穫がある。瓜などでも持ちも擧げも出来ぬ程大きくなる。現に赤道直下のセレベス島では二千人からの日本人が住んで居て瓜の栽培をやつて居る。棉も随分此處は大きくなる。亞米利加の棉は三尺位にしかならぬが、南洋では二間位にも太り枝が十一段位にもなつて、棉の實一つで二匁からあるといふ。棉の外に此處の大事な産物としては甘蔗栽培をやつて盛んに砂糖をつくる。其砂糖の主産地はジャワ島で、年々百三四十萬噸からの砂糖を産し

北米のキューバ島について世界第二位を占める。ジャワ島の砂糖は同島の百貨呑吐の門戸であるパダビヤから盛に輸出される。大正六年度に於ける我が國輸入の外國砂糖は其額一千六百九十九萬餘圓に及んで居るが、其内の大部分はパダビヤ方面から來るので、其額も九百十六萬餘圓に達して居る。珈琲や煙草の産額も多く殊に麻はマニラ麻といつてフィリッピン群島から多く採れる。マニラ麻は高さが一丈内外もあつて幹や葉の形が芭蕉によく似た植物で、成熟した幹を包んで居る十數重の皮を剥ぎ其纖維を抜き取つて衣服の原料や漁業用船舶用の綱類の原料にする。この麻は印度や北米の地などにも移植して見たが土地に適合せぬか結果がよくない。従て本品は各國中唯一の産地で世界を華客として世界の市場にマニラ港から供給せられるのである。其輸出額は今や砂糖煙草椰子實等を凌駕して輸出品中の第一位を占め其額五千萬圓内外である。椰子は巨大な熱帯性植物で、其實からは石鹼やバタの原料になる。コブラをつくる。石油はスマトラ島にもボルネオ島にも産し、我が國へは原油として輸入する。(四)我國との關係 フィリッピン群島はもとイスパニヤ領であつたが我が國の明治三十二年に米西戦争が起つて其結果米國の領有する所となつた



のである。この國は我が豊太閤の頃に一時伐たんと計畫した事があるが、時征明の事が急であつたために其事を果さなかつたのである。スマトラ・ボルネオ二帯に住する人種はマレー人種であるが、この人種は我等と共同の祖先ではないかと疑はれる程よく似て居る。第一坐り方が日本人と同じであぐらもかけば、女は日本流にも坐る。家屋の建て方も似て居るし、屋根の葺き方などそっくりである。マレー人は日本料理を平氣で喰ふし日本人も土人の料理は他國の料理の様には思はなく、味はへる。土人はオランダ政府の壓迫から逃れて日本人の支配を受けたいと思つて居るものすらある。こんな風であるからこの地では日本人がよくもてる。世界の一等國民としてこの國へ行けば日本人は一等の汽車にも乗る事が出来るし、日本人の妻になれば鼻が高い所から、貴方の妻にして呉れと申込む女もあると云ふ。近時この親しみの深いマレー諸島に移住するものがだん／＼多くなつた。大正六年六月末現在ではフィリピン群島に六千八百六十七人、オランダ領東印度に三千百三十四人の日本人が留つて居る。近時大阪商船は南洋諸島に通航する航路を開き通商の上に渡航者の上に多大の便益を與へて居る。

### 取扱上の注意

地理的用語　ゴムの栽培。在留せる我が國人。世界交通の關門。船舶しげく出入。主要地。渡航者。彼我の貿易。

自働作業の指導　(一) 主要諸島の分布状況を描かしめ其島名を記入せしむ。(二) 我が國よりこれ等の諸島に至る航路順を描かしむ。

教辨物の指示　東南亞細亞圖。シンガポールの部分擴大圖。世界に於ける砂糖産額表。世界主要の米産地表。ラングーン米、ゴムの樹及び製造。ゴム・マニラ麻の標本。ゴム栽培の繪畫。マレー諸島の土人風俗繪畫又は寫眞。シンガポール・バダビヤ・マテラ等の繪葉書。

### 參考資料

日本と風習の類似　我が南洋人の風習が貴國の風習と類似せるは、まづ土人が坐る時、男子はあぐらをかき、女子は日本の婦人のなす如く正坐して決して膝を崩す如きことなし。往來にて人に逢ふ時、町嚙に首を下け、又戸を開けて入る時には腰を屈む。客に物を薦むる時には必ず盆に載せ決して手より手に渡さず、南洋人が客を待遇するには先づ檳榔子の實とシレーといふ胡椒科植物の葉と、ガンヒル(阿仙藥竝に練石灰とを一の器物に容れたるを



出し、客は檳榔子の實をシレーの葉にてグル／＼と巻きて嚼むことなほ日本にて煙草を薦むるに異ならず、それよりコヒー菓子等を出して然る後徐るに其用件を尋ぬるを例となし、決して最初より何のためによりしやを尋ねるが如きことなし。若し斯の如き事をなせば無禮としてその社會より排斥せらるべし。こは普通の交際上に止まらず、商業の相談をなす時も亦同様なり。故に此等の呼吸を呑込める貴國人の、我地方に来ることは彼我貿易のために幸なり。尙ほ土人と取引を爲すには土人と懇親を結ぶが第一の要件にして、彼等は物品の價格の如何に拘はらず懸念なるもの一人の外は決して取引をなさざればなり。(セレベス島の珍客陳福祿氏談話)

## 第九 ヨーロッパ洲(歐洲)

(本洲は教材繁多であるから、特に解説の便宜上(甲)を總論とし(乙)を各國誌とす。)

### (甲) 總論

#### 教授の主眼

ヨーロッパ洲の區分、地勢、産業、交通、貿易の狀況につき其の概要を授け、本洲が自然

地理上優秀の地區を占め、従つて人文地理上の發達他洲に優越せることを知らしむべきである。

#### 敷衍及附説事項

ヨーロッパ洲の區分 ヨーロッパ洲はアジア洲の西北に連り、南は地中海を隔ててアフリカ洲と相對して居る。其總面積約六十四萬方里であるから、ざつとアジア洲の四分の一に當り、支那よりは遙かに小さい。しかしこの地域に住んで居る人口は約四億五千萬あるから、人口密度に於ては遙かに他洲に優り、アジアの人口密度に較べて見ると約二倍に當つて居る。殊に商工業の盛んな西部の地方は人口密度が大である。ヨーロッパ洲の中には大小二十餘の國がある。中にもイギリス、フランス、ドイツ、オーストリア、ハンガリー、イタリア等の國々は世界の主なる強國で、此等の國の面積人口は本國のみについて云ふと我が國と大差はなく、寧ろ我が國よりも小さい國もあるが、併し其勢力は他大陸にも及び、全版圖は世界陸地の半分にも及んで居る。今戦争前に於ける我が國と此等諸國との領土比較をなして見よう。固より此比較は近く講和會議の土地處分問題が片付くと相違して來るので、果して其時に何れの國が如何なる割合に増加する